

第4章 精神障害者の状況

本章では、精神障害者 871 人の状況について述べる。

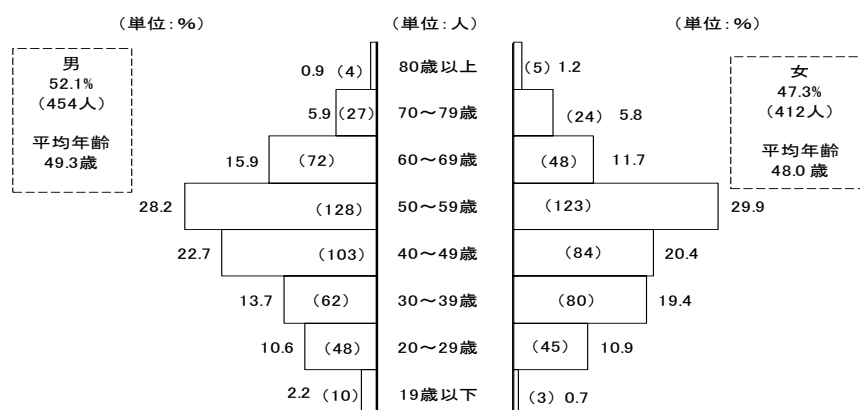
なお、調査対象者は、平成 30 年度調査の 800 人から 400 人増の 1,200 人とした（うち、871 人から回答があった。）。

1 基本的属性

(1) 性・年齢階級

回答者を性別にみると、「男性」の割合は 52.1%（454 人）、「女性」の割合は 47.3%（412 人）となっている。年齢階級別にみると、「50 代」の割合が最も高く、男性では 28.2%、女性では 29.9%となっている。（図IV-1-1）

図IV-1-1 性・年齢階級



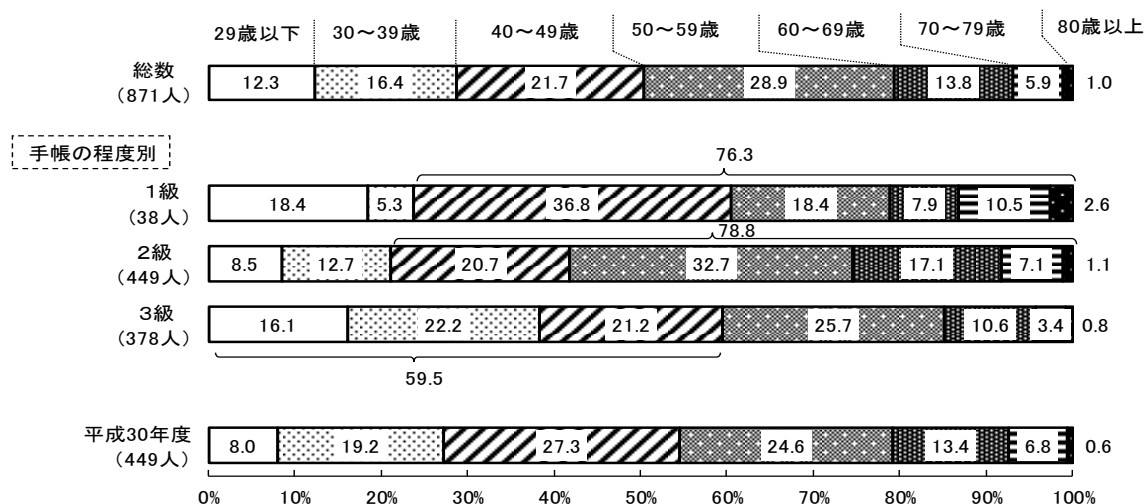
注) 性別のうち、「その他」は 4 人のため省略した。また、性別が無回答のため不明な方が 1 人いる。

(2) 年齢階級—精神障害者保健福祉手帳の程度別

年齢階級を精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1 級及び 2 級では 40 歳以上の割合が 7 割を超えている（76.3%、78.8%）。3 級では 49 歳以下が 5 割を超えている（59.5%）。

（図IV-1-2）

図IV-1-2 年齢階級—精神障害者保健福祉手帳の程度別



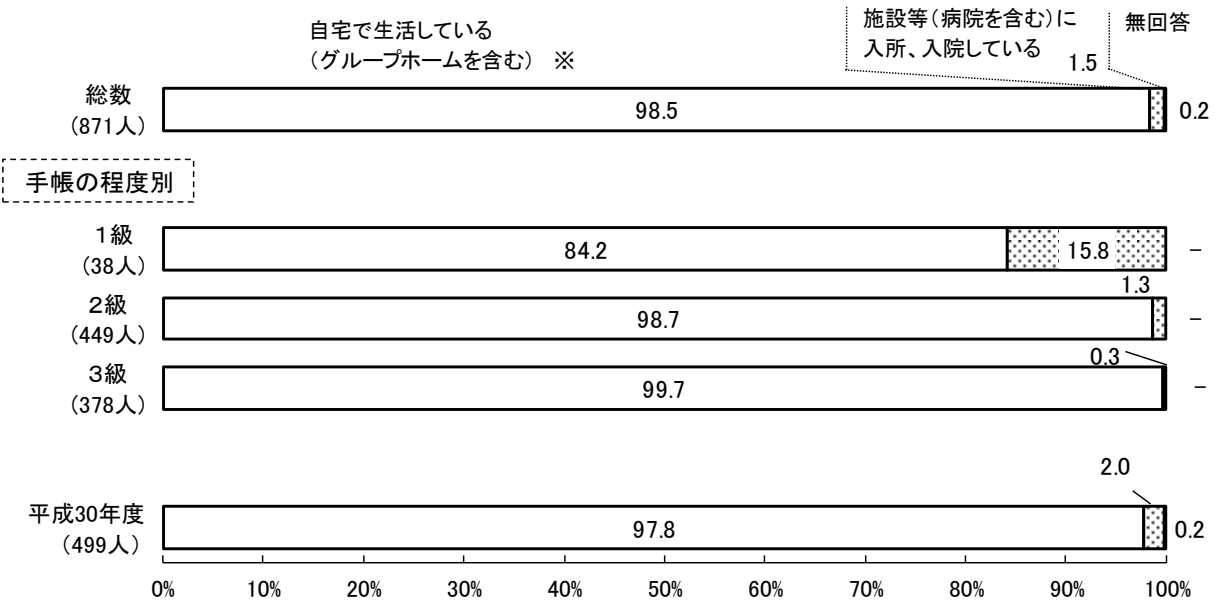
(3) 現在の生活の場－精神障害者保健福祉手帳の程度別

「^{じたく}「^{せいかつ}自宅で生活している（グループホームを^{ふく}含む）」は98.5%

現在の生活の場を聞いたところ、「自宅で生活している（グループホームを含む）」割合が98.5%、「施設等（病院を含む）に入所、入院している」が1.5%となっている。

精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1級は「施設等（病院を含む）に入所、入院している」割合が15.8%となっている。（図IV-1-3）

図IV-1-3 現在の生活の場－精神障害者保健福祉手帳の程度別



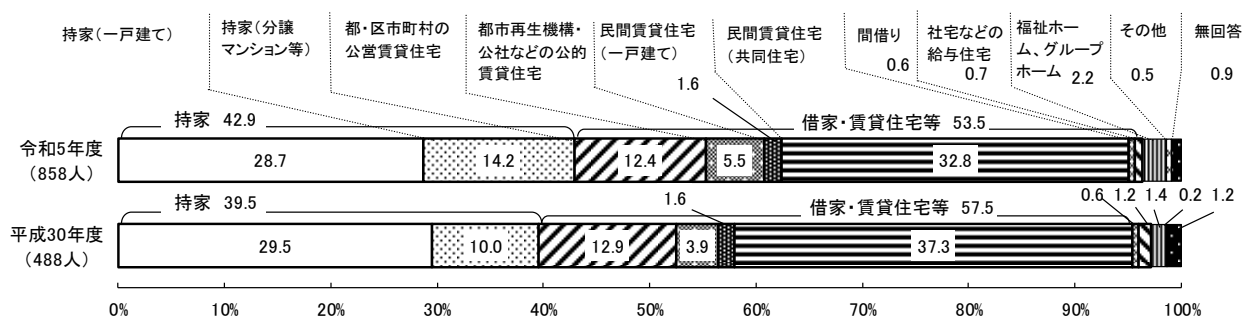
注) ※平成30年度調査では「在宅で生活している（グループホーム、ケアホームを含む）」としていた。

(4) 住居の種類

住居の種類は「^{じゅうきょ}「^{しゅるい}持家」が42.9%、「^{もちいえ}「^{しゃくや}借家・^{ちんたいじゅうたくとう}賃貸住宅等」が53.5%

自宅で生活している人（858人）に住居の種類を聞いたところ、「持家」の割合が42.9%、「借家・賃貸住宅等」が53.5%となっている。（図IV-1-4）

図IV-1-4 住居の種類

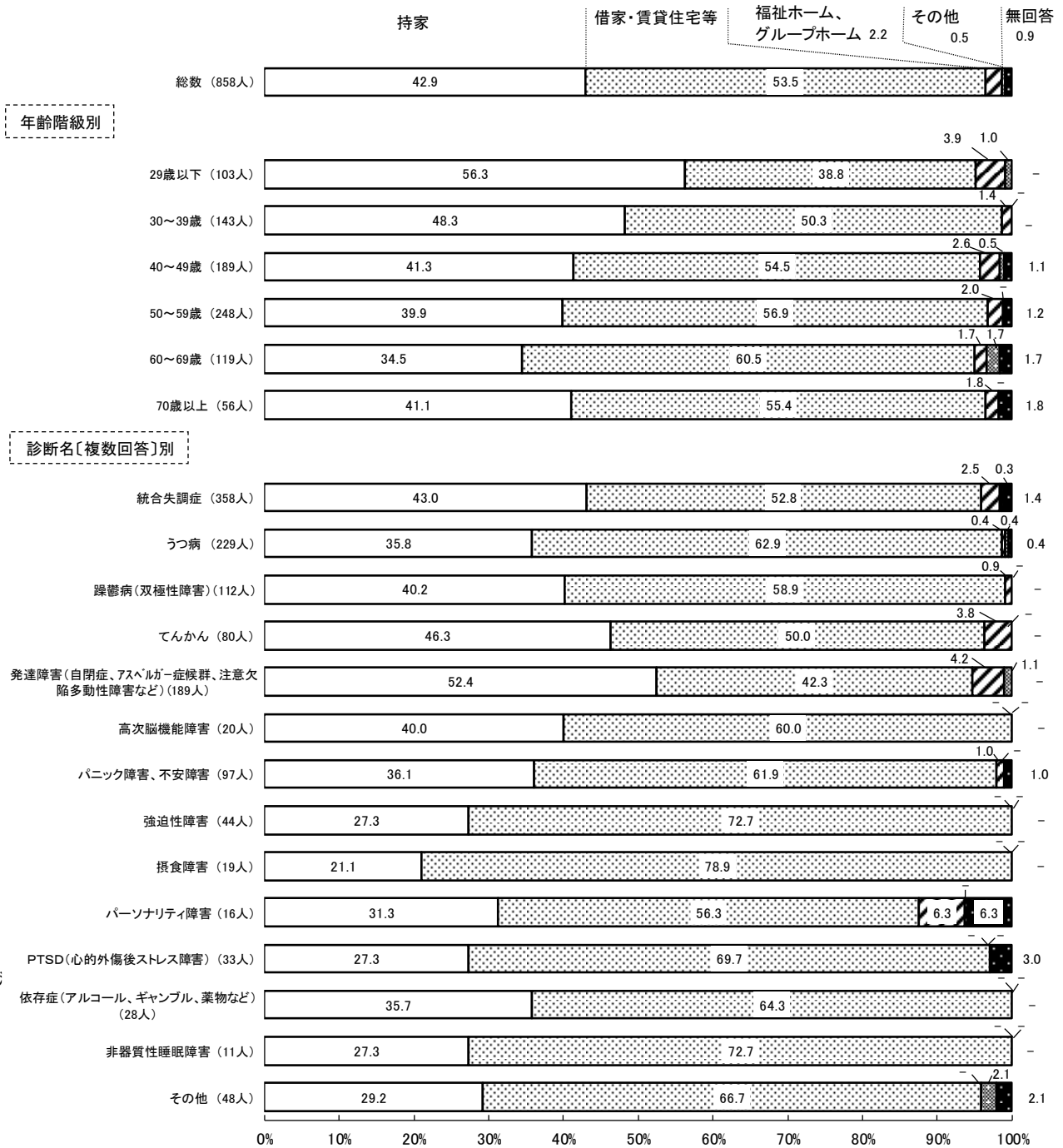


注) 住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、必ずしも対象者本人が住居の所有者又は賃貸の名義人とは限らない。

(5) 住居の種類－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

住居の種類を年齢階級別にみると、30歳以上の各階級では、「借家・賃貸住宅等」の割合が5割を超えている(50.3%~60.5%)。(図IV-1-5)

図IV-1-5 住居の種類－年齢階級、診断名〔複数回答〕別



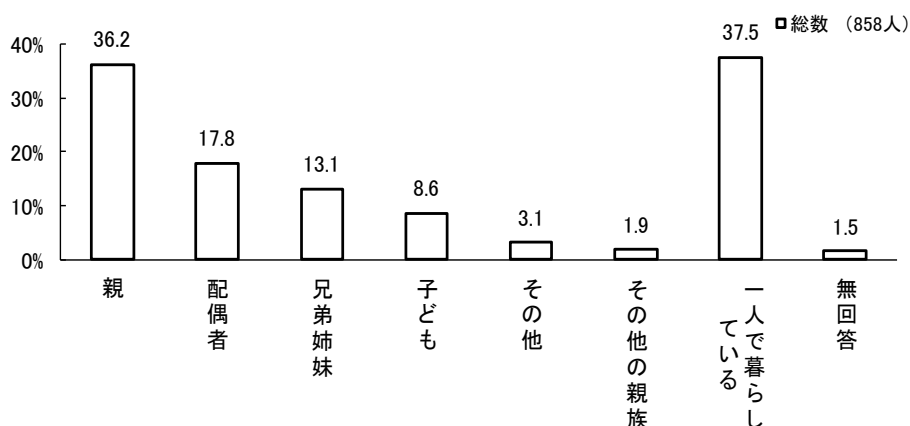
注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(6) 現在一緒に生活している人〔複数回答〕

「^{ひとり}一人で暮らしている」割合は 37.5%

自宅で生活している人（858人）に、現在一緒に生活している人を聞いたところ、一緒に生活している人の中では、「親」の割合が 36.2%、「配偶者」が 17.8%、「兄弟姉妹」が 13.1%となっている。一方、「一人で暮らしている」は 37.5%となっている。（図IV-1-6）

図IV-1-6 現在一緒に生活している人〔複数回答〕



(7) 現在一緒に生活している人〔複数回答〕－年齢階級別

現在一緒に生活している人を年齢階級別にみると、「29歳以下」では「親」の割合が 75.7%となっている。「65歳以上」では「一人で暮らしている」が 53.6%となっている。（表IV-1-1）

表IV-1-1 現在一緒に生活している人〔複数回答〕－年齢階級別

	総数	親	配偶者	子供	兄弟姉妹	その他の親族	その他	一人で暮らしている	無回答
総数	100.0 (858)	36.2	17.8	8.6	13.1	1.9	3.1	37.5	1.5
29歳以下	100.0 (103)	75.7	7.8	1.9	35.9	6.8	5.8	9.7	-
30～39歳	100.0 (143)	50.3	17.5	9.8	12.6	3.5	2.1	29.4	-
40～49歳	100.0 (189)	39.2	23.3	12.2	6.9	-	5.3	31.2	1.1
50～59歳	100.0 (248)	30.2	15.7	7.7	10.9	0.4	1.6	45.6	2.4
60～69歳	100.0 (119)	9.2	19.3	7.6	9.2	0.8	1.7	58.8	1.7
70歳以上	100.0 (56)	1.8	25.0	12.5	10.7	3.6	3.6	50.0	5.4
(再掲)65歳以上	100.0 (110)	1.8	22.7	8.2	12.7	2.7	3.6	53.6	2.7

(8) 現在の主な支援者－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

おも しえんしゃ ははおや
 主な支援者は「母親」が26.7%

自宅で生活している人（858人）に、現在の主な支援者は誰かを聞いたところ、「母親」の割合が26.7%で最も高く、次いで「配偶者」が13.8%、「父親」が8.3%となっている。一方、「支援者はいない」と回答した割合は23.4%となっている。

主な支援者を年齢階級別にみると、29歳以下は「母親」の割合が55.3%となっており、70歳以上は「配偶者」の割合が19.6%となっている。一方50歳以上では、「支援者はいない」が3割前後となっている（27.0%、36.1%、28.6%）

精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1級から3級までいずれも「母親」の割合が最も高くなっている（53.1%、23.5%、28.4%）。（表IV-1-2）

表IV-1-2 現在の主な支援者－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

		総数	父親	母親	配偶者	子供	兄弟姉妹	その他の親族	主治医	ムバ 職員 など	事業 者 （ ホ ー ム ヘル プ ）	その他	支援者はいない	無回答
総数		100.0 (858)	<u>8.3</u>	<u>26.7</u>	<u>13.8</u>	1.4	5.2	0.3	5.0	7.1	3.7	<u>23.4</u>	5.0	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (103)	13.6	<u>55.3</u>	4.9	-	-	-	3.9	2.9	1.9	15.5	1.9	
	30～39歳	100.0 (143)	9.8	38.5	15.4	0.7	-	-	3.5	3.5	4.2	18.2	6.3	
	40～49歳	100.0 (189)	9.5	32.3	16.4	0.5	1.6	-	5.8	9.0	4.2	17.5	3.2	
	50～59歳	100.0 (248)	9.3	19.0	11.7	1.6	5.6	1.2	6.5	8.1	4.0	<u>27.0</u>	6.0	
	60～69歳	100.0 (119)	1.7	7.6	16.8	1.7	17.6	-	3.4	6.7	3.4	<u>36.1</u>	5.0	
	70歳以上	100.0 (56)	-	-	<u>19.6</u>	7.1	12.5	-	5.4	14.3	3.6	<u>28.6</u>	8.9	
	(再掲)65歳以上	100.0 (110)	-	1.8	18.2	4.5	17.3	-	4.5	11.8	3.6	30.9	7.3	
福祉手帳の程度別	1級	100.0 (32)	18.8	<u>53.1</u>	-	-	6.3	-	-	6.3	3.1	3.1	9.4	
	2級	100.0 (443)	8.1	<u>23.5</u>	11.7	0.7	7.7	0.5	4.5	11.1	4.5	22.1	5.6	
	3級	100.0 (377)	7.4	<u>28.4</u>	17.5	2.4	2.1	0.3	6.1	2.4	2.9	26.8	3.7	

(9) 主な支援者の年齢－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

主な支援者の年齢は65歳以上が42.7%

主な支援者がいる人（支援者がホームヘルパー等の事業者の場合を除く510人）に、主な支援者の年齢を聞いたところ、「50～59歳」の割合が19.4%、「70～79歳」が19.0%、「60～69歳」が18.4%となっており、65歳以上の割合が42.7%となっている。また、「19歳以下」は0.6%となっている。

年齢階級別にみると、回答者の年齢が「29歳以下」では、主な支援者が「50～59歳」の割合は50.0%、回答者の年齢が「50～59歳」では、主な支援者が「80歳以上」の割合は、37.7%となっている。（表IV-1-3）

表IV-1-3 主な支援者の年齢－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

		総数	主な支援者の年齢										
			19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明	無回答	(再掲) 65歳以上
総数		100.0 (510)	0.6	1.2	5.5	9.0	19.4	18.4	19.0	16.1	4.5	6.3	42.7
(回答者の年齢階級別)	29歳以下	100.0 (78)	-	3.8	3.8	10.3	50.0	16.7	2.6	-	5.1	7.7	6.4
	30～39歳	100.0 (98)	1.0	-	15.3	7.1	7.1	39.8	20.4	1.0	6.1	2.0	37.8
	40～49歳	100.0 (122)	0.8	0.8	5.7	17.2	9.0	9.0	35.2	13.1	3.3	5.7	54.9
	50～59歳	100.0 (130)	0.8	1.5	1.5	2.3	21.5	10.0	12.3	37.7	4.6	7.7	53.1
	60～69歳	100.0 (58)	-	-	1.7	5.2	20.7	27.6	17.2	19.0	3.4	5.2	46.6
	70歳以上	100.0 (24)	-	-	-	16.7	8.3	8.3	25.0	20.8	4.2	16.7	54.2
	(再掲) 65歳以上	100.0 (50)	-	-	-	12.0	14.0	12.0	32.0	14.0	6.0	10.0	56.0
精神障害者保健福祉手帳の程度別	1級	100.0 (26)	-	-	-	3.8	19.2	15.4	30.8	15.4	-	15.4	57.7
	2級	100.0 (251)	-	0.8	6.0	8.0	16.3	14.3	22.7	18.7	5.2	8.0	48.2
	3級	100.0 (230)	1.3	1.7	5.7	10.9	22.6	23.5	13.9	13.0	4.3	3.0	35.2

注) 総数は、主な支援者について、「父親」、「母親」、「配偶者」、「子供」、「兄弟姉妹」、「その他の親族」、「その他」のいずれかを回答した510人である。

2 障害の状況

(1) 精神障害者保健福祉手帳の程度・年齢階級、診断名〔複数回答〕別

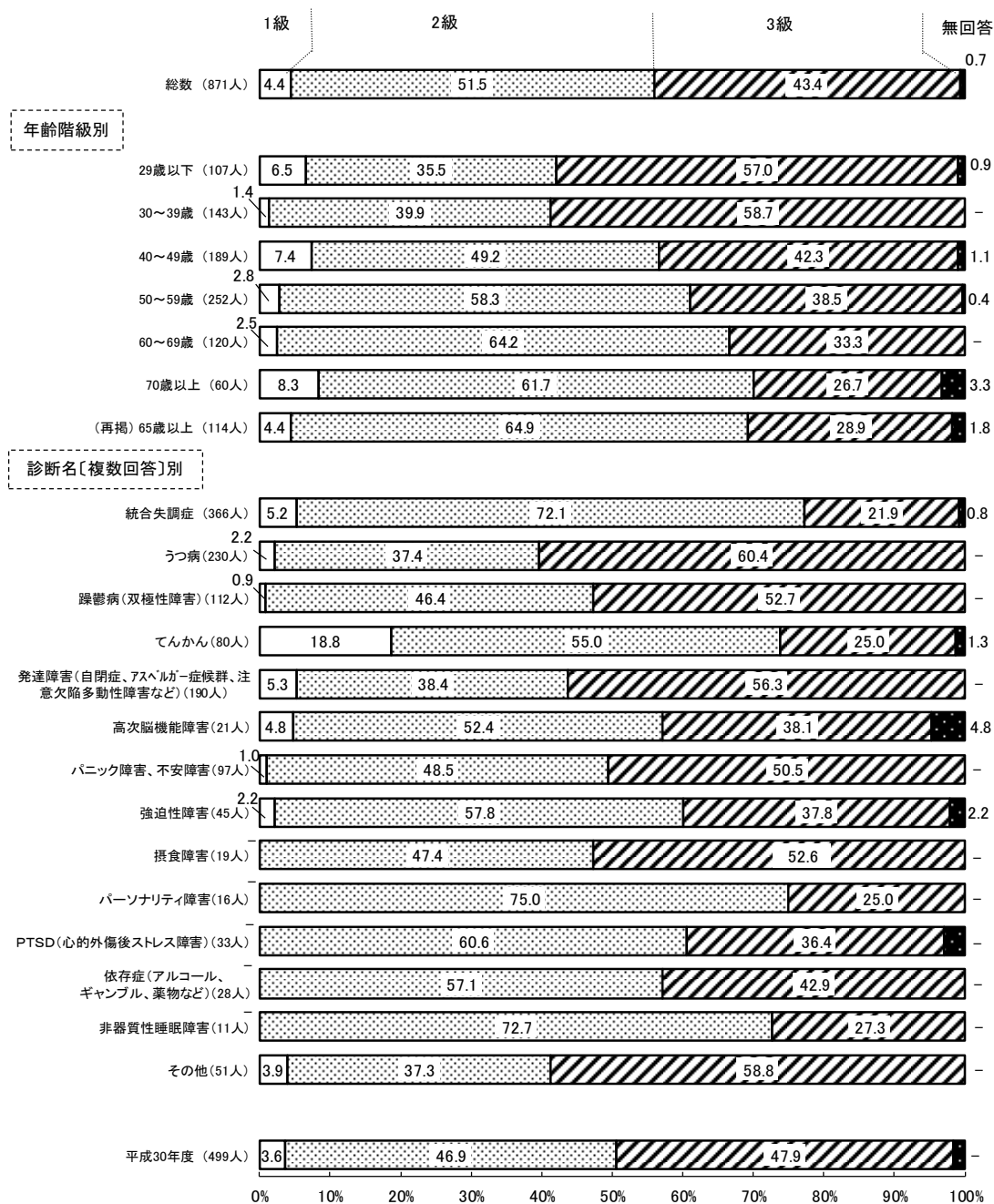
精神障害者保健福祉手帳の程度は「2級」が51.5%

精神障害者保健福祉手帳の程度を聞いたところ、「2級」の割合が51.5%、「3級」が43.4%、「1級」が4.4%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下及び30代では「3級」が5割を超えており(57.0%、58.7%)、40代以降の階級では「2級」の割合が最も高い。(49.2%~64.9%)

診断名別にみると、てんかんでは「1級」の割合が18.8%となっている。(図IV-2-1)

図IV-2-1 精神障害者保健福祉手帳の程度・年齢階級、診断名〔複数回答〕別



注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(2) 初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気）－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

初診時の年齢は「20代」が 35.6%

精神疾患にかかわる病気の初診時の年齢を聞いたところ、「20代」の割合が 35.6%で最も高く、次いで「10代」が 23.0%、「30代」が 17.0%となっている。（表IV-2-1）

表IV-2-1 初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気）－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総数	初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気）								
			0 5 9 歳	1 0 5 9 歳	2 0 5 9 歳	3 0 5 9 歳	4 0 5 9 歳	5 0 5 9 歳	6 0 歳 以上	覚えていない・ 無回答	
総数		100.0 (871)	7.2	23.0	35.6	17.0	8.4	4.0	1.6	2.8	0.5
（調査基準日現在の年齢）	29歳以下	100.0 (107)	37.4	43.0	16.8	-	-	-	-	1.9	0.9
	30～39歳	100.0 (143)	2.8	40.6	49.7	4.9	-	-	-	2.1	-
	40～49歳	100.0 (189)	5.8	22.2	42.3	23.3	3.7	-	-	2.1	0.5
	50～59歳	100.0 (252)	2.4	13.5	37.3	21.4	15.9	5.6	-	3.6	0.4
	60～69歳	100.0 (120)	1.7	10.0	24.2	26.7	17.5	11.7	5.8	2.5	-
	70歳以上	100.0 (60)	-	13.3	30.0	18.3	8.3	11.7	11.7	5.0	1.7
	（再掲）65歳以上	100.0 (114)	-	11.4	26.3	23.7	11.4	12.3	9.6	4.4	0.9
診断名（複数回答）別	統合失調症	100.0 (366)	0.5	26.0	45.6	14.5	6.6	2.5	1.1	3.0	0.3
	うつ病	100.0 (230)	1.3	15.7	34.3	26.1	12.6	6.1	2.6	0.9	0.4
	躁鬱病（双極性障害）	100.0 (112)	1.8	25.9	38.4	18.8	8.0	5.4	-	1.8	-
	てんかん	100.0 (80)	31.3	36.3	13.8	5.0	7.5	3.8	-	2.5	-
	発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）	100.0 (190)	23.7	26.8	29.5	8.4	6.3	2.1	1.1	2.1	-
	高次脳機能障害	100.0 (21)	4.8	19.0	14.3	19.0	19.0	9.5	9.5	4.8	-
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	2.1	25.8	40.2	15.5	9.3	4.1	-	2.1	1.0
	強迫性障害	100.0 (45)	2.2	28.9	28.9	11.1	15.6	-	2.2	8.9	2.2
	摂食障害	100.0 (19)	-	21.1	63.2	15.8	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	-	37.5	43.8	12.5	6.3	-	-	-	-
	PTSD（心的外傷後ストレス障害）	100.0 (33)	3.0	30.3	36.4	15.2	6.1	3.0	-	3.0	3.0
	依存症（アルコール、ギャンブル、薬物など）	100.0 (28)	-	7.1	50.0	17.9	3.6	10.7	-	10.7	-
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	-	18.2	36.4	27.3	9.1	-	-	9.1	-
その他	100.0 (51)	9.8	25.5	27.5	23.5	5.9	3.9	2.0	2.0	-	
平成30年度		100.0 (499)	2.4	16.6	33.9	22.0	12.8	5.8	2.6	2.6	1.2

注）診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(3) 精神障害の診断名〔複数回答〕－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

「^{とうごうしつちようしよ}統合失調症」が42.0%、「^{うつびよう}うつ病」が26.4%

精神障害の診断名を聞いたところ、「統合失調症」の割合が42.0%、「うつ病」が26.4%、「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）」が21.8%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）」の割合が65.4%、30代では「うつ病」の割合が36.4%となっている。50代以上の各階級では「統合失調症」が5割を超えている（53.6%～55.8%）。（表IV-2-2）

表IV-2-2 精神障害の診断名〔複数回答〕－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

	総数	統合失調症	うつ病	躁鬱病（双極性障害）	てんかん	発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）	高次脳機能障害	パニック障害、不安障害	強迫性障害	認知症	摂食障害	パーソナリティ障害	PTSD（心的外傷後ストレス障害）	依存症（アルコール、ギャンブルなど）	性同一性障害	非器質性睡眠障害	その他	無回答
総数	100.0 (871)	42.0	26.4	12.9	9.2	21.8	2.4	11.1	5.2	0.3	2.2	1.8	3.8	3.2	0.3	1.3	5.9	0.7
年齢階級別	29歳以下 (107)	12.1	12.1	10.3	13.1	65.4	2.8	4.7	4.7	-	3.7	-	2.8	1.9	0.9	-	7.5	1.9
	30～39歳 (143)	28.7	36.4	15.4	5.6	40.6	1.4	16.1	4.2	-	3.5	2.1	4.9	2.1	-	0.7	8.4	-
	40～49歳 (189)	40.7	29.1	16.9	13.2	18.5	2.1	16.4	7.4	0.5	1.6	3.7	6.3	4.8	-	3.2	4.8	-
	50～59歳 (252)	53.6	25.8	11.9	8.3	8.7	2.8	10.3	6.3	0.8	2.0	1.2	3.6	3.6	0.8	0.8	6.0	-
	60～69歳 (120)	55.8	25.8	10.8	5.8	3.3	1.7	9.2	2.5	-	1.7	1.7	0.8	3.3	-	0.8	4.2	1.7
	70歳以上 (60)	55.0	23.3	6.7	8.3	1.7	5.0	1.7	1.7	-	-	1.7	1.7	1.7	-	1.7	3.3	3.3
	(再掲)65歳以上 (114)	55.3	22.8	9.6	6.1	1.8	2.6	4.4	1.8	-	0.9	2.6	0.9	3.5	-	0.9	3.5	3.5
手帳の程度別	1級 (38)	42.0	26.4	12.9	9.2	21.8	2.4	11.1	5.2	0.3	2.2	1.8	3.8	3.2	0.3	1.3	5.9	0.7
	2級 (449)	58.8	19.2	11.6	9.8	16.3	2.4	10.5	5.8	0.7	2.0	2.7	4.5	3.6	0.2	1.8	4.2	0.4
	3級 (378)	21.2	36.8	15.6	5.3	28.3	2.1	13.0	4.5	-	2.6	1.1	3.2	3.2	0.3	0.8	7.9	0.8

(4) 精神障害者保健福祉手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕

身体障害者手帳を「持っている」割合は13.3%、愛の手帳を「持っている」割合は7.8%

精神障害者保健福祉手帳以外の障害者手帳を持っているかを聞いたところ、身体障害者手帳を「持っている」割合が13.3%、愛の手帳（療育手帳）を「持っている」割合が7.8%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では「愛の手帳（療育手帳）」を「持っている」が約2割となっている（19.6%）。60代以上の各階級では身体障害者手帳を「持っている」がそれぞれ約2割となっている（20.8%、18.3%）。（表IV-2-3）

表IV-2-3 精神保健障害者手帳以外の手帳の所有状況－年齢階級別

	総数	身体障害者手帳	身体障害者手帳				愛の手帳（療育手帳）	愛の手帳（療育手帳）			
			持っている	申請中	持っていない	無回答		持っている	申請中	持っていない	無回答
総数	100.0 (871)	100.0	13.3	0.1	84.6	2.0	100.0	7.8	0.1	88.5	3.6
（回答者の年齢階級別）	29歳以下	100.0 (107)	8.4	-	91.6	-	100.0	19.6	-	80.4	-
	30～39歳	100.0 (143)	4.2	-	93.7	2.1	100.0	11.2	-	86.7	2.1
	40～49歳	100.0 (189)	13.8	-	85.7	0.5	100.0	8.5	0.5	88.4	2.6
	50～59歳	100.0 (252)	15.5	-	81.0	3.6	100.0	4.8	-	90.5	4.8
	60～69歳	100.0 (120)	20.8	0.8	76.7	1.7	100.0	2.5	-	92.5	5.0
	70歳以上	100.0 (60)	18.3	-	78.3	3.3	100.0	-	-	91.7	8.3
	（再掲）65歳以上	100.0 (114)	18.4	-	78.9	2.6	100.0	0.9	-	92.1	7.0

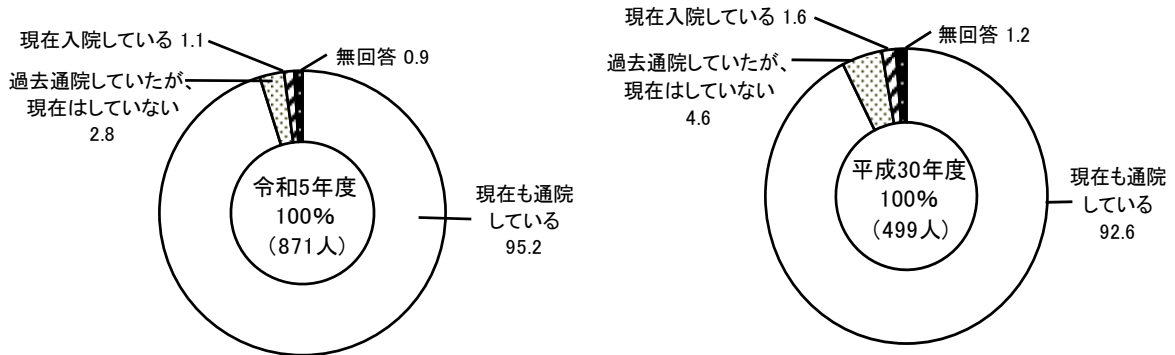
3 健康・医療

(1) 通院の有無（精神疾患にかかわる病気）

精神疾患にかかわる病気で「現在も通院している」割合は95.2%

精神疾患にかかわる病気で通院しているか聞いたところ、「現在も通院している」の割合は95.2%となっている。（図IV-3-1）

図IV-3-1 通院の有無（精神疾患にかかわる病気）

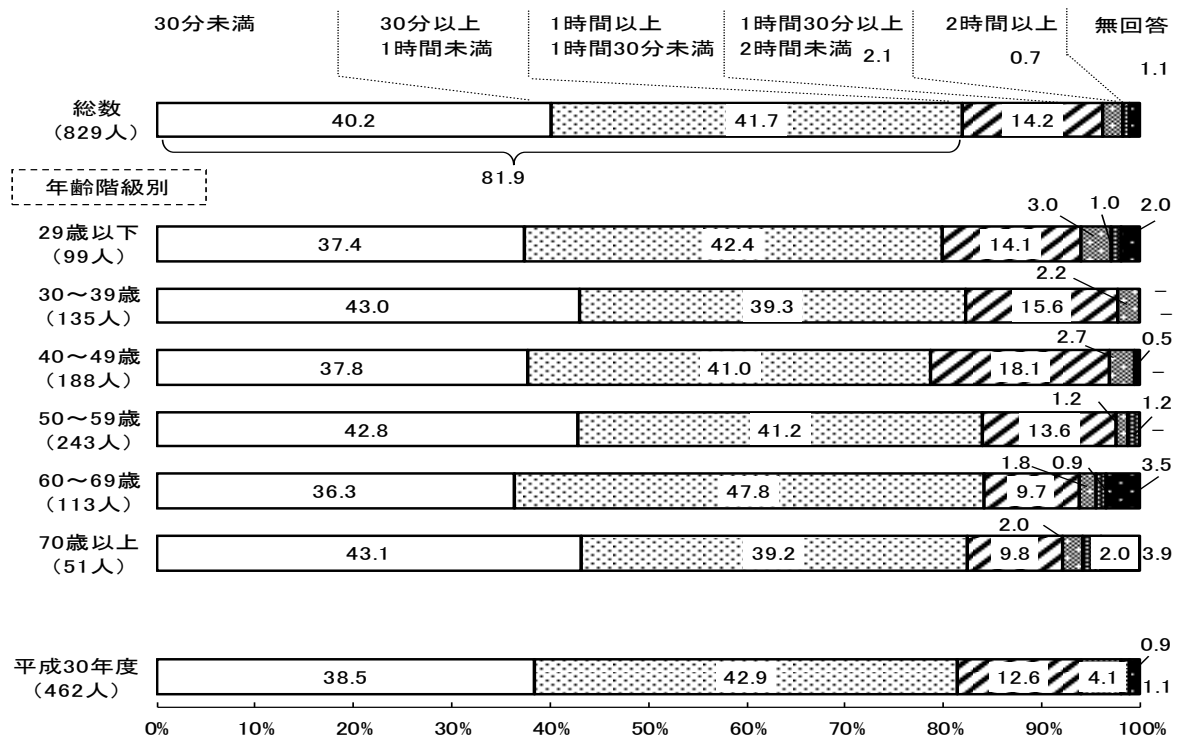


(2) 通院に要する時間—年齢階級別

通院に要する片道の時間は1時間未満が81.9%

現在も通院している人（829人）に、通院に要する片道の時間を聞いたところ、「30分未満」の割合が40.2%、「30分以上1時間未満」が41.7%となっており、これらを合わせた「1時間未満」の割合は81.9%となっている。（図IV-3-2）

図IV-3-2 通院に要する時間—年齢階級別

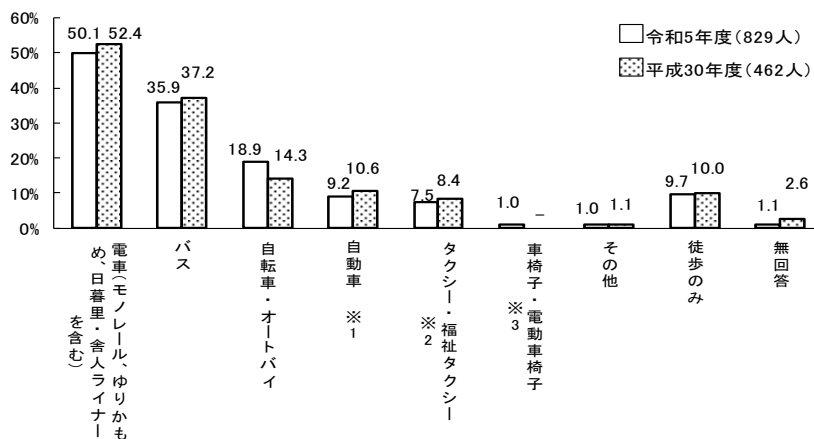


(3) 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕

通院の際に利用する交通手段は「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」が50.1%

通院の際に利用する交通手段を聞いたところ、「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」の割合が50.1%で最も高く、次いで「バス」が35.9%、「自転車・オートバイ」が18.9%となっている。「徒歩のみ」の割合は9.7%となっている。（図IV-3-3）

図IV-3-3 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕



注1) 平成30年度調査では、※1は「自家用車」、※2は「タクシー」としていた。

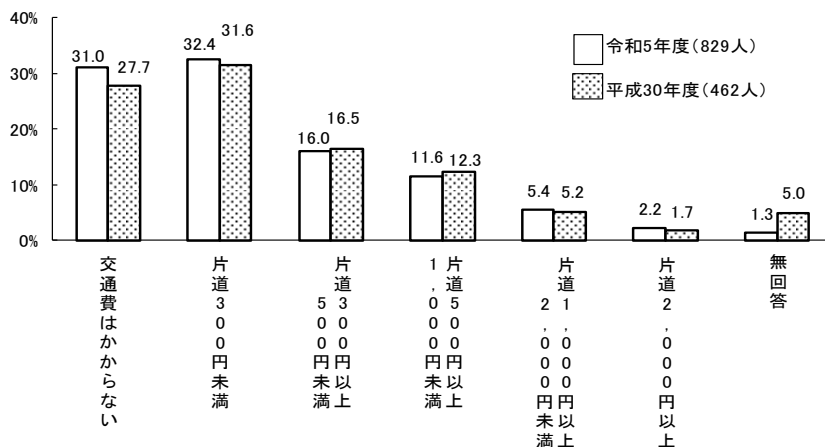
2) ※3 平成30年度調査では選択肢として設けていなかった。

(4) 通院の際に要する交通費

通院の際に要する交通費は「300円未満」が32.4%

通院の際に要する交通費（片道分）を聞いたところ、「300円未満」の割合が32.4%で最も高く、次いで「交通費はかからない」が31.0%、「300円以上500円未満」が16.0%となっている。（図IV-3-4）

図IV-3-4 通院の際に要する交通費



(5) 入院経験の有無(精神疾患にかかわる病気)

一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

「^{げんざいにゆういん}現在入院していないが、^{かこにゆういん}過去に入院したことがある」が58.8%

精神疾患にかかわる病気(てんかん含む)で医療機関への入院経験があるか聞いたところ、「現在入院していないが、過去に入院したことがある」割合が58.8%、「入院したことはない」が39.2%となっている。

精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1級では「現在入院している」割合が7.9%、3級では「入院したことはない」が59.8%となっている。

診断名別にみると、統合失調症では「現在入院している」と「現在入院していないが過去に入院したことがある」と合わせた割合が約8割となっている(80.1%)。(表IV-3-1)

表IV-3-1 入院経験の有無(精神疾患にかかわる病気)

一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

	総数	現在入院している	過去に入院したことがある	現在入院していないが過去に入院したことがある	入院したことはない	無回答	
総数	100.0 (871)	1.3	58.8	39.2	0.8		
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	2.8	37.4	58.9	0.9	
	30～39歳	100.0 (143)	0.7	39.2	59.4	0.7	
	40～49歳	100.0 (189)	-	61.4	38.6	-	
	50～59歳	100.0 (252)	0.8	64.7	32.9	1.6	
	60～69歳	100.0 (120)	2.5	71.7	25.0	0.8	
	70歳以上	100.0 (60)	3.3	85.0	11.7	-	
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	2.6	78.1	18.4	0.9	
手帳の程度別	1級	100.0 (38)	7.9	84.2	7.9	-	
	2級	100.0 (449)	1.6	72.8	24.7	0.9	
	3級	100.0 (378)	0.3	39.4	59.8	0.5	
診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	1.6	78.4	19.1	0.8	
	うつ病	100.0 (230)	-	80.1	44.3	54.8	0.9
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	-	64.3	35.7	-	
	てんかん	100.0 (80)	-	71.3	27.5	1.3	
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	1.1	32.6	65.8	0.5	
	高次脳機能障害	100.0 (21)	-	76.2	19.0	4.8	
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	-	46.4	53.6	-	
	強迫性障害	100.0 (45)	2.2	48.9	48.9	-	
	摂食障害	100.0 (19)	-	78.9	21.1	-	
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	-	81.3	18.8	-	
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	-	60.6	39.4	-	
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	-	67.9	32.1	-	
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	-	45.5	54.5	-	
	その他	100.0 (51)	7.8	54.9	37.3	-	

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

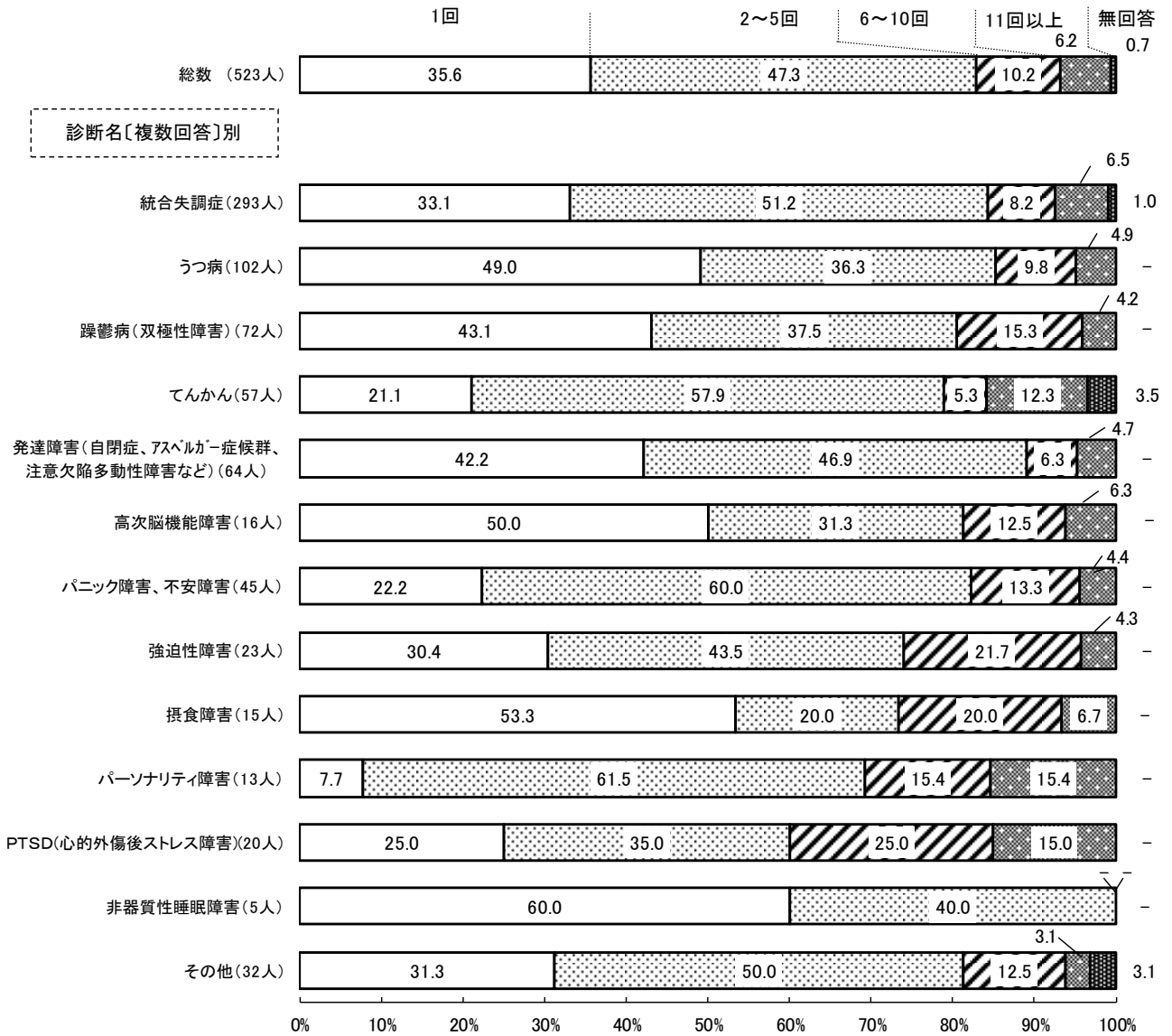
(6) 入院回数－診断名〔複数回答〕別

入院回数は、「2～5回」の割合が47.3%

精神疾患にかかわる病気（てんかん含む）でこれまでに入院経験がある人（523人）に、入院回数を聞いたところ、「2～5回」の割合が47.3%、「1回」が35.6%となっている。

(図IV-3-5)

図IV-3-5 入院回数－診断名〔複数回答〕別



注1) 総数は、「現在入院している」又は「現在入院していないが、過去に入院したことがある」と回答した523人。

2) 「認知症」及び「性同一性障害」については母数が1人のため省略した。

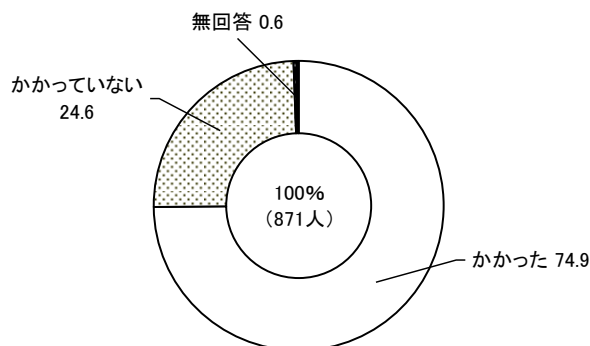
(7) 受診の有無（精神疾患以外の病気、ケガ等）

過去1年間に精神疾患以外の病気やケガなどで医者にかかったことがある割合は74.9%

過去1年間に精神疾患以外の病気やケガなどで医者にかかったことがあるか聞いたところ、「かかった」割合が74.9%、「かかっていない」が24.6%となっている。

(図IV-3-6)

図IV-3-6 受診の有無（精神疾患以外の病気、ケガ等）



(8) 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕－年齢階級別

過去1年間に医療費助成等を「利用した」割合は92.2%

過去1年間に医療費助成等を利用したかを聞いたところ、「利用した」の割合が92.2%となっており、平成30年度調査（77.8%）と比較して14.4ポイント増加している。利用した内容では、「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が最も高く89.1%となっている。（表IV-3-2）

表IV-3-2 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕－年齢階級別

	総数	利用した	利用した内容					利用しなかった	無回答
			助成身障害者医療費	（自立支援医療） （更生医療）	（自立支援医療） （精神通院医療）	難病等医療費助成	その他		
総数	100.0 (871)	92.2	4.7	2.9	89.1	0.9	1.5	6.8	1.0
29歳以下	100.0 (107)	86.0	6.5	0.9	82.2	0.9	2.8	14.0	-
30～39歳	100.0 (143)	91.6	2.8	1.4	90.2	0.7	1.4	8.4	-
40～49歳	100.0 (189)	94.2	5.8	2.1	93.1	-	1.6	4.8	1.1
50～59歳	100.0 (252)	94.8	4.4	3.6	92.1	1.2	1.2	3.6	1.6
60～69歳	100.0 (120)	90.8	3.3	5.0	84.2	0.8	0.8	8.3	0.8
70歳以上	100.0 (60)	90.0	6.7	5.0	83.3	3.3	1.7	6.7	3.3
（再掲）65歳以上	100.0 (114)	90.4	3.5	7.0	83.3	2.6	0.9	7.9	1.8
平成30年度	100.0 (499)	77.8	0.4	0.4	76.0	0.8	1.2	15.2	7.0

(9) 自立支援医療（精神通院医療）の1か月の自己負担額

一年齢階級、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、「0円」が49.7%

「自立支援医療（精神通院医療）」を利用した人（776人）に、1か月の自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額を聞いたところ、「0円」の割合は49.7%となっており、（1円以上の）自己負担がある人の割合は40.6%となっている。

一緒に生活している人別にみると、「0円」の割合は、一人で暮らしている人が最も高く60.6%となっている。（表IV-3-3）

表IV-3-3 自立支援医療（精神通院医療）の1か月の自己負担額

一年齢階級、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総数	0円	1円	52円	150円	100円以上	わからない	無回答
総数		100.0 (776)	49.7	24.9	9.8	5.7	0.3	9.5	0.1
				40.6					
年齢階級別	29歳以下	100.0 (88)	31.8	38.6	10.2	10.2	-	9.1	-
	30～39歳	100.0 (129)	40.3	28.7	15.5	7.0	-	8.5	-
	40～49歳	100.0 (176)	50.6	28.4	9.7	5.1	0.6	5.7	-
	50～59歳	100.0 (232)	58.2	19.8	6.9	4.3	-	10.3	0.4
	60～69歳	100.0 (101)	55.4	18.8	7.9	4.0	1.0	12.9	-
	70歳以上	100.0 (50)	52.0	14.0	12.0	6.0	-	16.0	-
	(再掲)65歳以上	100.0 (95)	51.6	15.8	10.5	5.3	1.1	15.8	-
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	親	100.0 (275)	46.9	30.9	7.3	7.3	0.4	7.3	-
	配偶者	100.0 (141)	26.2	40.4	21.3	7.8	0.7	3.5	-
	子供	100.0 (69)	31.9	40.6	17.4	5.8	-	4.3	-
	兄弟姉妹	100.0 (98)	40.8	37.8	8.2	9.2	-	4.1	-
	その他の親族	100.0 (14)	50.0	14.3	-	14.3	-	21.4	-
	その他	100.0 (25)	40.0	32.0	12.0	-	-	16.0	-
	一人で暮らしている	100.0 (289)	60.6	14.2	7.3	4.2	0.3	13.5	-

4 日常生活の状況

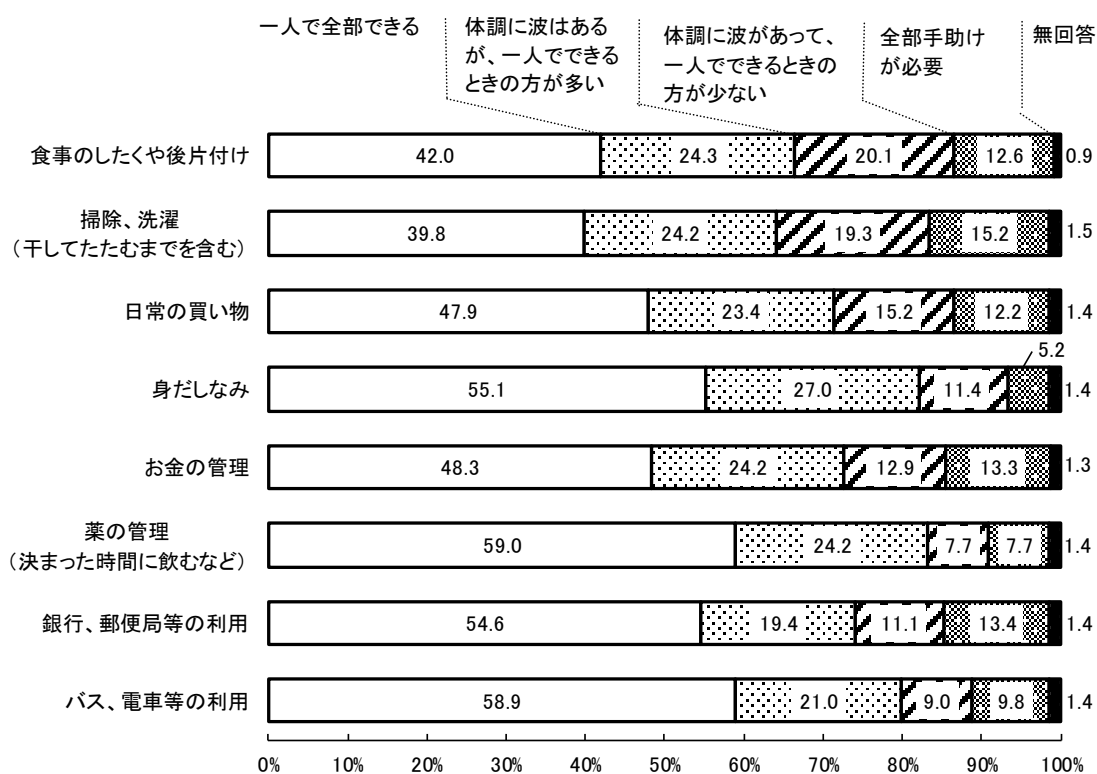
(1) 日常生活動作能力

「全部手助けが必要」の割合は「掃除、洗濯（干してたたむまでを含む）」が15.2%

8項目の日常生活動作能力について「一人で全部できる」と答えた割合は、「薬の管理（決まった時間に飲むなど）」が59.0%で最も高く、次いで「バス、電車等の利用」が58.9%、「身だしなみ」が55.1%となっている。

一方、「全部手助けが必要」と答えた割合は、「掃除、洗濯（干してたたむまでを含む）」が15.2%で最も高く、次いで「銀行、郵便局等の利用」が13.4%、「お金の管理」が13.3%となっている。（図IV-4-1）

図IV-4-1 日常生活動作能力



注)総数は、8項目とも全回答者871人である。

(2) 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) 一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別日常生活動作能力のうち「a 食事のしたくや後片付け」、「b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む)」及び「c 日常の買い物」を精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1級では「全部手助けが必要」の割合がそれぞれ50.0%, 52.6%, 47.4%となっている。(表IV-4-1)

表IV-4-1 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) 一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

	a 食事のしたくや後片付け						b 掃除、洗濯(干してたたむまでを含む)						c 日常の買い物						
	総数	一人で全部できる	体調に波はあるが、一人でできるときの方が多い	体調に波があつて、一人でできるときの方が少ない	全部手助けが必要	無回答	総数	一人で全部できる	体調に波はあるが、一人でできるときの方が多い	体調に波があつて、一人でできるときの方が少ない	全部手助けが必要	無回答	総数	一人で全部できる	体調に波はあるが、一人でできるときの方が少ない	体調に波があつて、一人でできるときの方が少ない	全部手助けが必要	無回答	
総数	100.0 (871)	42.0	24.3	20.1	12.6	0.9	100.0	39.8	24.2	19.3	15.2	1.5	100.0	47.9	23.4	15.2	12.2	1.4	
年齢階級別	29歳以下 (107)	100.0	38.3	21.5	19.6	20.6	-	100.0	33.6	15.9	26.2	22.4	1.9	100.0	43.9	23.4	15.9	14.0	2.8
	30～39歳 (143)	100.0	39.2	29.4	24.5	7.0	-	100.0	37.8	30.1	23.8	8.4	-	100.0	50.3	25.9	18.2	4.9	0.7
	40～49歳 (189)	100.0	38.1	22.8	24.9	14.3	-	100.0	41.3	23.3	16.4	18.5	0.5	100.0	47.6	23.3	16.9	11.6	0.5
	50～59歳 (252)	100.0	42.5	26.2	17.5	12.7	1.2	100.0	40.9	25.4	19.4	13.1	1.2	100.0	47.2	26.6	13.5	12.3	0.4
	60～69歳 (120)	100.0	50.8	24.2	13.3	9.2	2.5	100.0	42.5	27.5	11.7	15.0	3.3	100.0	52.5	19.2	11.7	14.2	2.5
	70歳以上 (60)	100.0	48.3	15.0	20.0	13.3	3.3	100.0	41.7	16.7	20.0	16.7	5.0	100.0	43.3	13.3	15.0	23.3	5.0
	(再掲)65歳以上 (114)	100.0	51.8	16.7	16.7	13.2	1.8	100.0	45.6	19.3	14.9	16.7	3.5	100.0	49.1	14.9	12.3	21.1	2.6
手帳の程度別	1級 (38)	100.0	15.8	15.8	15.8	50.0	2.6	100.0	18.4	10.5	15.8	52.6	2.6	100.0	23.7	7.9	18.4	47.4	2.6
	2級 (449)	100.0	39.2	23.4	22.0	14.3	1.1	100.0	35.6	24.3	20.7	17.6	1.8	100.0	43.0	21.2	19.4	14.9	1.6
	3級 (378)	100.0	48.7	26.7	17.7	6.6	0.3	100.0	47.6	25.9	18.0	7.7	0.8	100.0	56.9	27.8	9.5	5.0	0.8
診断名〔複数回答〕別	統合失調症 (366)	100.0	44.0	21.0	18.6	15.0	1.4	100.0	40.4	22.4	18.0	17.2	1.9	100.0	48.4	21.3	14.5	14.2	1.6
	うつ病 (230)	100.0	33.9	35.2	20.4	10.4	-	100.0	32.2	37.4	18.3	12.2	-	100.0	41.7	32.6	14.8	10.9	-
	躁鬱病(双極性障害) (112)	100.0	35.7	29.5	22.3	12.5	-	100.0	33.9	30.4	18.8	17.0	-	100.0	44.6	28.6	17.0	9.8	-
	てんかん (80)	100.0	36.3	17.5	22.5	23.8	-	100.0	38.8	12.5	20.0	28.8	-	100.0	37.5	18.8	20.0	23.8	-
	発達障害(自閉症、アスペルガー-症候群、注意欠陥多動性障害など) (190)	100.0	37.4	24.2	24.7	13.7	-	100.0	37.4	21.6	22.6	17.9	0.5	100.0	44.2	25.3	15.3	13.7	1.6
	高次脳機能障害 (21)	100.0	33.3	19.0	23.8	19.0	4.8	100.0	28.6	9.5	28.6	28.6	4.8	100.0	28.6	4.8	38.1	19.0	9.5
	パニック障害、不安障害 (97)	100.0	29.9	37.1	23.7	9.3	-	100.0	26.8	41.2	18.6	13.4	-	100.0	35.1	29.9	22.7	12.4	-
	強迫性障害 (45)	100.0	33.3	22.2	24.4	20.0	-	100.0	37.8	17.8	26.7	17.8	-	100.0	35.6	17.8	31.1	15.6	-
	摂食障害 (19)	100.0	42.1	26.3	26.3	5.3	-	100.0	31.6	36.8	31.6	-	-	100.0	42.1	36.8	15.8	5.3	-
	パーソナリティ障害 (16)	100.0	37.5	18.8	31.3	12.5	-	100.0	31.3	25.0	25.0	18.8	-	100.0	31.3	37.5	18.8	12.5	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害) (33)	100.0	27.3	33.3	21.2	18.2	-	100.0	24.2	39.4	21.2	15.2	-	100.0	30.3	27.3	30.3	12.1	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など) (28)	100.0	46.4	25.0	21.4	3.6	3.6	100.0	42.9	21.4	21.4	7.1	7.1	100.0	53.6	32.1	10.7	3.6	-
	非器質性睡眠障害 (11)	100.0	18.2	27.3	36.4	18.2	-	100.0	18.2	27.3	36.4	18.2	-	100.0	18.2	36.4	27.3	18.2	-
その他 (51)	100.0	33.3	41.2	13.7	11.8	-	100.0	37.3	29.4	23.5	7.8	2.0	100.0	43.1	29.4	19.6	5.9	2.0	

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(3) 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど))
 一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別
 日常生活動作能力のうち「e お金の管理」及び「f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど)」を
 精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1級では「全部手助けが必要」の割合がそれぞれ
 52.6%、42.1%となっている。

診断名別にみると、てんかん及び高次脳機能障害では、「e お金の管理」について「全部手
 助けが必要」がそれぞれ22.5%、23.8%となっている。(表IV-4-2)

表IV-4-2 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど))
 一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

	d 身だしなみ						e お金の管理						f 薬の管理(決まった時間に飲むなど)						
	総 数	一 人 で 全 部 で 可 る	体 調 に 波 は あ る が 、 一 人 で 可 る と き の 方 が 多 い	体 調 に 波 が あ っ て 、 一 人 で 可 る と き の 方 が 少 な い	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総 数	一 人 で 全 部 で 可 る	体 調 に 波 は あ る が 、 一 人 で 可 る と き の 方 が 多 い	体 調 に 波 が あ っ て 、 一 人 で 可 る と き の 方 が 少 な い	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総 数	一 人 で 全 部 で 可 る	体 調 に 波 は あ る が 、 一 人 で 可 る と き の 方 が 多 い	体 調 に 波 が あ っ て 、 一 人 で 可 る と き の 方 が 少 な い	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	
総数	100.0 (871)	55.1	27.0	11.4	5.2	1.4	100.0	48.3	24.2	12.9	13.3	1.3	100.0	59.0	24.2	7.7	7.7	1.4	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	50.5	29.0	12.1	6.5	1.9	100.0	38.3	21.5	20.6	17.8	1.9	100.0	48.6	22.4	13.1	14.0	1.9
	30～39歳	100.0 (143)	56.6	28.7	12.6	2.1	-	100.0	45.5	28.0	16.8	9.8	-	100.0	64.3	25.9	6.3	2.8	0.7
	40～49歳	100.0 (189)	56.1	24.3	12.7	6.3	0.5	100.0	49.2	24.9	10.1	15.3	0.5	100.0	58.2	25.9	6.3	9.5	-
	50～59歳	100.0 (252)	58.7	23.8	11.1	5.2	1.2	100.0	51.6	23.0	12.7	11.9	0.8	100.0	61.5	24.2	7.5	6.0	0.8
	60～69歳	100.0 (120)	53.3	30.0	9.2	5.0	2.5	100.0	55.0	20.8	9.2	12.5	2.5	100.0	59.2	25.0	5.8	5.8	4.2
	70歳以上	100.0 (60)	45.0	35.0	8.3	6.7	5.0	100.0	43.3	30.0	6.7	15.0	5.0	100.0	56.7	16.7	10.0	13.3	3.3
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	50.9	32.5	7.0	7.0	2.6	100.0	49.1	27.2	7.0	14.0	2.6	100.0	57.9	21.1	7.0	9.6	4.4
手帳の程度別	1級	100.0 (38)	31.6	13.2	23.7	28.9	2.6	100.0	15.8	15.8	13.2	<u>52.6</u>	2.6	100.0	21.1	18.4	15.8	<u>42.1</u>	2.6
	2級	100.0 (449)	49.7	29.8	12.7	6.2	1.6	100.0	44.1	25.8	12.7	15.8	1.6	100.0	55.9	24.9	8.2	8.9	2.0
	3級	100.0 (378)	64.6	25.1	8.2	1.3	0.8	100.0	57.4	23.3	13.0	5.8	0.5	100.0	67.2	24.1	6.1	2.4	0.3
診断名 (複数回答)別	統合失調症	100.0 (366)	54.6	26.2	10.9	6.6	1.6	100.0	51.1	23.2	9.3	14.8	1.6	100.0	62.0	21.9	5.2	9.0	1.9
	うつ病	100.0 (230)	50.0	33.9	13.0	2.6	0.4	100.0	42.2	35.7	13.9	7.8	0.4	100.0	53.9	33.9	7.8	3.5	0.9
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	48.2	33.9	13.4	4.5	-	100.0	50.0	25.0	15.2	9.8	-	100.0	53.6	32.1	9.8	4.5	-
	てんかん	100.0 (80)	53.8	23.8	12.5	10.0	-	100.0	35.0	23.8	18.8	<u>22.5</u>	-	100.0	47.5	25.0	10.0	16.3	1.3
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	50.5	29.5	13.2	6.3	0.5	100.0	37.4	24.7	18.9	18.4	0.5	100.0	50.5	27.4	12.1	9.5	0.5
	高次脳機能障害	100.0 (21)	38.1	33.3	14.3	4.8	9.5	100.0	23.8	28.6	19.0	<u>23.8</u>	4.8	100.0	38.1	28.6	19.0	14.3	-
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	44.3	34.0	16.5	4.1	1.0	100.0	38.1	28.9	17.5	14.4	1.0	100.0	50.5	33.0	10.3	4.1	2.1
	強迫性障害	100.0 (45)	42.2	26.7	20.0	8.9	2.2	100.0	46.7	20.0	15.6	15.6	2.2	100.0	48.9	20.0	20.0	8.9	2.2
	摂食障害	100.0 (19)	57.9	26.3	15.8	-	-	100.0	31.6	31.6	31.6	5.3	-	100.0	57.9	15.8	21.1	-	5.3
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	37.5	31.3	31.3	-	-	100.0	31.3	37.5	12.5	18.8	-	100.0	50.0	37.5	6.3	6.3	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	42.4	27.3	27.3	3.0	-	100.0	33.3	30.3	21.2	15.2	-	100.0	45.5	39.4	12.1	3.0	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	60.7	28.6	3.6	7.1	-	100.0	46.4	28.6	17.9	7.1	-	100.0	57.1	32.1	10.7	-	-
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	45.5	36.4	18.2	-	-	100.0	36.4	18.2	18.2	27.3	-	100.0	27.3	63.6	9.1	-	-
	その他	100.0 (51)	49.0	29.4	17.6	2.0	2.0	100.0	47.1	25.5	15.7	9.8	2.0	100.0	58.8	29.4	5.9	5.9	-

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(4) 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別日常生活動作能力のうち「g 銀行、郵便局等の利用」及び「h バス、電車等の利用」を精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1 級では「全部手助けが必要」の割合がそれぞれ 60.5%、44.7%となっている。

診断名別にみると、てんかん及び高次脳機能障害では「g 銀行、郵便局等の利用」について「全部手助けが必要」がそれぞれ 33.8%、33.3%となっている。(表IV-4-3)

表IV-4-3 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

	g 銀行、郵便局等の利用						h バス、電車等の利用						
	総数	一人で全部できる	体調に波はあがあるが、一人でできるときの方が多い	体調に波があつて、一人でできる方が少ない	全部手助けが必要	無回答	総数	一人で全部できる	体調に波はあがあるが、一人でできるときの方が多い	体調に波があつて、一人でできる方が少ない	全部手助けが必要	無回答	
総数	100.0 (871)	54.6	19.4	11.1	13.4	1.4	100.0	58.9	21.0	9.0	9.8	1.4	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	40.2	20.6	17.8	18.7	2.8	100.0	58.9	20.6	12.1	6.5	1.9
	30～39歳	100.0 (143)	60.8	21.7	11.9	5.6	-	100.0	65.0	19.6	10.5	4.9	-
	40～49歳	100.0 (189)	59.8	18.0	8.5	13.2	0.5	100.0	59.8	18.5	10.1	11.6	-
	50～59歳	100.0 (252)	54.4	21.8	9.5	13.5	0.8	100.0	56.3	26.6	5.2	10.3	1.6
	60～69歳	100.0 (120)	57.5	15.8	10.8	12.5	3.3	100.0	61.7	17.5	8.3	10.0	2.5
	70歳以上	100.0 (60)	45.0	13.3	13.3	25.0	3.3	100.0	46.7	16.7	13.3	18.3	5.0
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	51.8	14.0	12.3	19.3	2.6	100.0	55.3	17.5	9.6	14.9	2.6
手帳の程度別	1級	100.0 (38)	13.2	13.2	10.5	60.5	2.6	100.0	18.4	23.7	10.5	44.7	2.6
	2級	100.0 (449)	49.2	18.9	14.3	16.0	1.6	100.0	55.5	20.3	10.2	12.2	1.8
	3級	100.0 (378)	66.1	20.9	7.1	5.0	0.8	100.0	67.7	22.0	6.9	2.9	0.5
診断名 (複数回答)別	統合失調症	100.0 (366)	55.5	18.3	9.6	15.0	1.6	100.0	60.4	18.6	6.8	12.3	1.9
	うつ病	100.0 (230)	53.0	29.1	10.0	7.8	-	100.0	52.2	29.6	10.0	7.4	0.9
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	58.0	25.0	10.7	6.3	-	100.0	58.9	22.3	11.6	7.1	-
	てんかん	100.0 (80)	36.3	13.8	15.0	33.8	1.3	100.0	45.0	27.5	8.8	18.8	-
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	49.5	20.0	14.7	15.3	0.5	100.0	61.1	21.1	10.0	7.4	0.5
	高次脳機能障害	100.0 (21)	33.3	9.5	23.8	33.3	-	100.0	42.9	19.0	9.5	23.8	4.8
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	42.3	29.9	14.4	12.4	1.0	100.0	38.1	28.9	16.5	15.5	1.0
	強迫性障害	100.0 (45)	48.9	17.8	15.6	17.8	-	100.0	44.4	28.9	13.3	11.1	2.2
	摂食障害	100.0 (19)	52.6	31.6	5.3	10.5	-	100.0	42.1	47.4	-	5.3	5.3
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	43.8	31.3	18.8	6.3	-	100.0	50.0	6.3	31.3	12.5	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	36.4	33.3	21.2	9.1	-	100.0	39.4	33.3	21.2	6.1	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	60.7	25.0	14.3	-	-	100.0	64.3	28.6	7.1	-	-
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	45.5	27.3	18.2	9.1	-	100.0	45.5	27.3	27.3	-	-
	その他	100.0 (51)	45.1	25.5	15.7	11.8	2.0	100.0	52.9	25.5	11.8	9.8	-

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(5) 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

過去1年間で「^{かこねんかん}困ったこと^{こま}がある」は62.7%

過去1年間で何か困ったことがあるか聞いたところ、「困ったことがある」割合は62.7%となっている。内容を見ると、「夜間や休日に具合が悪くなって困った」割合が26.5%で最も高くなっている。

年齢階級別にみると、「40代」では、「学校や職場や地域生活で、病気や障害を理由とした問題で困った」が30.2%で最も高くなっている。（表IV-4-4）

表IV-4-4 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	困ったことがある											特に困ったことはない	無回答		
		夜間や休日に具合が悪くなつて困った	夜間や休日に相談するところがなくて困った	家族の病気や外出などで、自分の生活の手助けをしてくれる人がいなくて困った	学校や職場や地域生活で、病気や障害を理由とした問題で困った	学校の管理や財産の保全に当たって困った	金銭の管理や同行者がいないため困った	役所や公共機関などへ行くとき、同行者がいないため困った	役所や公共機関などで困った	日中の居場所がなくて困った	保証人がいないため、家を借りることができなくて困った	近隣住民からの理解・支援を得ることができず困った※			その他	
総数	100.0 (871)	62.7	26.5	18.0	16.9	21.7	17.6	9.2	11.9	11.7	4.4	8.7	9.4	35.7	1.6	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	64.5	29.0	15.9	16.8	29.0	15.9	13.1	11.2	14.0	2.8	0.9	8.4	34.6	0.9
	30～39歳	100.0 (143)	67.1	29.4	18.9	21.0	29.4	21.7	7.7	16.8	12.6	3.5	7.0	9.1	32.9	-
	40～49歳	100.0 (189)	69.8	29.6	23.3	20.6	30.2	16.9	8.5	13.2	17.5	3.7	11.1	10.6	28.6	1.6
	50～59歳	100.0 (252)	62.3	25.4	19.8	15.9	17.1	19.0	7.9	9.5	10.3	5.2	13.1	9.9	36.1	1.6
	60～69歳	100.0 (120)	56.7	22.5	12.5	14.2	10.8	13.3	10.8	10.8	7.5	7.5	6.7	8.3	40.8	2.5
	70歳以上	100.0 (60)	40.0	18.3	6.7	5.0	5.0	15.0	10.0	10.0	1.7	1.7	5.0	8.3	55.0	5.0
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	48.2	18.4	9.6	10.5	8.8	14.9	12.3	11.4	4.4	5.3	5.3	8.8	48.2	3.5
診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	61.5	28.1	17.8	18.0	16.1	17.5	8.7	9.6	11.5	6.0	11.2	8.7	37.2	1.4
	うつ病	100.0 (230)	71.3	27.8	21.3	19.1	26.5	22.6	10.0	19.6	15.2	4.8	7.0	8.3	27.8	0.9
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	71.4	33.9	24.1	23.2	29.5	26.8	15.2	22.3	17.0	5.4	8.9	8.9	28.6	-
	てんかん	100.0 (80)	67.5	30.0	26.3	21.3	25.0	13.8	10.0	15.0	10.0	7.5	15.0	18.8	25.0	7.5
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	66.8	30.0	19.5	17.4	29.5	20.5	14.2	20.0	14.2	2.6	6.3	8.9	32.6	0.5
	高次脳機能障害	100.0 (21)	42.9	19.0	4.8	4.8	14.3	14.3	9.5	14.3	9.5	-	-	9.5	47.6	9.5
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	79.4	40.2	28.9	20.6	25.8	21.6	16.5	24.7	19.6	6.2	13.4	12.4	19.6	1.0
	強迫性障害	100.0 (45)	73.3	31.1	22.2	15.6	24.4	15.6	13.3	24.4	15.6	4.4	11.1	8.9	24.4	2.2
	摂食障害	100.0 (19)	94.7	47.4	36.8	26.3	47.4	52.6	21.1	15.8	15.8	10.5	15.8	10.5	5.3	-
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	100.0	62.5	50.0	37.5	18.8	50.0	18.8	31.3	12.5	6.3	18.8	12.5	-	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	84.8	42.4	30.3	18.2	33.3	33.3	9.1	30.3	21.2	6.1	21.2	30.3	15.2	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	75.0	35.7	28.6	28.6	25.0	35.7	17.9	17.9	28.6	3.6	7.1	10.7	25.0	-
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	81.8	36.4	27.3	18.2	27.3	45.5	9.1	45.5	18.2	18.2	-	18.2	18.2	-
その他	100.0 (51)	74.5	33.3	21.6	15.7	37.3	23.5	13.7	17.6	19.6	7.8	7.8	17.6	25.5	-	
平成30年度	100.0 (499)	59.9	29.7	17.2	15.8	19.6	16.0	9.2	10.6	12.2	4.0	-	9.0	38.9	1.2	

注1) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

2) ※ 平成30年度調査では選択肢として設けていなかった。

5 就労の状況

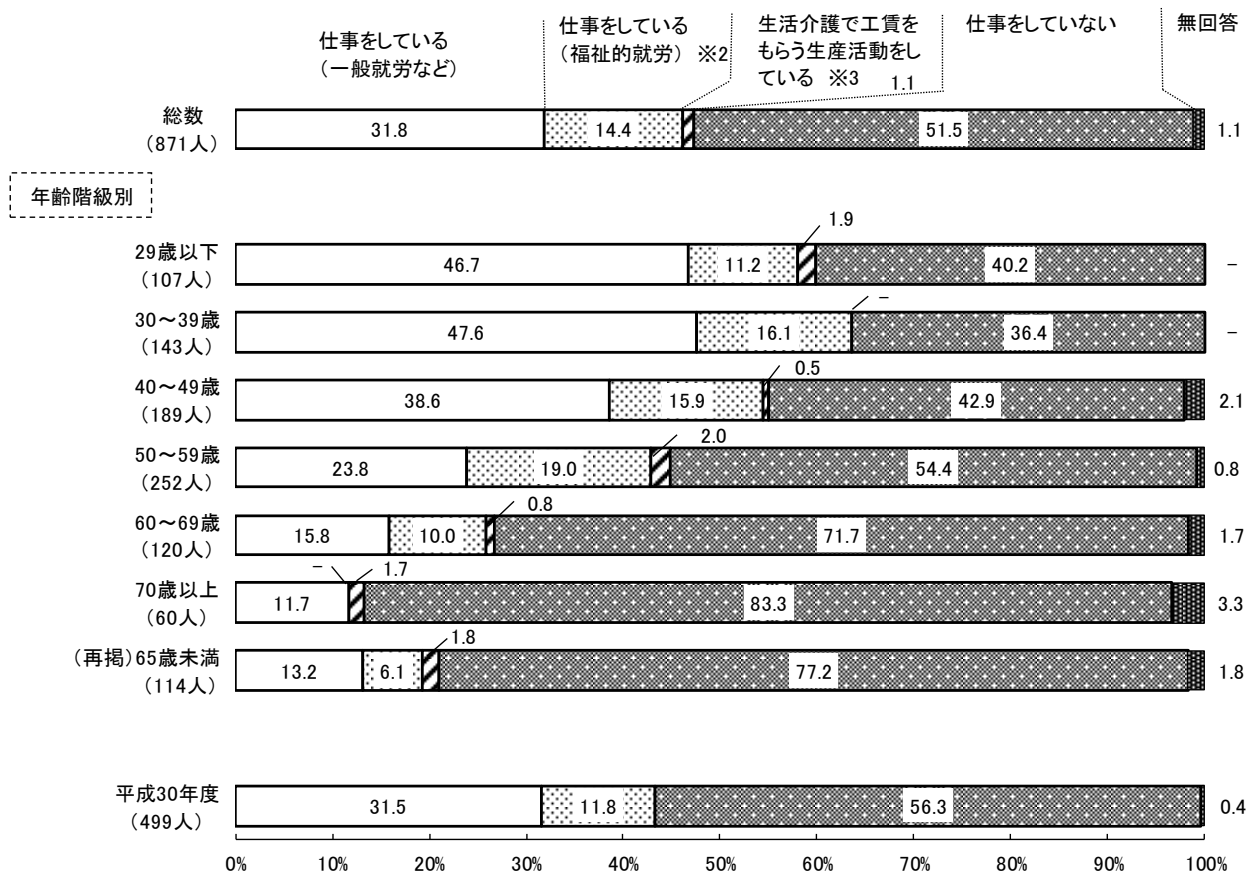
(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－年齢階級別

「^{しごと}仕事をしている（^{いっぱんしゅうろう}一般就労）など」は31.8%

収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている（一般就労※1）など」割合が31.8%、「仕事をしている（福祉的就労※2）」が14.4%となっている。

年齢階級別にみると、「仕事をしている（一般就労など）」の割合は、29歳以下及び30代では、それぞれ46.7%、47.6%と4割を超えている。（図IV-5-1）

図IV-5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－年齢階級別



注1) ※1 「一般就労」とは、企業などに就職し、雇用契約を結んで働くこと

2) ※2 「福祉的就労」とは、一般就労が難しい障害のある方が障害福祉サービスの中で就労の機会を選択しながら働くこと。障害者総合支援法に基づく就労継続支店事業所などで作業を行う。
ここでは、「就労継続支援A型で働いている」「就労継続支援B型で働いている」「就労移行支援の事業所で働いている」を合わせた割合を計上している。

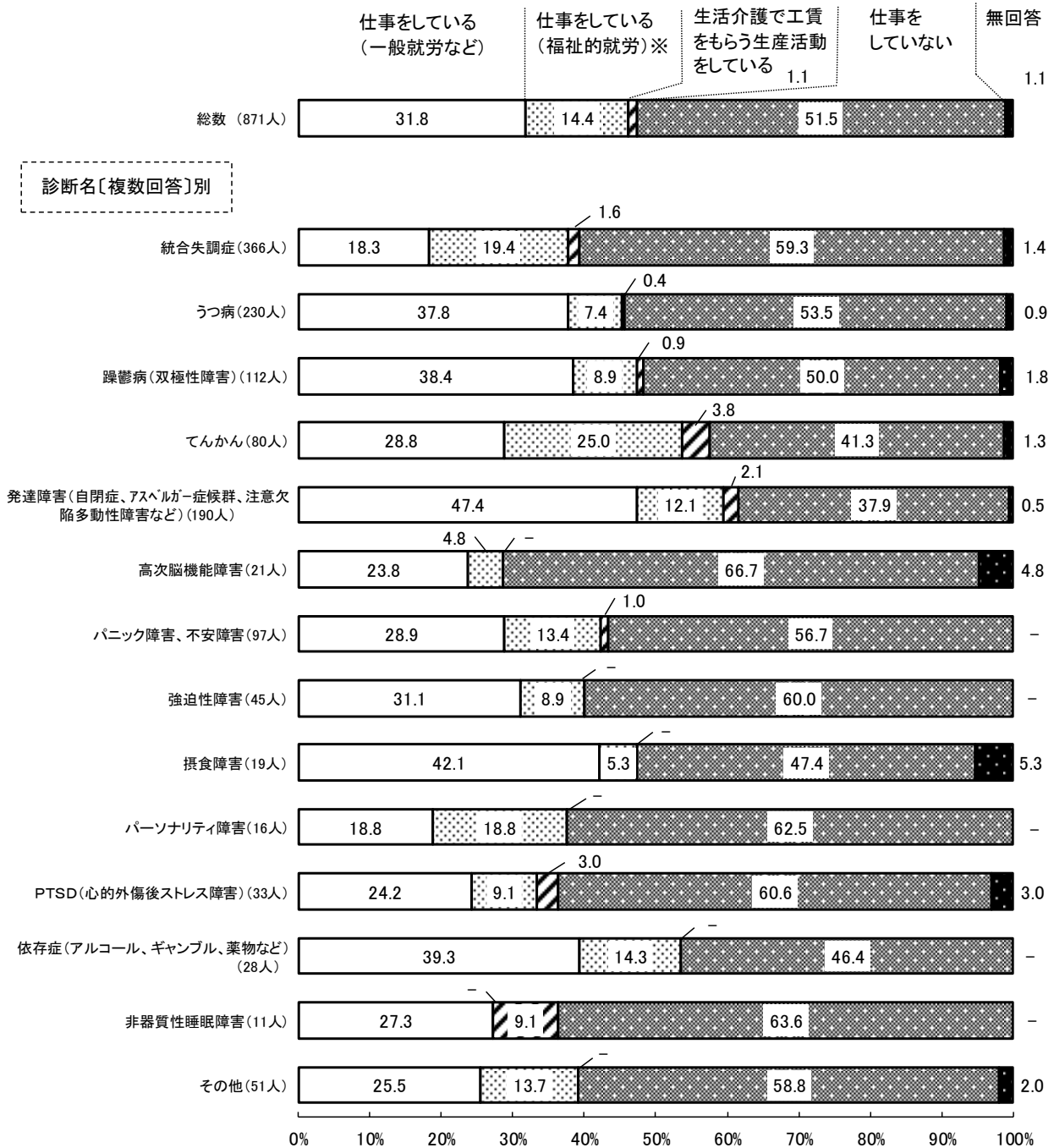
3) ※3 平成30年度調査では選択肢として設けていなかった。

(2) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－診断名〔複数回答〕別

収入を伴う仕事の有無を診断名別にみると、「仕事をしている（一般就労など）」の割合は「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害）」では 47.4%、「摂食障害」では 42.1%、「依存症（アルコール、ギャンブル、薬物など）」では 39.3%となっている。

(図IV-5-2)

図IV-5-2 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－診断名〔複数回答〕別



注1) ※ 「福祉的就労」は、「就労継続支援 A 型で働いている」「就労継続支援 B 型で働いている」「就労移行支援の事業所で働いている」を合わせた割合を計上している。

2) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(3) 雇用形態〔複数回答〕一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

「非正規の職員・従業員」は61.7%、「正規の職員・従業員」は30.7%

「仕事をしている（一般就労など）」と回答した人（277人）に雇用形態を聞いたところ、「非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）」の割合が61.7%、「正規の職員・従業員」は30.7%となっている。（表IV-5-1）

表IV-5-1 雇用形態〔複数回答〕一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

	総数	正規の職員・従業員	会社等の役員	約ト非 職員・正 員、アル規 、パートの 派遣職員・従業員 を含む（パート・日雇等）	自営業	家業の手伝い	内職	その他
総数	100.0 (277)	30.7	0.4	61.7	4.3	0.7	0.7	1.8
年齢階級別	29歳以下	100.0 (50)	38.0	-	58.0	-	-	6.0
	30～39歳	100.0 (68)	41.2	1.5	52.9	4.4	1.5	-
	40～49歳	100.0 (73)	28.8	-	60.3	6.8	-	1.4
	50～59歳	100.0 (60)	25.0	-	71.7	1.7	-	1.7
	60～69歳	100.0 (19)	10.5	-	78.9	5.3	5.3	-
	70歳以上	100.0 (7)	-	-	57.1	28.6	-	-
手帳の程度別	1級	100.0 (8)	25.0	-	50.0	-	-	12.5
	2級	100.0 (75)	16.0	-	76.0	4.0	1.3	1.3
	3級	100.0 (194)	36.6	0.5	56.7	4.6	0.5	1.5

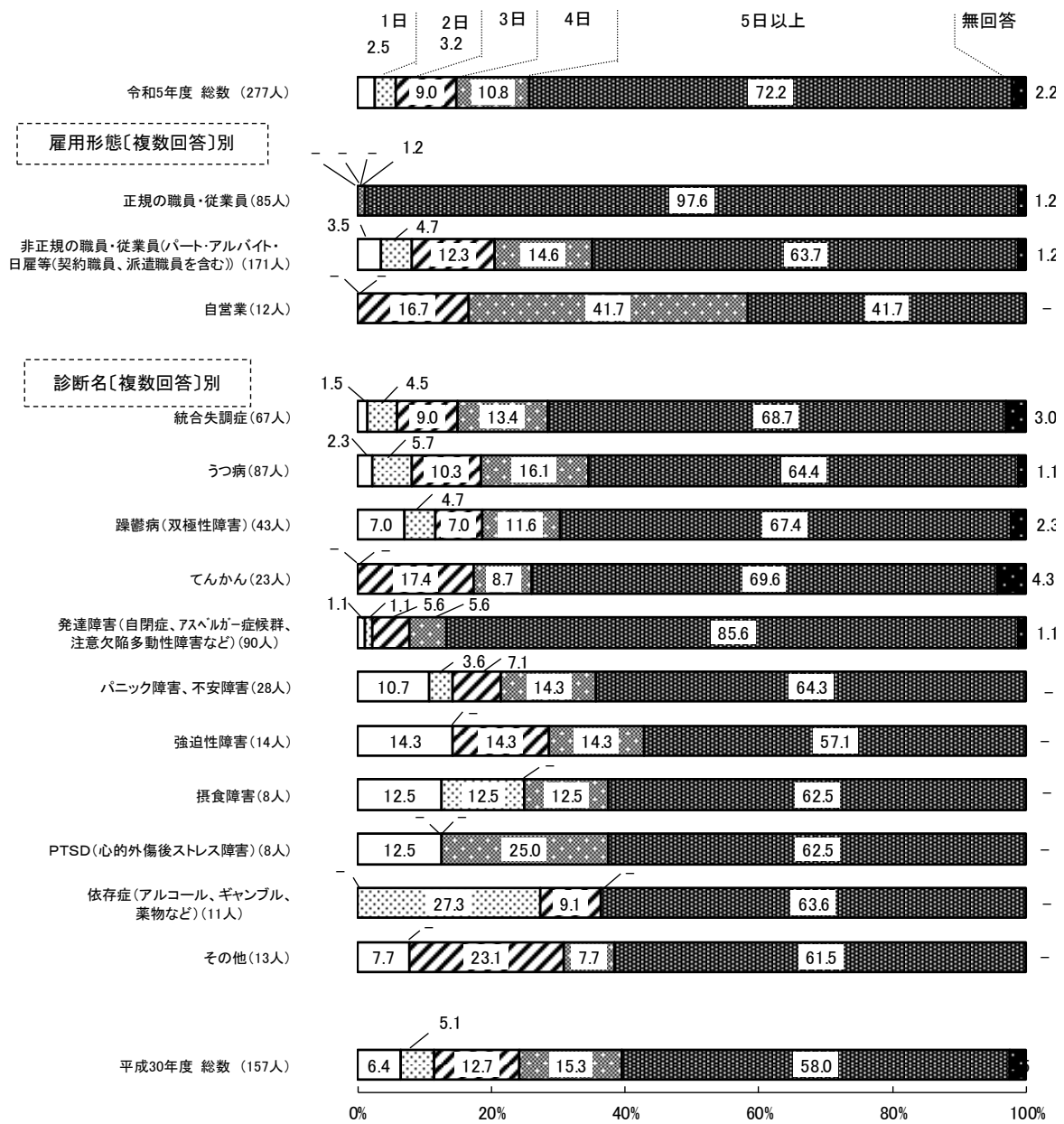
(4) 1週間の就労日数－雇用形態〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

1週間の就労日数は「5日以上」が72.2%で、平成30年度調査よりも増加

仕事をしている人（277人）に1週間の就労日数を聞いたところ、「5日以上」の割合が72.2%で最も高く、平成30年度調査（58.0%）より14.2ポイント増加している。

仕事の種類別にみると、「5日以上」の割合は、正規の職員・従業員では97.6%、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））では63.7%となっている。（図IV-5-3）

図IV-5-3 1週間の就労日数－仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



注1) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」は母数が1人、「家業の手伝い」、「内職」は母数が2人、「その他」は母数が5人のため省略した。

注2) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が0人、「パーソナリティ障害」及び「非器質性睡眠障害」は母数が3人、「高次脳機能障害」は母数が5人のため省略した。

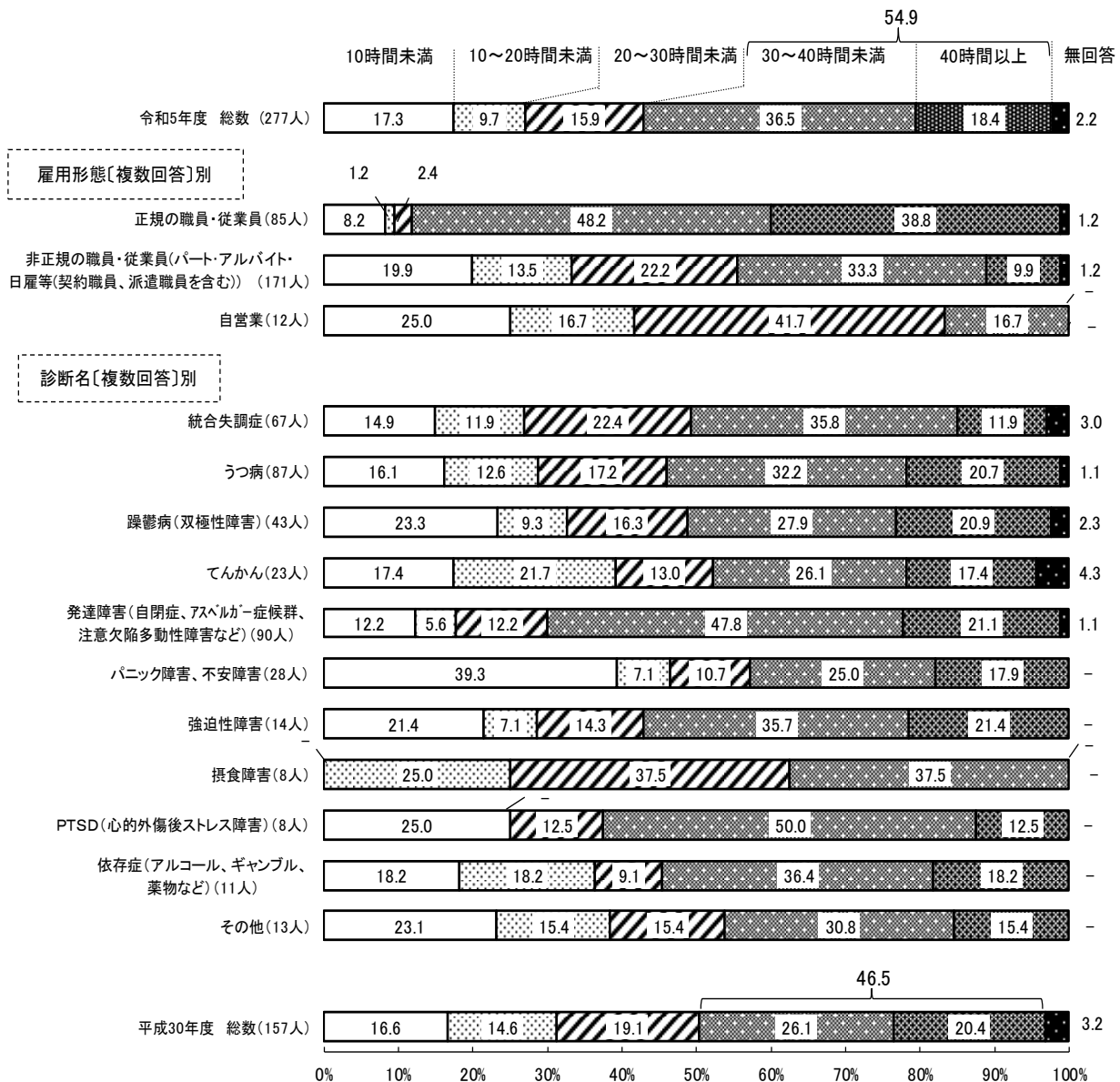
(5) 1週間の労働時間－雇用形態〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

1週間の労働時間は30時間以上働いている割合が54.9%

1週間の労働時間を聞いたところ、「30～40時間未満」(36.5%)と「40時間以上」(18.4%)を合わせた「30時間以上」の割合は54.9%で、平成30年度調査(46.5%)よりも8.4ポイント増加している。

雇用形態別にみると、正規の職員・従業員では「40時間以上」の割合が38.8%、「30～40時間未満」は48.2%となっている。(図IV-5-4)

図IV-5-4 1週間の労働時間－雇用形態〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



注1) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」は母数が1人、「家業の手伝い」、「内職」は母数が2人、「その他」は母数が5人のため省略した。

注2) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が0人、「パーソナリティ障害」及び「非器質性睡眠障害」は母数が3人、「高次脳機能障害」は母数が5人のため省略した。

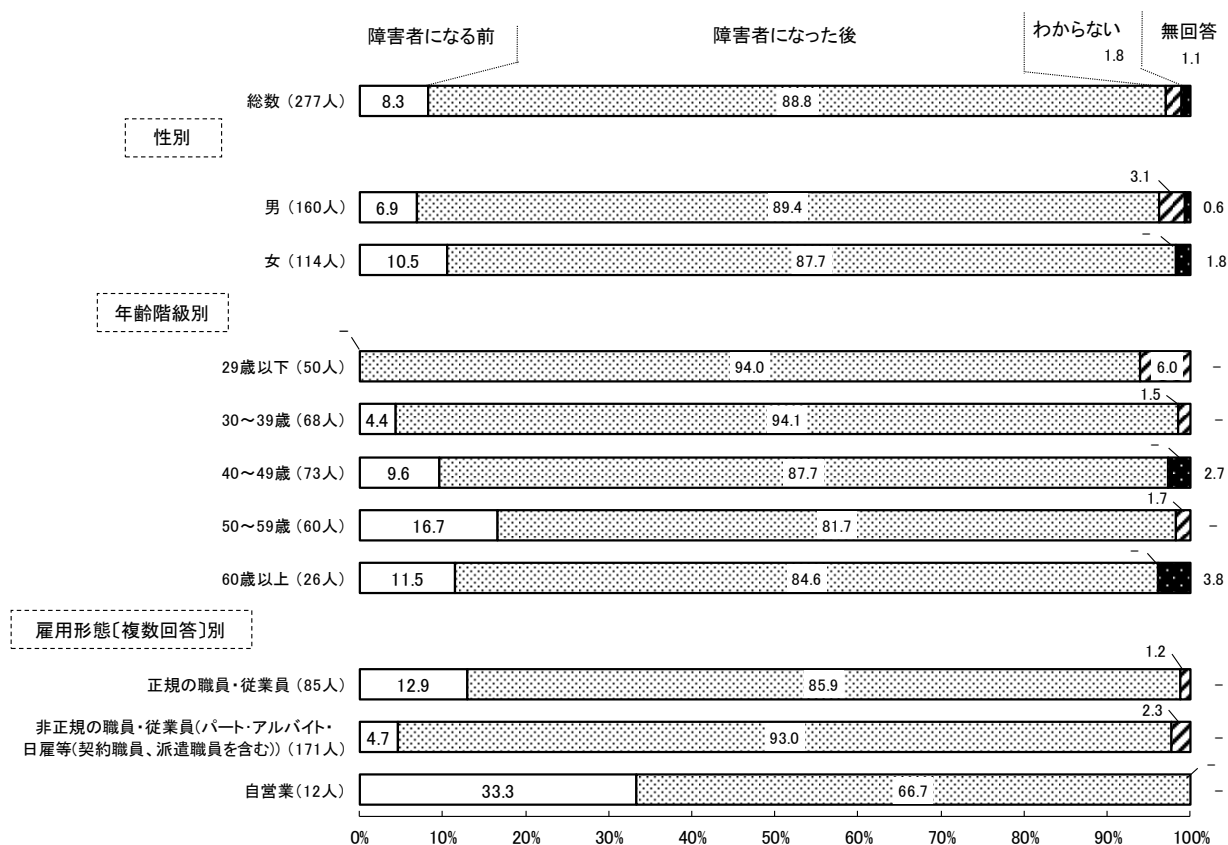
(6) 就職した時期－性・年齢階級、雇用形態〔複数回答〕別

現在の就職先に就職した時期は「障害者になった後」が88.8%

現在の就職先に就職した時期は障害者になる前か、それともなった後か聞いたところ、「障害者になる前」の割合が8.3%、「障害者になった後」が88.8%となっている。

年齢階級別にみると29歳以下及び30代では「障害者になった後」の割合が9割を超えている(94.0%, 94.1%)。(図IV-5-5)

図IV-5-5 就職した時期－性・年齢階級、雇用形態〔複数回答〕別



注1) 「性別」のうち、「その他」については母数が3人のため省略した。

2) 「仕事の種類〔複数回答〕別」のうち、「会社等の役員」は母数が1人、「家業の手伝い」、「内職」は母数が2人、「その他」は母数が5人のため省略した。

(7) 就職をするために支援を受けたところ (人)〔複数回答〕－性・年齢階級別

就職をするために支援を受けたところは、「ハローワーク」が26.8%

現在の就職先に就職したのが「障害者になった後」と回答のあった人(246人)に、どこ(誰)の支援を受けて現在の仕事に就いたか聞いたところ、「ハローワーク(公共職業安定所)」の割合が26.8%で最も高く、次いで「就労移行支援事業所等」が21.5%、「区市町村障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センター」が12.6%となっている。

年齢階級別に見ると、29歳以下では「学校」の割合が36.2%、30代は「就労移行支援事業所等」が29.7%で、それぞれ最も高くなっている。(表IV-5-2)

表IV-5-2 就職をするために支援を受けたところ (人)〔複数回答〕－性・年齢階級別

		総数	(ハローワーク 公共職業安定所)	民間の 職業紹介会社	障害者 就業・生活 支援センター	就労移行 支援事業所等	区市町村 障害者 就労支援センター	学校	家族	知人	主治医	福祉 NPO法人 活動など	その他	支援 は な か つ た	無 回 答
総数		100.0 (246)	26.8	15.9	12.6	21.5	8.9	7.3	9.3	4.5	3.7	5.3	18.3	0.8	
性別	男	100.0 (143)	30.1	13.3	15.4	23.8	9.8	6.3	9.1	4.2	4.9	7.0	17.5	0.7	
	女	100.0 (100)	22.0	19.0	8.0	19.0	8.0	9.0	9.0	3.0	2.0	3.0	20.0	1.0	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (47)	12.8	4.3	6.4	31.9	36.2	6.4	4.3	4.3	2.1	-	21.3	2.1	
	30～39歳	100.0 (64)	21.9	15.6	15.6	29.7	4.7	10.9	7.8	1.6	6.3	6.3	15.6	-	
	40～49歳	100.0 (64)	39.1	17.2	18.8	12.5	3.1	6.3	10.9	6.3	4.7	7.8	20.3	1.6	
	50～59歳	100.0 (49)	30.6	24.5	8.2	16.3	-	2.0	14.3	6.1	2.0	8.2	16.3	-	
	60歳以上	100.0 (22)	27.3	18.2	9.1	13.6	-	13.6	9.1	4.5	-	-	18.2	-	

(8) 現在の仕事に就いてからの期間－性・年齢階級、雇用形態〔複数回答〕別

現在の仕事に就いてからの期間は「1年以上」が82.7%

仕事をしている人(277人)に、現在の仕事に就いてからの期間を聞いたところ、「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」、「5年以上10年未満」及び「10年以上」を合わせた「1年以上」の割合は82.7%となっている。

性別でみると、「10年以上」の割合は、男性が27.5%、女性が12.3%となっている。

(表IV-5-3)

表IV-5-3 現在の仕事に就いてからの期間－性・年齢階級、雇用形態〔複数回答〕別

		総数	3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答
総数		100.0 (277)	5.4	4.7	5.4	22.4	18.4	20.9	20.9	1.8
						82.7				
性別	男	100.0 (160)	4.4	3.8	6.3	20.0	15.6	20.6	27.5	1.9
	女	100.0 (114)	7.0	6.1	4.4	24.6	22.8	21.1	12.3	1.8
年齢階級別	29歳以下	100.0 (50)	6.0	10.0	8.0	22.0	28.0	24.0	-	2.0
	30～39歳	100.0 (68)	4.4	1.5	7.4	26.5	17.6	23.5	17.6	1.5
	40～49歳	100.0 (73)	6.8	2.7	8.2	19.2	16.4	16.4	27.4	2.7
	50～59歳	100.0 (60)	5.0	6.7	-	23.3	16.7	18.3	30.0	-
	60歳以上	100.0 (26)	3.8	3.8	-	19.2	11.5	26.9	30.8	3.8
雇用形態別〔複数回答〕	正規の職員・従業員	100.0 (85)	-	2.4	4.7	18.8	20.0	24.7	28.2	1.2
	非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む))	100.0 (171)	8.8	6.4	5.3	25.7	18.1	19.3	16.4	-
	自営業	100.0 (12)	-	-	8.3	16.7	16.7	8.3	50.0	-

注1)「性別」のうち、「その他」については母数が3人のため省略した。

2) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」は母数が1人、「家業の手伝い」、「内職」は母数が2人、「その他」は母数が5人のため省略した。

(9) 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

－性・年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

仕事をしていく上で困ることは、「人間関係が難しい」が40.8%

仕事をしている人（277人）に、仕事をしていく上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」の割合が72.2%となっている。内容についてみると、「人間関係が難しい」が40.8%で最も高く、次いで「相手に対して、言いたい内容が伝わらない」が18.1%、「定期的な通院や健康管理との両立」が17.0%となっている。一方、「困ることは特にない」が24.5%となっている。（表IV-5-4）

表IV-5-4 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

－性・年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

	総数	困ることがある	困る理由											困ることは特にない	無回答	
			仕事の内容が障害の特性に合っていない	人間関係が難しい	相手に対して、言いたい内容が伝わらない	相手から言っていることが分からない	職場の（物理的な）バリアフリー化が不十分	勤務時間・日数が合わない	通勤距離・時間がかかる	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	急な体調の変化への配慮がない	その他			
総数	100.0 (277)	72.2	8.3	40.8	18.1	9.7	2.2	4.3	9.4	14.4	17.0	12.6	10.1	24.5	3.2	
性別	男 (160)	100.0	70.0	6.3	39.4	18.8	8.8	1.9	4.4	8.1	14.4	16.3	10.0	7.5	28.1	1.9
	女 (114)	100.0	74.6	10.5	43.0	17.5	11.4	2.6	3.5	11.4	13.2	17.5	15.8	13.2	20.2	5.3
年齢階級別	29歳以下 (50)	100.0	74.0	10.0	42.0	30.0	14.0	2.0	2.0	10.0	14.0	10.0	6.0	6.0	26.0	-
	30～39歳 (68)	100.0	73.5	7.4	45.6	17.6	8.8	-	4.4	10.3	8.8	16.2	10.3	7.4	26.5	-
	40～49歳 (73)	100.0	82.2	9.6	47.9	19.2	13.7	5.5	4.1	8.2	19.2	23.3	13.7	12.3	13.7	4.1
	50～59歳 (60)	100.0	68.3	8.3	31.7	15.0	6.7	-	5.0	11.7	16.7	16.7	21.7	15.0	25.0	6.7
	60歳以上 (26)	100.0	46.2	3.8	26.9	-	-	3.8	7.7	3.8	11.5	15.4	7.7	7.7	46.2	7.7
程度帳別の	1級 (8)	100.0	75.0	-	62.5	50.0	50.0	-	-	-	25.0	12.5	-	-	25.0	-
	2級 (75)	100.0	72.0	8.0	42.7	16.0	8.0	4.0	4.0	9.3	14.7	13.3	9.3	13.3	22.7	5.3
	3級 (194)	100.0	72.2	8.8	39.2	17.5	8.8	1.5	4.6	9.8	13.9	18.6	14.4	9.3	25.3	2.6

注) 「性別」のうち、「その他」については母数が3人と少数のため省略した。

(10) 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕

－性・年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

仕事で困ったときの相談相手は「職場の上司」が57.4%、「家族」が42.6%

仕事をしている人(277人)に、仕事で困ったときの相談先を聞いたところ、「職場の上司」の割合が57.4%で最も高く、次いで「家族」が42.6%、「主治医」が40.4%となっている。

性別でみると、男性は「職場の上司」が61.3%、女性は「家族」が51.8%でそれぞれ最も高くなっている。(表IV-5-5)

表IV-5-5 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕

－性・年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

		総数	職場の上司	職場の同僚	職場に派遣されたジョブ	就労支援センター等の職員	家族	職場の同僚以外の友人	施設の職員、グループホームの世話人等	主治医	出身校の教員	その他	(相談する相手がない)	今まで特に困ったことはない	無回答
総数		100.0 (277)	57.4	28.9	4.0	20.9	42.6	15.5	3.2	40.4	2.2	5.4	5.4	4.0	1.4
性別	男	100.0 (160)	61.3	29.4	4.4	19.4	36.3	13.1	3.1	36.9	2.5	5.0	7.5	4.4	1.3
	女	100.0 (114)	50.9	27.2	3.5	22.8	51.8	17.5	3.5	43.9	1.8	6.1	2.6	3.5	1.8
年齢階級別	29歳以下	100.0 (50)	62.0	26.0	6.0	18.0	52.0	12.0	4.0	28.0	8.0	2.0	8.0	4.0	-
	30～39歳	100.0 (68)	64.7	29.4	5.9	29.4	41.2	13.2	2.9	38.2	2.9	5.9	1.5	2.9	-
	40～49歳	100.0 (73)	58.9	28.8	2.7	24.7	42.5	15.1	4.1	45.2	-	6.8	8.2	2.7	2.7
	50～59歳	100.0 (60)	55.0	35.0	3.3	15.0	40.0	18.3	3.3	48.3	-	6.7	5.0	1.7	-
	60歳以上	100.0 (26)	30.8	19.2	-	7.7	34.6	23.1	-	38.5	-	3.8	3.8	15.4	7.7
程度帳別の	1級	100.0 (8)	57.4	28.9	4.0	20.9	42.6	15.5	3.2	40.4	2.2	5.4	5.4	4.0	1.4
	2級	100.0 (75)	54.7	30.7	6.7	29.3	42.7	22.7	9.3	32.0	4.0	4.0	4.0	2.7	2.7
	3級	100.0 (194)	57.7	28.4	3.1	18.6	41.2	13.4	1.0	43.3	1.5	5.2	6.2	4.6	1.0

注)「性別」のうち、「その他」については母数が3人のため省略した。

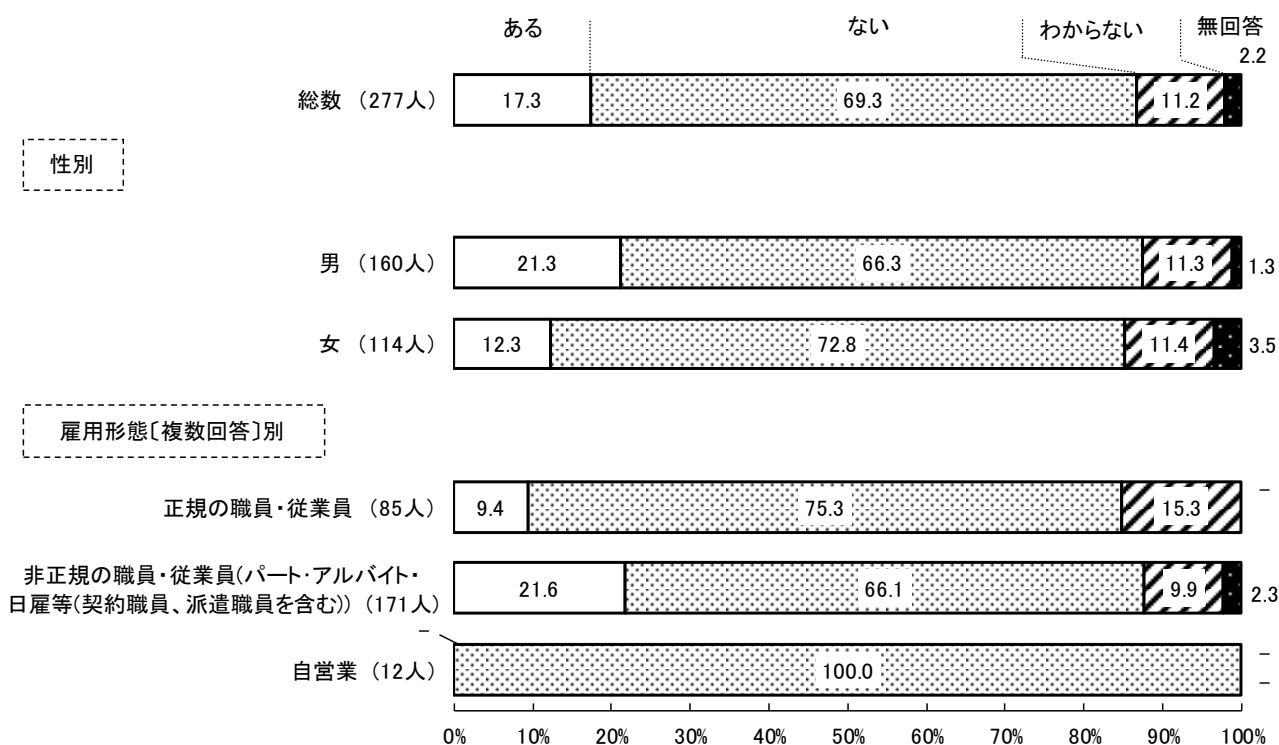
(11) 福祉的就労経験の有無－性別、雇用形態〔複数回答〕別

これまでに福祉的就労を経験したことが「ある」割合は17.3%

仕事をしている人（277人）に、これまでに福祉的就労をしたことがあるか聞いたところ、「ある」の割合が17.3%、「ない」が69.3%となっている。

仕事の種類別にみると、「非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））」では、「ある」の割合が21.6%となっている。（図IV-5-6）

図IV-5-6 福祉的就労経験の有無－性別、雇用形態〔複数回答〕別



注1) 「性別」のうち、「その他」については母数が3人のため省略した。

2) 「仕事の種類〔複数回答〕別」のうち、「会社等の役員」は母数が1人、「家業の手伝い」、「内職」は母数が2人、「その他」は母数が5人のため省略した。

(12) 現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）理由〔3つまでの複数回答〕
 一年齢階級、収入を伴う仕事の有無別

「健康面・体力面に不安があるため」が59.2%で、「人間関係を築くことが難しいため」が30.3%

現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）人（584人）にその理由を聞いたところ、「健康面・体力面に不安があるため」の割合が59.2%で最も高く、次いで「人間関係を築くことが難しいため」が30.3%となっている。

年齢階級別にみると、30代及び40代では「健康面・体力面に不安があるため」の割合が約7割となっている（70.7%、70.5%）。また、30代では「人間関係を築くことが難しいため」が48.0%となっている。（表IV-5-6）

表IV-5-6 現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）理由
 〔3つまでの複数回答〕一年齢階級、収入を伴う仕事の有無別

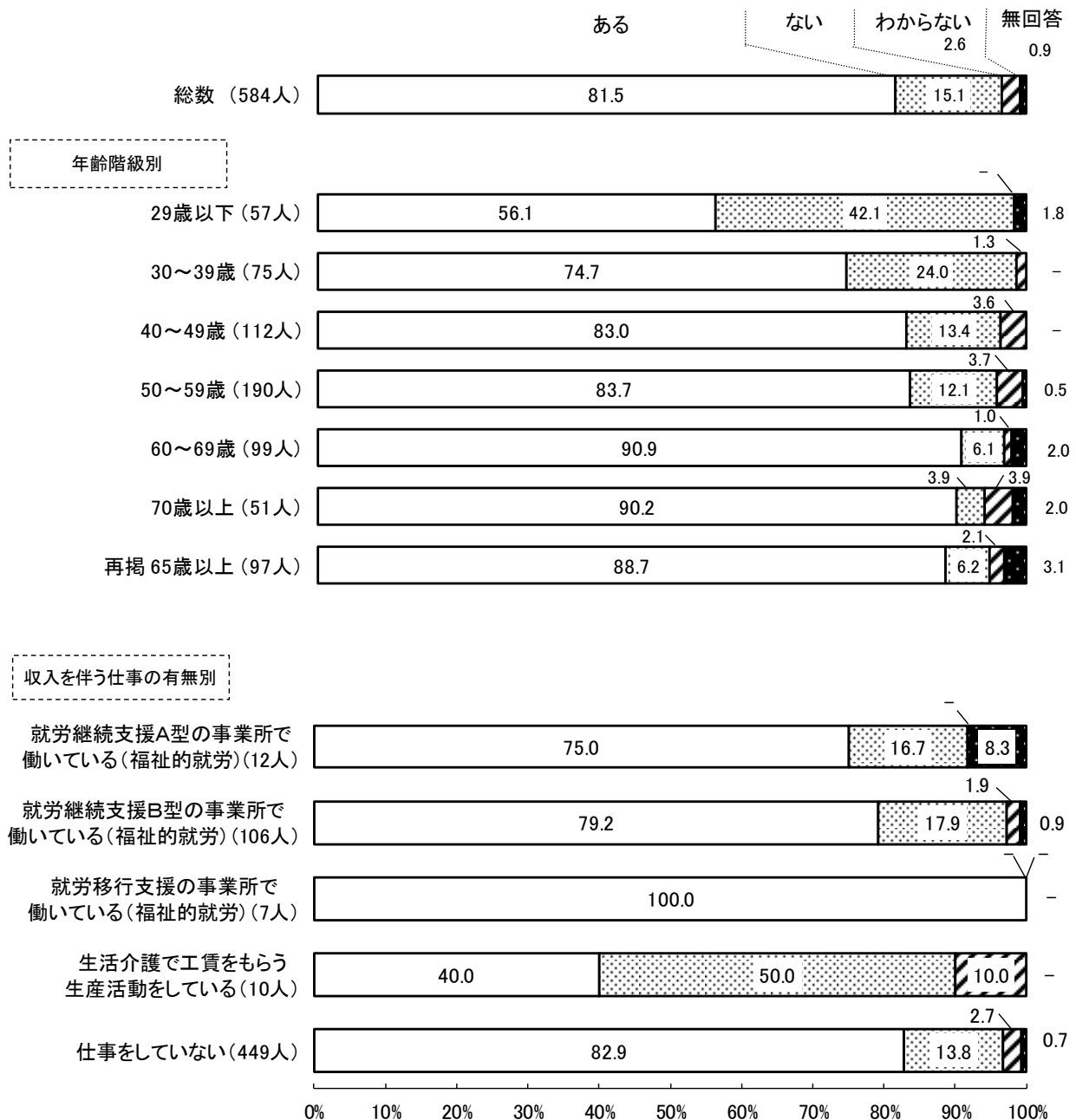
		総数	条件に当てる希望する仕事内容や労働	障害や病状が重く企業などで働くことが難しいため	健康面・体力面に不安があるため	人間関係を築くことが難しい	受け入れてくれる職場が見つからないため	会社倒産、人員整理のため	学校などで勉強しているため	（結婚、育児、介護など）	（高年齢のため） （定年を含む）	企業や公的機関などで働く必要がないため	企業や公的機関などで働きたくないため	その他	無回答
総数		100.0 (584)	18.8	28.8	59.2	30.3	16.3	0.9	3.1	6.2	14.9	2.9	3.3	8.7	6.0
年齢階級別	29歳以下	100.0 (57)	22.8	22.8	43.9	31.6	14.0	1.8	17.5	1.8	-	1.8	3.5	10.5	7.0
	30～39歳	100.0 (75)	26.7	20.0	70.7	48.0	26.7	-	2.7	8.0	-	-	8.0	13.3	2.7
	40～49歳	100.0 (112)	17.0	42.9	70.5	36.6	20.5	0.9	1.8	10.7	0.9	1.8	-	10.7	0.9
	50～59歳	100.0 (190)	19.5	33.2	58.9	33.2	15.3	1.6	1.6	5.3	6.8	4.7	4.7	8.4	8.4
	60～69歳	100.0 (99)	17.2	19.2	60.6	15.2	13.1	-	1.0	5.1	38.4	1.0	2.0	6.1	7.1
	70歳以上	100.0 (51)	7.0	23.3	39.5	9.3	4.7	-	-	4.7	69.8	7.0	-	2.3	4.7
	(再掲)65歳以上	100.0 (97)	12.4	18.6	43.3	11.3	6.2	-	-	3.1	58.8	4.1	2.1	4.1	10.3
収入を伴う仕事の有無別	就労継続支援A型の事業所で働いている(福祉的就労)	100.0 (12)	25.0	-	50.0	33.3	33.3	-	-	16.7	16.7	-	-	-	25.0
	就労継続支援B型の事業所で働いている(福祉的就労)	100.0 (106)	16.0	22.6	61.3	35.8	26.4	0.9	1.9	2.8	8.5	2.8	2.8	4.7	8.5
	就労移行支援の事業所で働いている(福祉的就労)	100.0 (7)	57.1	14.3	14.3	28.6	28.6	-	-	-	-	-	14.3	28.6	-
	生活介護で工賃をもらう生産活動をしている	100.0 (10)	10.0	40.0	20.0	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	40.0
	仕事をしていない	100.0 (449)	18.9	31.0	60.6	29.2	13.4	0.9	3.3	6.9	16.9	3.1	3.3	9.8	4.2

(13) 企業や公的機関などでの就労経験の有無－収入を伴う仕事の有無別

過去、企業等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）が「ある」割合は81.5%

現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）人（584人）に、過去に企業や公的機関などで働いたこと（パート、アルバイト等を含む）があるか聞いたところ、「ある」の割合が81.5%、「ない」が15.1%となっている。（図IV-5-7）

図IV-5-7 企業や公的機関などでの就労経験の有無－収入を伴う仕事の有無別



(14) 企業や公的機関などでの就労意向の有無－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

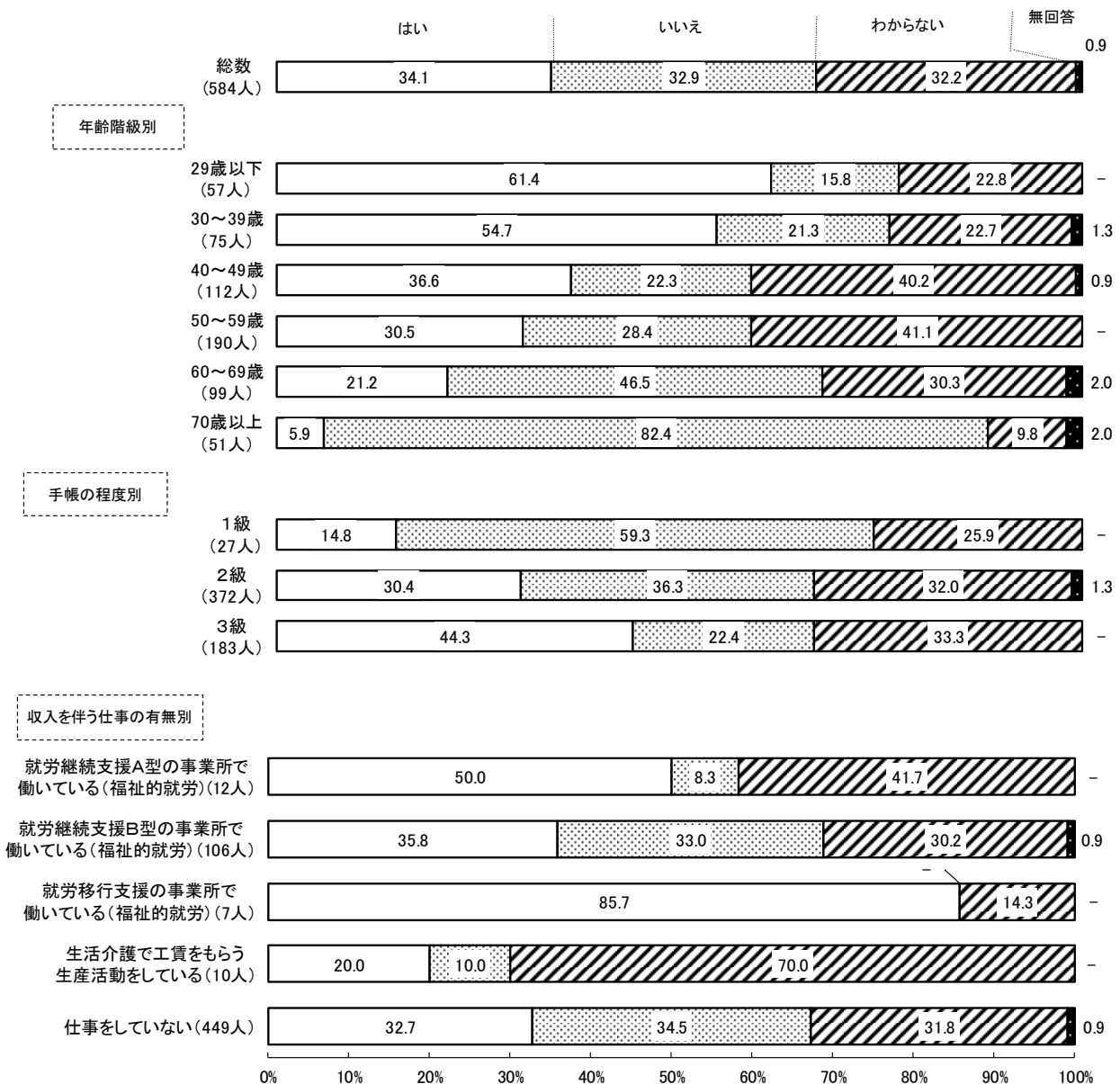
今後、企業等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）割合は 34.1%

現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）人（584人）に今後、企業や公的機関などで働きたいか（パート、アルバイト等を含む）を聞いたところ、「はい」の割合が 34.1%、「いいえ」が 32.9%、「わからない」が 32.2%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では「はい」の割合は 61.4%となっている。

手帳の程度別にみると、3級では「はい」の割合は 44.3%となっている。（図IV-5-8）

図IV-5-8 企業や公的機関などでの就労意向の有無
－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

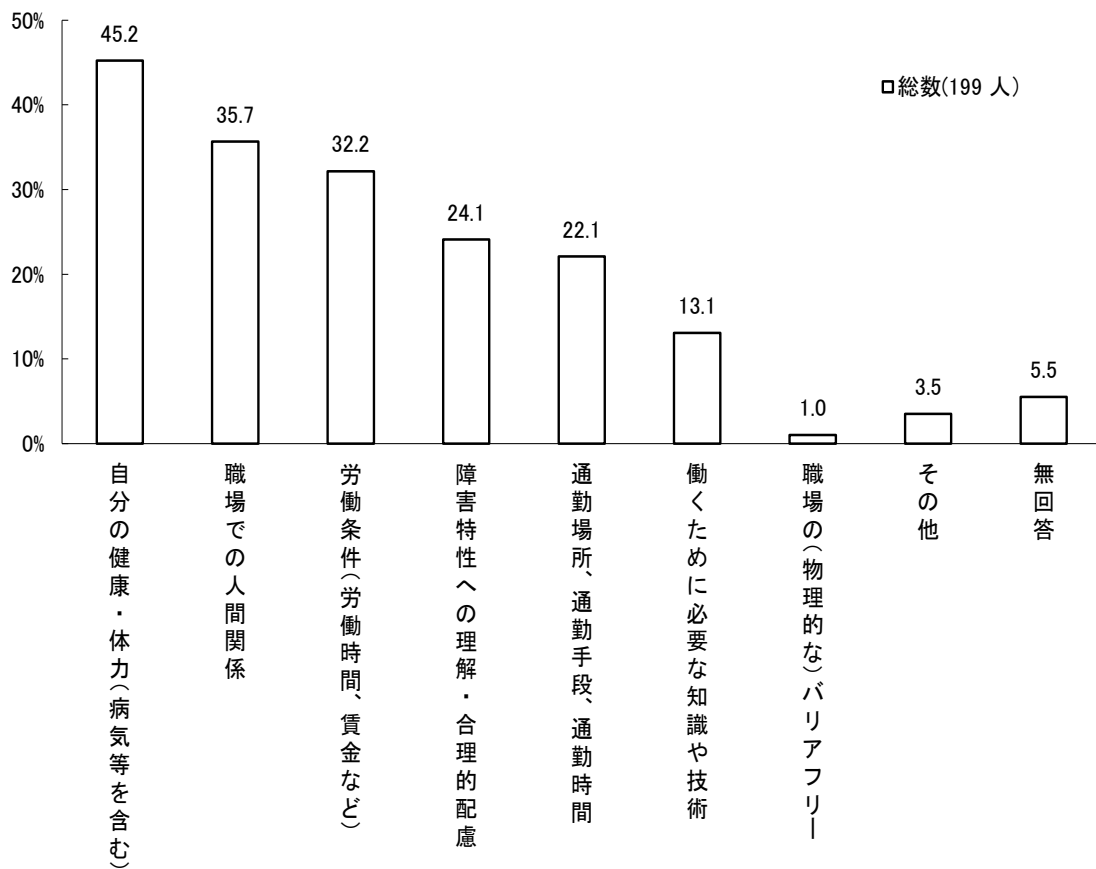


(15) 企業や公的機関などで働くにあたって心配なこと（課題）〔2つまでの複数回答〕

企業や公的機関などで働くにあたって心配なこと（課題）は「自分の健康・体力（病気等を含む）」の割合が45.2%

現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）人で、今後、企業や公的機関などで働く意向がある人（199人）に、企業や公的機関などで働くにあたって心配なこと（課題）を聞いたところ、「自分の健康・体力（病気等を含む）」の割合が45.2%で最も高く、次いで「職場での人間関係」が35.7%、「労働条件（労働時間、賃金など）」が32.2%となっている。（図IV-5-9）

図IV-5-9 企業や公的機関などで働くにあたって心配なこと（課題）



注) 総数は、現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）人のうち、「今後、企業や公的機関等で働きたい（パート、アルバイト等を含む。）と思いますか」の間に「はい」と答えた199人。

6 経済基盤

(1) 収入の種類〔複数回答〕 一年齢階級、年間収入額(生活保護費を除く)、診断名〔複数回答〕別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が44.3%、「賃金・給料」が34.1%

令和4年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が44.3%で最も高く、次いで「賃金・給料」が34.1%、「生活保護費」が25.3%となっている。(表IV-6-1)

表IV-6-1 収入の種類〔複数回答〕

一年齢階級、年間収入額(生活保護費を除く)、診断名〔複数回答〕別

		総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り・小遣い	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数		100.0 (871)	34.1	2.3	1.6	2.3	3.0	7.6	0.8	44.3	25.3	8.2	1.8	1.7	10.3	3.4	6.5	3.8
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	51.4	2.8	1.9	4.7	2.8	14.0	1.9	33.6	9.3	7.5	3.7	2.8	6.5	2.8	8.4	3.7
	30～39歳	100.0 (143)	49.0	2.1	2.8	0.7	3.5	9.8	0.7	41.3	11.9	11.9	2.1	1.4	9.8	1.4	4.2	2.8
	40～49歳	100.0 (189)	38.1	3.7	-	-	3.2	6.9	1.1	38.1	23.8	9.0	1.6	0.5	9.5	4.2	8.5	2.6
	50～59歳	100.0 (252)	29.0	1.6	2.0	1.6	3.6	7.1	0.4	40.5	31.7	6.7	1.6	2.0	15.1	2.8	7.5	5.2
	60～69歳	100.0 (120)	18.3	1.7	2.5	4.2	1.7	5.0	0.8	59.2	40.8	5.8	0.8	3.3	9.2	5.8	5.8	2.5
	70歳以上	100.0 (60)	8.3	1.7	-	8.3	1.7	-	-	76.7	31.7	8.3	1.7	-	3.3	5.0	-	6.7
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	10.5	1.8	-	6.1	0.9	0.9	-	78.1	36.8	7.9	0.9	0.9	7.0	4.4	0.9	5.3
	年間収入額(生活保護費を除く)別	収入なし	100.0 (139)	2.2	0.7	1.4	1.4	0.7	5.8	0.7	7.2	50.4	2.9	0.7	2.2	1.4	1.4	38.1
50万円未満		100.0 (110)	18.2	0.9	3.6	-	0.9	11.8	0.9	34.5	43.6	12.7	0.9	-	31.8	4.5	-	-
50～100万円未満		100.0 (199)	19.6	1.5	0.5	0.5	0.5	6.0	-	83.9	20.6	7.5	1.0	0.5	14.6	1.5	0.5	0.5
100～150万円未満		100.0 (123)	43.9	1.6	0.8	2.4	4.1	13.0	1.6	56.1	17.9	12.2	2.4	3.3	7.3	5.7	-	-
150～200万円未満		100.0 (87)	63.2	6.9	4.6	4.6	6.9	8.0	1.1	43.7	17.2	11.5	3.4	3.4	10.3	4.6	-	-
200～250万円未満		100.0 (52)	82.7	1.9	1.9	1.9	1.9	5.8	-	48.1	3.8	5.8	5.8	1.9	3.8	1.9	-	-
250～300万円未満		100.0 (35)	80.0	2.9	-	11.4	17.1	8.6	-	45.7	2.9	5.7	2.9	-	-	5.7	-	-
300～400万円未満		100.0 (23)	87.0	13.0	4.3	8.7	8.7	4.3	-	26.1	-	4.3	4.3	4.3	-	8.7	-	-
400万円以上	100.0 (33)	93.9	6.1	-	9.1	9.1	3.0	3.0	15.2	3.0	6.1	3.0	6.1	3.0	6.1	-	-	
診断名(複数回答)別	統合失調症	100.0 (366)	21.9	1.1	1.6	3.3	2.7	5.7	0.5	57.4	32.8	8.2	1.6	1.9	15.3	2.7	5.2	3.6
	うつ病	100.0 (230)	37.4	3.5	2.6	0.9	3.9	9.1	0.4	30.9	25.2	6.5	2.2	1.7	3.5	3.0	10.0	3.9
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	36.6	6.3	2.7	-	3.6	10.7	-	42.0	26.8	6.3	1.8	0.9	8.0	2.7	5.4	1.8
	てんかん	100.0 (80)	35.0	1.3	1.3	3.8	2.5	5.0	1.3	50.0	21.3	11.3	-	-	12.5	5.0	5.0	6.3
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	52.1	2.6	2.1	3.2	2.1	10.5	1.6	38.9	9.5	10.0	2.6	2.6	7.4	3.2	6.3	3.7
	高次脳機能障害	100.0 (21)	28.6	-	-	-	-	9.5	-	61.9	14.3	19.0	4.8	-	4.8	-	-	9.5
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	28.9	2.1	1.0	3.1	2.1	13.4	2.1	33.0	32.0	6.2	3.1	2.1	11.3	6.2	12.4	3.1
	強迫性障害	100.0 (45)	33.3	-	-	-	-	6.7	-	37.8	31.1	4.4	-	-	6.7	2.2	11.1	-
	摂食障害	100.0 (19)	31.6	-	5.3	5.3	-	-	-	31.6	26.3	5.3	5.3	-	10.5	-	5.3	5.3
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	25.0	-	-	-	-	6.3	6.3	50.0	37.5	18.8	-	-	12.5	6.3	6.3	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	27.3	3.0	3.0	3.0	3.0	9.1	6.1	54.5	48.5	12.1	3.0	3.0	12.1	12.1	6.1	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	39.3	-	3.6	3.6	-	-	-	25.0	32.1	10.7	3.6	-	7.1	-	-	10.7
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	36.4	-	-	-	-	9.1	-	36.4	45.5	9.1	-	-	9.1	9.1	9.1	-
その他	100.0 (51)	39.2	-	-	-	-	9.8	-	37.3	31.4	17.6	-	-	11.8	2.0	9.8	-	
平成30年度	100.0 (499)	31.5	1.0	0.6	2.8	1.2	8.6	0.6	47.3	25.1	3.6	1.8	0.2	7.0	4.0	7.8	1.0	

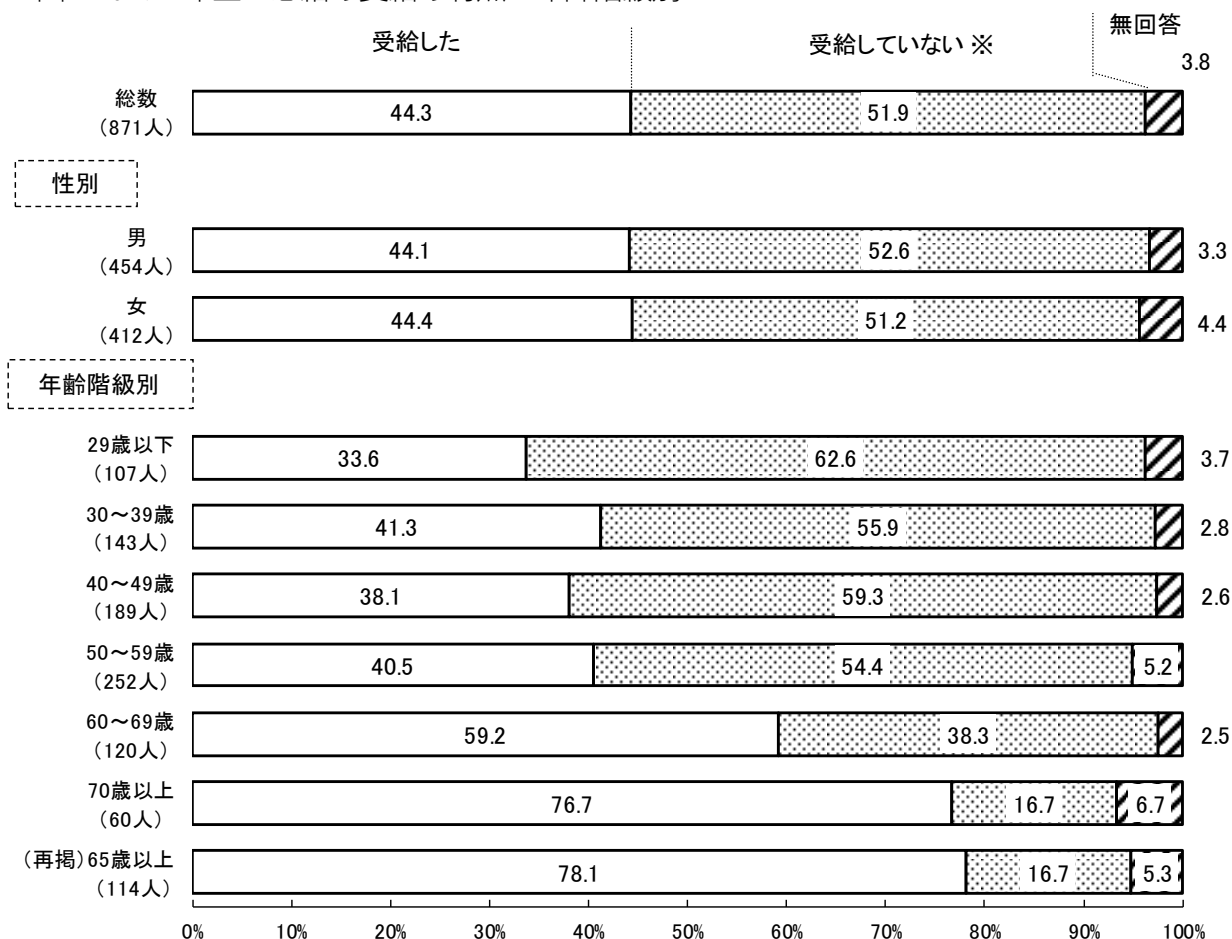
注1) 平成30年度調査では、「3つまで」の複数回答方式としていた。

2) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(2) 年金・恩給の受給の有無－年齢階級別

令和4年中に年金・恩給を受給したか聞いたところ、「受給した」の割合が44.3%、「受給していない」が51.9%となっている。(図IV-6-1)

図IV-6-1 年金・恩給の受給の有無－年齢階級別



注1) 性別のうち、「その他」は4人のため省略した。また、性別が無回答のため不明な方が1人いる。

2) ※ 収入について、年金・恩給を受給していないがその他の収入があった方と、収入が何もなかった方を合わせた割合を計上している。

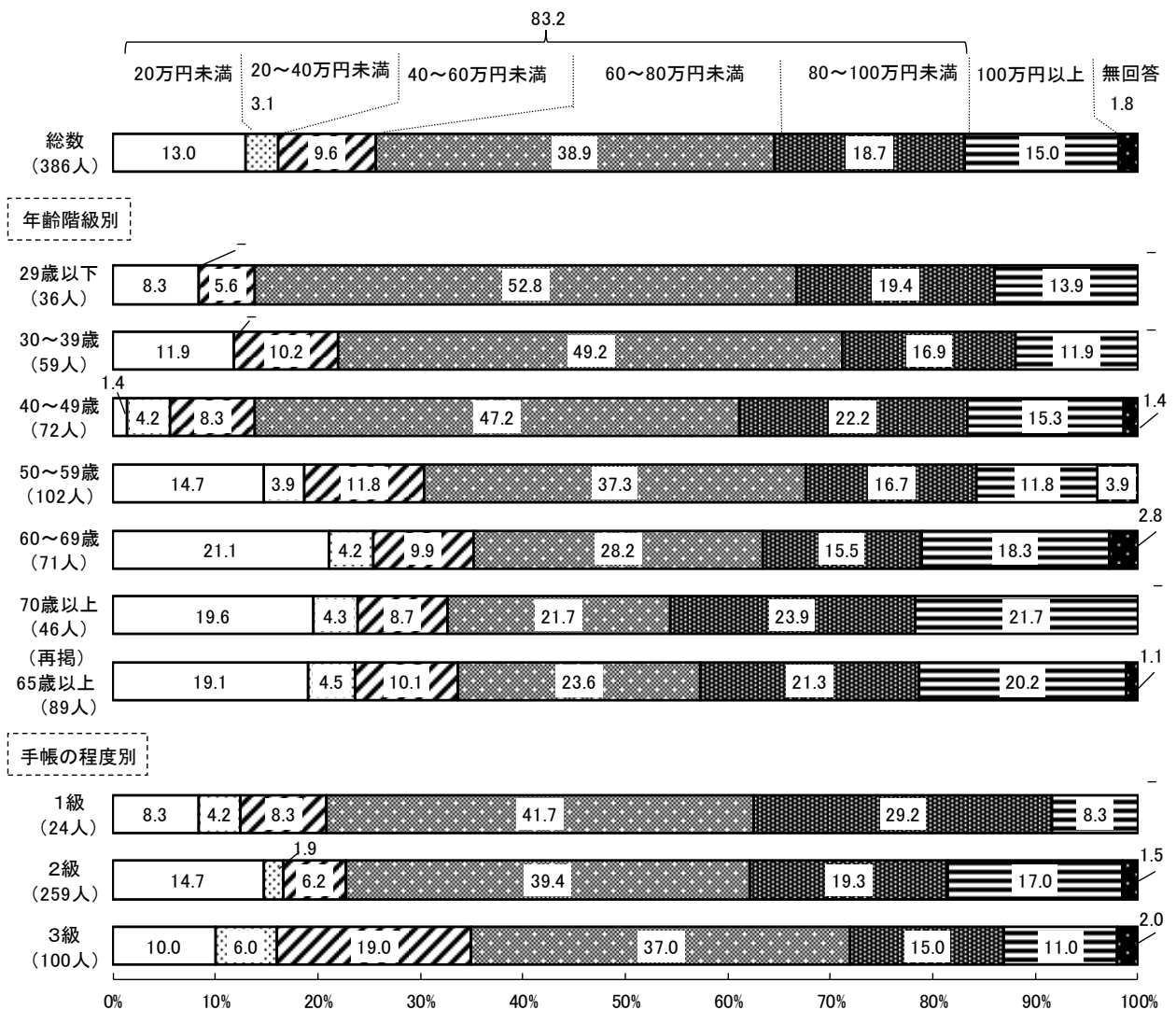
(3) 年金・恩給の収入額－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

ねんきん おんきゅう しゅうにゅうがく まんえんみまん
 年金・恩給の収入額は「100万円未満」が83.2%

令和4年中に年金・恩給を受給している人（386人）に、令和4年中の年金・恩給の収入額を聞いたところ、「60～80万円未満」の割合が38.9%で最も高く、「80～100万円未満」が18.7%となっている。全体では、「100万円以上」が15.0%で、100万円未満の割合は83.2%となっている。

年齢階級別にみると、60代及び70歳以上では「100万円以上」の割合は約2割となっている（18.3%、21.7%）。（図IV-6-2）

図IV-6-2 年金・恩給の収入額－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別



(4) 生活保護の受給の有無－性・年齢階級別

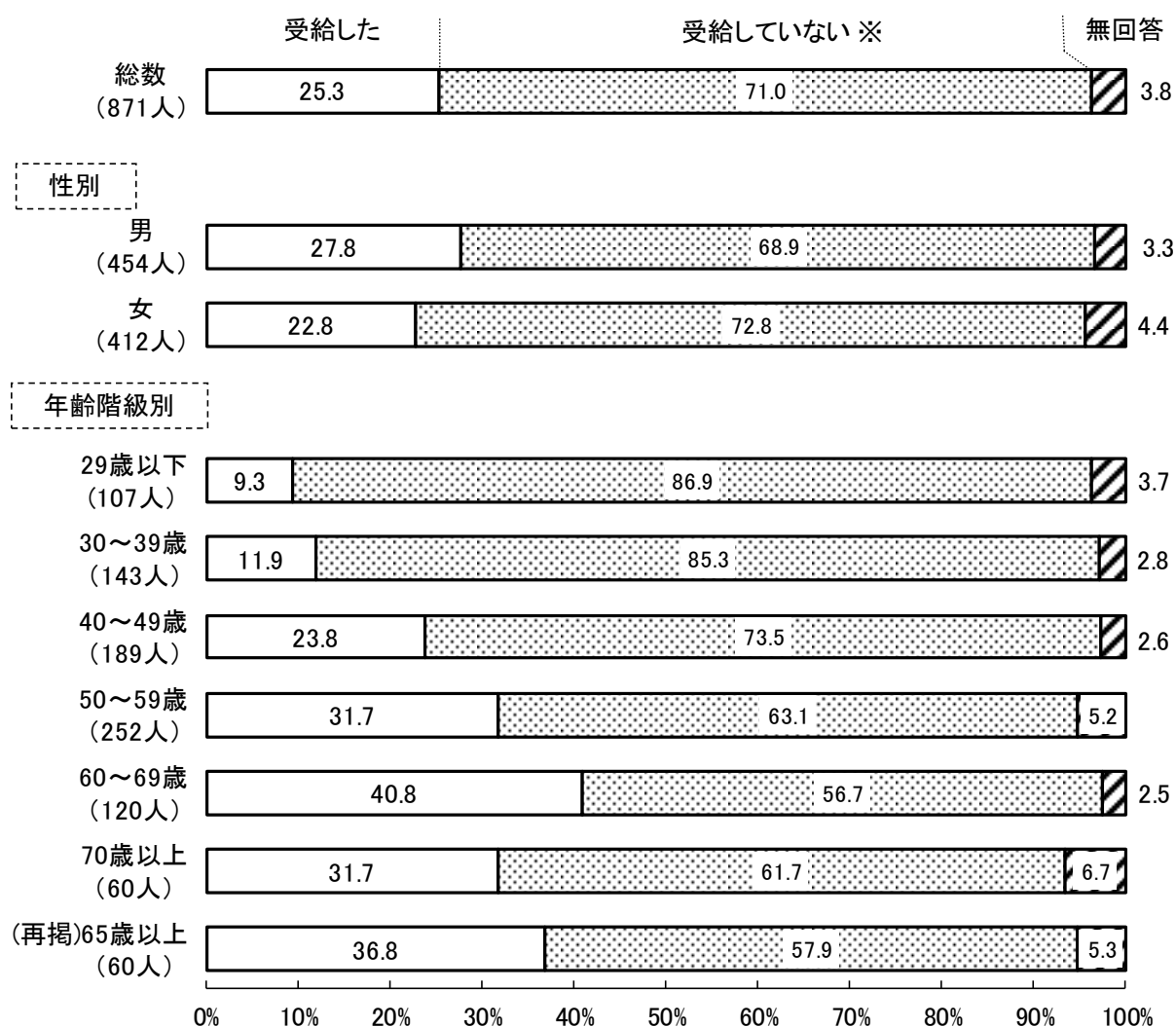
令和4年中に生活保護を受給したか聞いたところ、「受給した」割合が25.3%、「受給していない」が71.0%となっている。

性別で見ると、「受給した」割合は、男性が27.8%、女性が22.8%となっている。

年齢階級別にみると、60代では「受給した」割合は、約4割となっている（40.8%）。

(図IV-6-3)

図IV-6-3 生活保護の受給の有無－性・年齢階級別



注1) 性別のうち、「その他」は4人のため省略した。

2) ※ 収入について、生活保護を受給していないがその他の収入があった方と、収入が何もなかった方を合わせた割合を計上している。

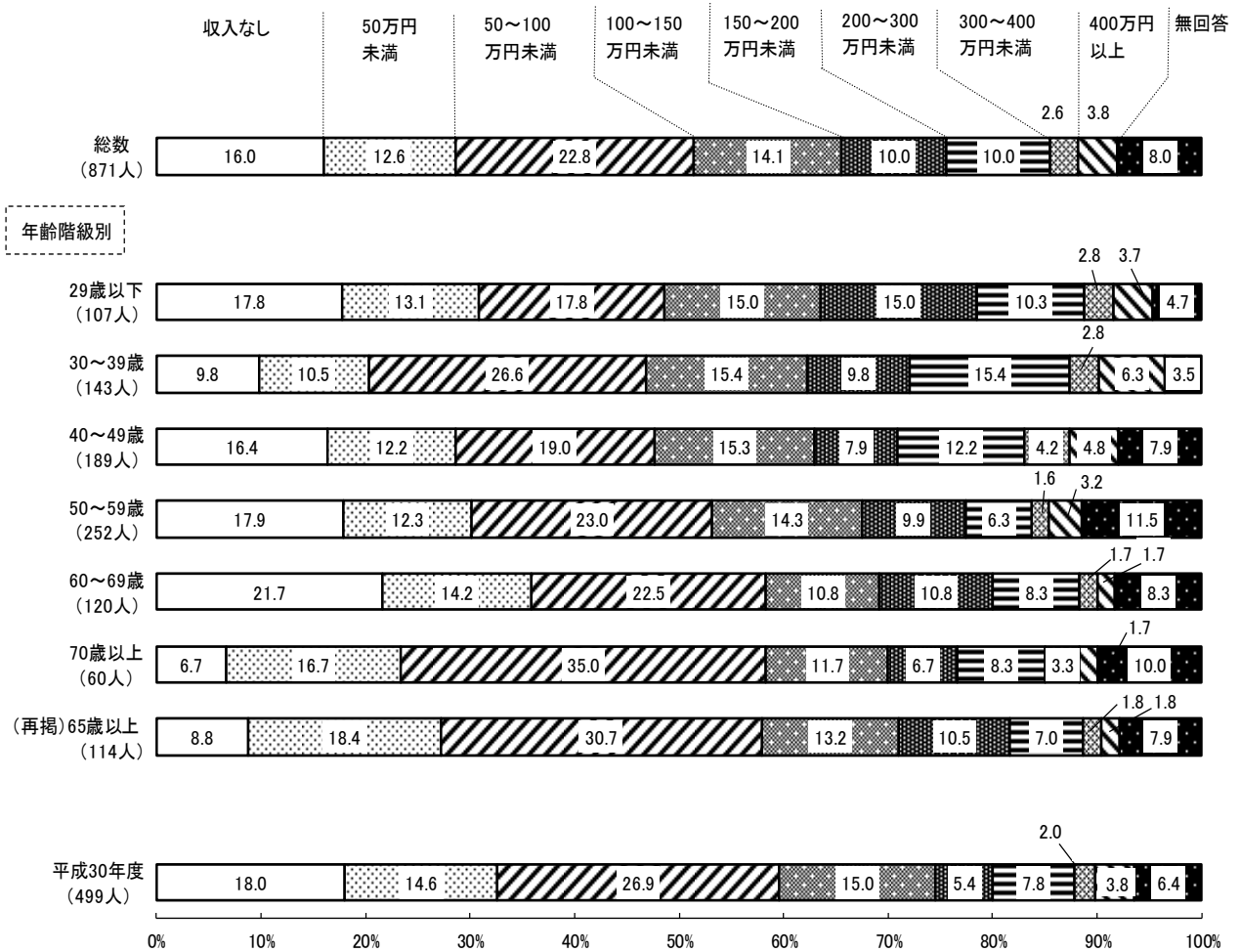
(5) 年間収入額（生活保護費を除く）－年齢階級別

ねんしゅう
 年収は「50～100万円未満」の割合が 22.8%

対象者本人の令和4年中の収入額（生活保護費を除く）を聞いたところ、「50～100万円未満」の割合が22.8%で最も多く、次いで「収入なし」が16.0%となっている。

年齢階級別に見ると、60代で「収入なし」が21.7%となっている（図IV-6-4）

図IV-6-4 年間収入額（生活保護費を除く）－年齢階級別



(6) 年間収入額（生活保護費を除く）－精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別
 令和4年中の収入額（生活保護費を除く）を精神障害者保健福祉手帳の程度別でみると、1
 級及び2級では「50～100万円未満」の割合がそれぞれ26.3%、29.4%と2割を超えている。3
 級では「収入なし」と「50～100万円未満」がそれぞれ14.8%となっている。（表IV-6-2）

表IV-6-2 年間収入額（生活保護費を除く）

－精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

		総 数	収 入 な し	5 0 万 円 未 満	5 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 万 円 未 満	4 0 0 万 円 未 満	5 0 0 万 円 未 満	6 0 0 万 円 未 満	7 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	無 回 答	
総数		100.0 (871)	16.0	12.6	22.8	14.1	10.0	6.0	4.0	2.6	1.6	0.7	0.3	0.9	0.1	0.1	0.1	8.0	
手 帳 の 程 度 別	1級	100.0 (38)	7.9	13.2	<u>26.3</u>	18.4	5.3	10.5	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	7.9	
	2級	100.0 (449)	17.6	14.5	<u>29.4</u>	13.8	7.3	3.1	1.8	1.3	1.6	-	0.2	0.2	-	-	-	9.1	
	3級	100.0 (378)	<u>14.8</u>	10.6	<u>14.8</u>	14.3	13.5	9.0	6.6	4.0	1.9	1.6	0.5	1.9	0.3	0.3	0.3	6.1	
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	統合失調症	100.0 (366)	15.0	15.6	28.4	13.1	8.5	4.6	2.5	2.5	0.5	0.3	-	0.3	0.3	-	-	8.5	
	うつ病	100.0 (230)	22.2	9.1	19.1	14.3	8.3	5.7	6.1	3.9	1.3	1.7	1.3	1.3	-	-	-	5.7	
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	16.1	9.8	24.1	17.9	8.9	8.0	5.4	3.6	-	0.9	-	1.8	-	-	-	3.6	
	てんかん	100.0 (80)	15.0	12.5	25.0	12.5	6.3	8.8	2.5	1.3	2.5	-	-	-	-	-	-	13.8	
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	12.1	9.5	17.4	14.7	16.8	7.9	4.2	2.6	3.7	0.5	0.5	1.6	-	-	0.5	7.9	
	高次脳機能障害	100.0 (21)	4.8	4.8	19.0	23.8	9.5	4.8	9.5	4.8	-	-	-	-	-	-	-	19.0	
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	24.7	12.4	22.7	16.5	2.1	6.2	3.1	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	9.3	
	強迫性障害	100.0 (45)	20.0	17.8	24.4	20.0	6.7	4.4	4.4	-	-	-	-	2.2	-	-	-	-	
	摂食障害	100.0 (19)	15.8	26.3	26.3	15.8	-	-	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	6.3	18.8	18.8	37.5	-	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	24.2	6.1	33.3	12.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	6.1
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	10.7	25.0	14.3	7.1	10.7	10.7	-	-	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	14.3
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	100.0 (51)	15.7	13.7	27.5	17.6	15.7	2.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	3.9	

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

7 社会参加等

(1) 平日の日中主に過ごしたところ一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

「^{じぶん いえ}自分の家」が 56.3%、「^{しょくば}職場（^{ふくしてきしゅうろう}福祉的就労の施設を除く）」が 21.6%

平日の日中に主にどこで過ごしたか聞いたところ、「自分の家」の割合が 56.3%で最も高く、次いで「職場（福祉的就労の施設を除く）」が 21.6%、「職場（福祉的就労の施設）」が 9.1%となっている。

診断名別にみると、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）では、「職場（福祉的就労の施設を除く）」の割合が 34.7%となっている。（表IV-7-1）

表IV-7-1 平日の日中主に過ごしたところ一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総数	自分の家	職場（福祉的就労の施設を除く）	職場（福祉的就労の施設）	学校	立通所施設（生活介護、自立訓練事業所など）	地域活動センター	精神科デイケア	入所施設	その他	無回答
総数		100.0 (871)	56.3	21.6	9.1	1.4	2.6	0.3	3.3	0.8	2.9	1.7
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	36.4	35.5	7.5	11.2	4.7	-	-	0.9	1.9	1.9
	30～39歳	100.0 (143)	53.1	29.4	10.5	-	3.5	-	-	-	2.8	0.7
	40～49歳	100.0 (189)	54.0	25.9	10.1	-	1.6	0.5	6.3	-	1.1	0.5
	50～59歳	100.0 (252)	55.2	18.3	11.9	-	3.2	0.4	3.6	0.4	4.0	3.2
	60～69歳	100.0 (120)	72.5	9.2	5.0	-	1.7	0.8	5.0	-	5.0	0.8
	70歳以上	100.0 (60)	78.3	3.3	1.7	-	-	-	3.3	8.3	1.7	3.3
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	75.4	5.3	5.3	-	-	-	4.4	4.4	2.6	2.6
診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	59.0	13.9	11.7	-	3.6	0.3	6.3	1.4	1.9	1.9
	うつ病	100.0 (230)	67.8	22.2	4.3	0.4	0.4	0.4	1.7	0.4	2.2	-
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	64.3	21.4	6.3	-	2.7	-	1.8	-	3.6	-
	てんかん	100.0 (80)	47.5	22.5	20.0	-	3.8	-	1.3	-	1.3	3.8
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	45.3	34.7	8.4	5.8	2.1	0.5	-	0.5	1.6	1.1
	高次脳機能障害	100.0 (21)	61.9	14.3	4.8	-	4.8	4.8	-	4.8	-	4.8
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	71.1	17.5	5.2	1.0	3.1	1.0	-	-	1.0	-
	強迫性障害	100.0 (45)	73.3	17.8	4.4	2.2	-	-	2.2	-	-	-
	摂食障害	100.0 (19)	84.2	10.5	5.3	-	-	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	68.8	18.8	6.3	-	-	-	-	-	6.3	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	66.7	27.3	3.0	-	3.0	-	-	-	-	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	57.1	21.4	7.1	-	7.1	-	-	-	7.1	-
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	72.7	27.3	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	100.0 (51)	54.9	19.6	5.9	-	-	-	5.9	2.0	7.8	3.9	

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(2) 現在利用している施設に満足しているかー性・年齢階級、

精神障害者保健福祉手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

げんざいりよう しせつ まんぞく わりあい
現在利用している施設に満足している割合は 69.4%

平日の日中、主に福祉的就労の施設や通所施設、地域活動支援センター等で過ごしている人(134人)に、現在利用している施設に満足しているか聞いたところ、「とても満足している」、「満足している」と答えた割合はそれぞれ 23.9%で、「だいたい満足している」(21.6%)を合わせた「満足している」割合は、69.4%となっている。

一方で、「やや不満である」(6.7%)、「不満である」(2.2%)及び「とても不満である」(3.0%)を合わせた「不満である」割合は、11.9%となっている。(表IV-7-2)

表IV-7-2 現在利用している施設に満足しているかー性・年齢階級、

精神障害者保健福祉手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

		総数	しとても満足	満足している	しだいたい満足	ふつう	でやや不満	不満である	とても不満	無回答
総数		100.0 (134)	23.9	23.9	21.6	13.4	6.7	2.2	3.0	5.2
			69.4				11.9			
性別	男	100.0 (83)	25.3	24.1	18.1	14.5	6.0	1.2	4.8	6.0
	女	100.0 (50)	22.0	24.0	28.0	10.0	8.0	4.0	-	4.0
年齢階級別	29歳以下	100.0 (13)	38.5	7.7	7.7	15.4	15.4	7.7	-	7.7
	30～39歳	100.0 (20)	25.0	35.0	15.0	15.0	5.0	-	-	5.0
	40～49歳	100.0 (35)	20.0	22.9	17.1	17.1	8.6	-	5.7	8.6
	50～59歳	100.0 (48)	14.6	25.0	33.3	12.5	4.2	4.2	4.2	2.1
	60歳以上	100.0 (18)	44.4	22.2	16.7	5.6	5.6	-	-	5.6
程度帳別の	1級	100.0 (11)	36.4	27.3	9.1	18.2	9.1	-	-	-
	2級	100.0 (85)	20.0	28.2	23.5	11.8	5.9	2.4	3.5	4.7
	3級	100.0 (37)	29.7	10.8	21.6	16.2	8.1	2.7	2.7	8.1
平日の日中主に	職場(福祉的就労の施設)	100.0 (79)	22.8	22.8	25.3	12.7	5.1	1.3	5.1	5.1
	通所施設(生活介護・自立訓練事業所など)	100.0 (23)	21.7	21.7	17.4	13.0	13.0	4.3	-	8.7
	精神科デイケア	100.0 (29)	31.0	27.6	13.8	13.8	6.9	3.4	-	3.4

注1) 総数は、「平日の日中主に過ごした場所」について、「職場(福祉的就労の施設)」、「通所施設(生活介護・自立訓練事業所など)」、「地域活動支援センター」、「精神科デイケア」のいずれかを選択した134人。

2) 「平日の日中主に過ごした場所」別のうち、「地域活動支援センター」は総数が3人のため省略した。

(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

この1年間に^{ねんかん}趣味や^{しゆみ}学習、^{しゃかいかつどう}社会活動などの「活動をした」が59.6%、「活動しなかった」が36.9%

この1年間に趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしたか聞いたところ、「活動した」割合は59.6%、「活動しなかった」は36.9%となっている。活動内容のうち「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見学」が最も高く、32.7%となっている。一方「活動しなかった」理由としては「活動したいと思わない」が最も高く16.0%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下及び30代では、「活動した」割合がそれぞれ7割を超えている(73.8%、72.0%)。(表IV-7-3)

表IV-7-3 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	活動した									活動しなかった	活動しなかった理由				無回答
		コンサートや映画、ス ポーツなどの鑑賞、見 物	健康維持等を目的とし た 運動、スポーツ活動	旅行やアウトドアの余 暇 活動	学習活動(オンライン参 加含む)	趣味の習い事やサー クル 活動	ボランティア活動	障害者団体での活動	その他	活動しなかった		活動したいと思わ ない	参加したいと思っ たが見つけ られない	何か活動したいと思 うが	活動したいと思わ ない	
総数	100.0 (871)	59.6	32.7	21.0	19.2	9.6	10.8	4.5	4.7	7.0	36.9	13.8	7.1	16.0	3.6	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	73.8	47.7	17.8	38.3	15.0	15.9	4.7	4.7	5.6	23.4	1.9	9.3	12.1	2.8
	30～39歳	100.0 (143)	72.0	47.6	34.3	25.2	15.4	11.9	2.8	3.5	7.0	26.6	9.1	9.1	8.4	1.4
	40～49歳	100.0 (189)	60.3	31.7	20.6	22.2	9.5	12.2	5.8	8.5	4.8	36.5	13.2	5.3	18.0	3.2
	50～59歳	100.0 (252)	53.6	27.0	20.6	11.1	7.1	8.7	4.8	4.0	8.3	40.9	17.9	6.3	16.7	5.6
	60～69歳	100.0 (120)	51.7	24.2	15.0	11.7	5.8	8.3	4.2	3.3	7.5	45.8	20.8	5.0	20.0	2.5
	70歳以上	100.0 (60)	43.3	15.0	10.0	10.0	5.0	8.3	3.3	1.7	10.0	51.7	16.7	11.7	23.3	5.0
診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	54.9	26.5	17.8	13.4	8.5	10.7	2.7	5.2	8.7	40.4	16.1	6.0	18.3	4.6
	うつ病	100.0 (230)	53.9	35.7	20.9	14.3	11.3	8.3	3.5	2.2	2.6	44.8	16.5	7.8	20.4	1.3
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	63.4	40.2	25.9	21.4	12.5	13.4	8.0	1.8		36.6	16.1	11.6	8.9	-
	てんかん	100.0 (80)	55.0	35.0	10.0	26.3	2.5	7.5	6.3	6.3	8.8	40.0	13.8	8.8	17.5	5.0
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	70.5	42.1	27.9	31.1	13.7	13.7	6.3	5.3	6.8	26.8	8.4	6.3	12.1	2.6
	高次脳機能障害	100.0 (21)	57.1	19.0	4.8	14.3	4.8	14.3	-	4.8	9.5	38.1	14.3	-	23.8	4.8
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	57.7	40.2	17.5	22.7	9.3	10.3	8.2	3.1	4.1	38.1	19.6	7.2	11.3	4.1
	強迫性障害	100.0 (45)	57.8	37.8	26.7	15.6	4.4	13.3	2.2	-	6.7	40.0	15.6	13.3	11.1	2.2
	摂食障害	100.0 (19)	78.9	52.6	26.3	10.5	5.3	10.5	15.8	-	15.8	21.1	5.3	5.3	10.5	-
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	68.8	31.3	18.8	25.0	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	31.3	18.8	-	12.5	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	51.5	36.4	18.2	21.2	15.2	9.1	12.1	-	3.0	48.5	33.3	6.1	9.1	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	67.9	32.1	35.7	21.4	7.1	7.1	10.7	10.7	10.7	28.6	3.6	14.3	10.7	3.6
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	18.2	9.1	-	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	81.8	27.3	18.2	36.4	-
	その他	100.0 (51)	54.9	31.4	21.6	13.7	17.6	7.8	-	2.0	7.8	39.2	19.6	3.9	15.7	5.9

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(4) 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

社会参加をする上で妨げになっていることは、「経済的な理由」の割合が37.4%

社会参加をする上で妨げになっていることがあるか聞いたところ、「経済的な理由」の割合が37.4%で最も高く、次いで「まわりの人の障害者に対する理解不足」が20.4%となっている。一方、「特にない」の割合は27.4%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では「経済的な理由」及び「一緒に行く仲間がない」が最も高く、それぞれ31.8%となっている。(表IV-7-4)

表IV-7-4 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	経済的な理由	支援者がいない※	情報がない	にまわりの人の障害者に対する理解不足	障害の利用を拒否される	適切な指導者がいない	一緒に行く仲間がない	ヘルプマーク等をつけて外出しているが、必要な配慮がされない	その他	特にない	無回答	
総数	100.0 (871)	37.4	9.1	16.0	20.4	0.9	16.5	20.3	5.9	10.1	27.4	3.3	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	31.8	3.7	17.8	21.5	1.9	11.2	31.8	5.6	8.4	29.9	3.7
	30～39歳	100.0 (143)	39.2	8.4	14.0	22.4	-	20.3	24.5	6.3	7.0	30.8	0.7
	40～49歳	100.0 (189)	36.0	14.8	16.4	25.9	2.1	21.2	19.0	6.9	14.3	21.2	2.1
	50～59歳	100.0 (252)	42.1	9.5	15.5	21.8	0.4	17.1	18.3	5.6	9.9	23.8	4.8
	60～69歳	100.0 (120)	38.3	6.7	17.5	12.5	-	10.8	15.8	5.0	9.2	32.5	3.3
	70歳以上	100.0 (60)	26.7	5.0	15.0	6.7	1.7	11.7	11.7	5.0	10.0	40.0	6.7
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	31.6	4.4	14.0	6.1	0.9	9.6	11.4	4.4	10.5	40.4	6.1
診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	37.2	12.8	17.5	18.0	1.4	16.7	18.6	4.4	8.2	28.4	3.8
	うつ病	100.0 (230)	49.1	7.8	13.9	23.9	0.9	17.8	24.3	9.6	13.9	19.6	0.9
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	42.9	5.4	15.2	29.5	0.9	20.5	25.0	8.0	11.6	17.0	1.8
	てんかん	100.0 (80)	26.3	8.8	18.8	22.5	-	20.0	27.5	11.3	10.0	23.8	3.8
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	33.7	5.8	16.3	24.7	0.5	17.9	29.5	7.4	11.1	28.4	3.2
	高次脳機能障害	100.0 (21)	28.6	9.5	9.5	33.3	4.8	23.8	9.5	4.8	14.3	23.8	14.3
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	57.7	14.4	14.4	29.9	1.0	22.7	23.7	14.4	13.4	12.4	3.1
	強迫性障害	100.0 (45)	44.4	11.1	24.4	28.9	-	22.2	15.6	11.1	17.8	8.9	6.7
	摂食障害	100.0 (19)	57.9	5.3	10.5	52.6	-	21.1	31.6	10.5	10.5	10.5	-
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	56.3	25.0	18.8	25.0	-	43.8	12.5	12.5	18.8	-	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	54.5	24.2	18.2	27.3	3.0	27.3	9.1	27.3	21.2	6.1	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	53.6	10.7	21.4	25.0	3.6	14.3	14.3	3.6	3.6	21.4	7.1
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	45.5	27.3	27.3	27.3	-	36.4	27.3	9.1	18.2	9.1	-
	その他	100.0 (51)	51.0	11.8	19.6	21.6	2.0	19.6	27.5	5.9	11.8	23.5	2.0
平成30年度	100.0 (499)	35.7	3.8	17.0	21.8	2.8	16.0	18.8	3.4	13.4	26.3	3.2	

注1) ※ 平成30年度調査では「介助者がいない」としていた。

2) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

障害のためにあきらめたり妥協したことは「就職」が41.9%、「人付き合い」が39.4%

障害のためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことを聞いたところ、「就職」の割合が41.9%で最も高く、次いで「人付き合い」が39.4%、「結婚」が33.3%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では「人付き合い」が、30代、40代、及び50代では「就職」がそれぞれ4割超となっている（44.9%、44.8%、48.1%、48.4%）。（表IV-7-5）

表IV-7-5 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	進学	就職	恋愛 ※1	結婚	出産・育児	人付き合い	近距離の外 出	旅行や遠 距離の外 出	おしゃれ ファッション などの	スポーツ・文 化活動	ヒールなど ※2	好きな食 事や嗜好 品	その他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (871)	16.8	41.9	28.0	33.3	19.5	39.4	12.4	31.7	14.7	15.4	13.7	3.8	19.6	1.8	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	31.8	35.5	24.3	21.5	14.0	44.9	12.1	26.2	10.3	10.3	11.2	6.5	21.5	2.8
	30～39歳	100.0 (143)	27.3	44.8	37.1	36.4	31.5	41.3	15.4	38.5	18.2	16.1	14.7	4.2	16.8	-
	40～49歳	100.0 (189)	18.0	48.1	31.7	37.6	27.5	44.4	11.1	37.6	15.3	16.9	14.8	3.7	12.7	0.5
	50～59歳	100.0 (252)	11.5	48.4	32.1	41.3	18.7	40.5	13.5	30.2	15.5	17.1	13.5	3.6	17.9	2.4
	60～69歳	100.0 (120)	7.5	34.2	15.8	24.2	5.0	31.7	9.2	28.3	15.0	13.3	11.7	1.7	22.5	0.8
	70歳以上	100.0 (60)	1.7	15.0	8.3	18.3	8.3	20.0	11.7	20.0	8.3	15.0	16.7	3.3	46.7	8.3
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	5.3	21.9	13.2	17.5	6.1	28.1	9.6	22.8	7.9	10.5	13.2	2.6	39.5	5.3
診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	16.4	42.3	32.0	41.8	20.5	36.9	11.5	28.4	16.4	16.1	14.2	2.7	19.4	2.2
	うつ病	100.0 (230)	15.2	48.3	27.8	30.4	20.4	51.7	17.4	42.6	19.1	20.4	14.8	4.3	15.2	0.4
	躁鬱病(双極性障害)	100.0 (112)	19.6	45.5	25.9	35.7	32.1	40.2	8.9	36.6	16.1	17.0	18.8	6.3	15.2	-
	てんかん	100.0 (80)	15.0	37.5	28.8	33.8	13.8	28.8	11.3	40.0	12.5	26.3	20.0	6.3	15.0	1.3
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など)	100.0 (190)	25.3	40.0	32.1	35.3	25.3	47.4	12.6	31.1	10.5	13.2	9.5	4.2	21.1	1.6
	高次脳機能障害	100.0 (21)	14.3	47.6	19.0	23.8	9.5	33.3	9.5	38.1	14.3	19.0	33.3	4.8	9.5	9.5
	パニック障害、不安障害	100.0 (97)	21.6	57.7	34.0	35.1	28.9	60.8	23.7	54.6	21.6	25.8	20.6	5.2	5.2	2.1
	強迫性障害	100.0 (45)	22.2	48.9	26.7	31.1	24.4	48.9	17.8	44.4	17.8	24.4	15.6	2.2	17.8	2.2
	摂食障害	100.0 (19)	21.1	68.4	21.1	26.3	15.8	68.4	15.8	47.4	47.4	31.6	31.6	-	5.3	-
	パーソナリティ障害	100.0 (16)	25.0	56.3	43.8	43.8	43.8	62.5	12.5	62.5	18.8	31.3	43.8	-	-	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	100.0 (33)	27.3	63.6	39.4	36.4	42.4	66.7	27.3	60.6	33.3	36.4	27.3	9.1	3.0	-
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など)	100.0 (28)	17.9	57.1	32.1	32.1	25.0	53.6	25.0	42.9	25.0	21.4	39.3	3.6	10.7	-
	非器質性睡眠障害	100.0 (11)	27.3	45.5	27.3	27.3	36.4	72.7	18.2	63.6	36.4	36.4	45.5	9.1	-	-
その他	100.0 (51)	31.4	56.9	27.5	25.5	15.7	39.2	13.7	37.3	15.7	25.5	11.8	7.8	17.6	2.0	
平成30年度	100.0 (499)	11.2	40.1	23.2	25.1	14.6	34.5	17.2	37.3	14.0	19.6	-	2.8	22.6	1.6	

注1) ※1 平成30年度調査では「異性との付き合い」としていた。

2) ※2 平成30年度調査では選択肢として設けていなかった。

3) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

8 情報の入手やコミュニケーションの手段

(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕－年齢階級別

情報の入手やコミュニケーションの手段は、「テレビ・ラジオ」が68.2%、「インターネット（ホームページ、SNSなど）」が60.0%

情報の入手やコミュニケーションの手段について聞いたところ、「テレビ・ラジオ」の割合が68.2%で最も高く、次いで「インターネット（ホームページ、SNSなど）」が60.0%、「身近な人（家族、友人、支援者など）」が52.4%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下及び30代では「インターネット（ホームページ、SNSなど）」がそれぞれ8割を超えている（87.9%、88.8%）。60代及び70歳以上では、「テレビ・ラジオ」がそれぞれ8割を超えている（80.8%、83.3%）。（表IV-8-1）

表IV-8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕－年齢階級別

	総数	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・本	ページ・インターネットなど（ホームページなど）	電話（携帯電話、スマートフォン）	身近な人（家族、友人、支援者など）	その他	特になし	無回答	
総数	100.0 (871)	<u>68.2</u>	33.9	<u>60.0</u>	34.1	<u>52.4</u>	2.1	1.6	1.3	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	52.3	28.0	<u>87.9</u>	34.6	57.0	0.9	0.9	2.8
	30～39歳	100.0 (143)	56.6	37.8	<u>88.8</u>	42.0	61.5	2.8	-	-
	40～49歳	100.0 (189)	66.1	26.5	65.6	34.9	51.3	2.6	1.1	1.1
	50～59歳	100.0 (252)	73.4	38.5	51.2	33.3	48.8	1.6	3.2	1.6
	60～69歳	100.0 (120)	<u>80.8</u>	39.2	35.8	30.0	45.0	2.5	1.7	0.8
	70歳以上	100.0 (51)	<u>83.3</u>	28.3	10.0	23.3	55.0	1.7	1.7	1.7
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	85.1	34.2	21.1	27.2	50.0	2.6	1.8	0.9

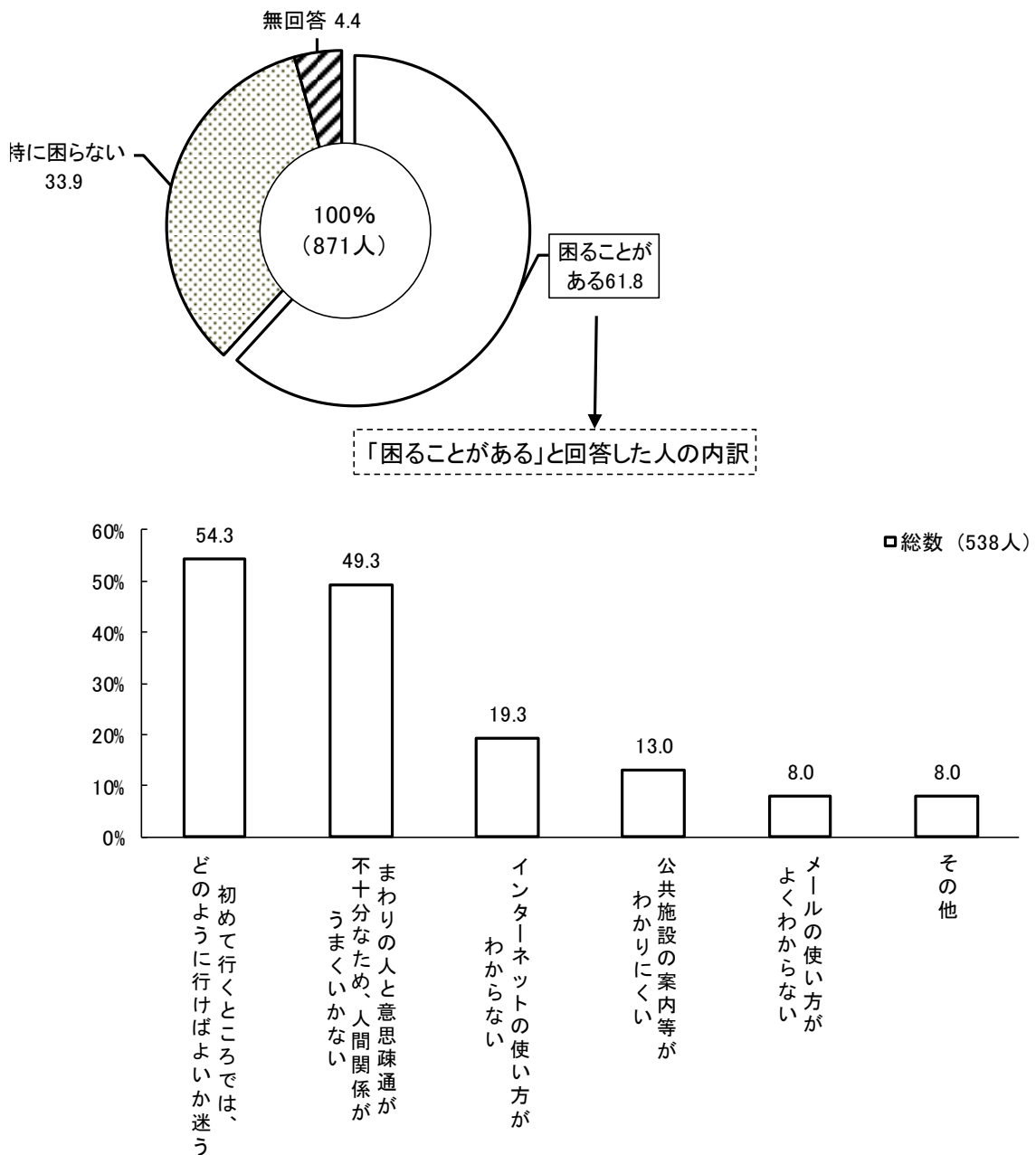
(2) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で「困ることがある」内容は、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」が54.3%

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」の割合が61.8%、「特に困らない」が33.9%となっている。

困ることの内容では、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」の割合が54.3%で最も高く、次いで「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」が49.3%となっている。(図IV-8-1)

図IV-8-1 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕



(3) 要求や意思を相手に伝えることができるか一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

自分の^{じぶん}要求^{ようきゅう}や意思^{いし}などを相手に^{あいて}伝える^{つた}ことが「問題^{もんだい}なくできる」が39.6%、「い^いくらか^{こんなん}困難」が37.3%

自分の要求や意思などを相手に伝え、理解させることができるか（会話に限らず、筆談、手話、あるいはその組み合わせも含む）聞いたところ、「問題なくできる」の割合が39.6%、「いくらか困難」が37.3%となっている。

精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、1級では「伝えられない」の割合が26.3%となっている。（表IV-8-2）

表IV-8-2 要求や意思を相手に伝えることができるか

一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

		総数	問題なくできる	いくらか困難	具体的要求に限られる	伝えられない	その他	無回答
総数		100.0 (871)	<u>39.6</u>	<u>37.3</u>	12.1	7.8	1.5	1.7
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	30.8	39.3	18.7	6.5	0.9	3.7
	30～39歳	100.0 (143)	41.3	43.4	8.4	4.9	2.1	0.0
	40～49歳	100.0 (189)	39.7	37.0	14.3	6.9	1.1	1.1
	50～59歳	100.0 (252)	38.1	38.1	11.5	9.1	1.6	1.6
	60～69歳	100.0 (120)	43.3	32.5	9.2	10.0	1.7	3.3
	70歳以上	100.0 (60)	50.0	26.7	10.0	10.0	1.7	1.7
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	48.2	29.8	9.6	8.8	1.8	1.8
手帳の程度別	1級	100.0 (38)	15.8	26.3	23.7	<u>26.3</u>	2.6	5.3
	2級	100.0 (449)	35.2	40.3	13.1	8.2	1.3	1.8
	3級	100.0 (378)	47.4	34.9	9.8	5.6	1.6	0.8

9 障害者総合支援法による障害福祉サービス等

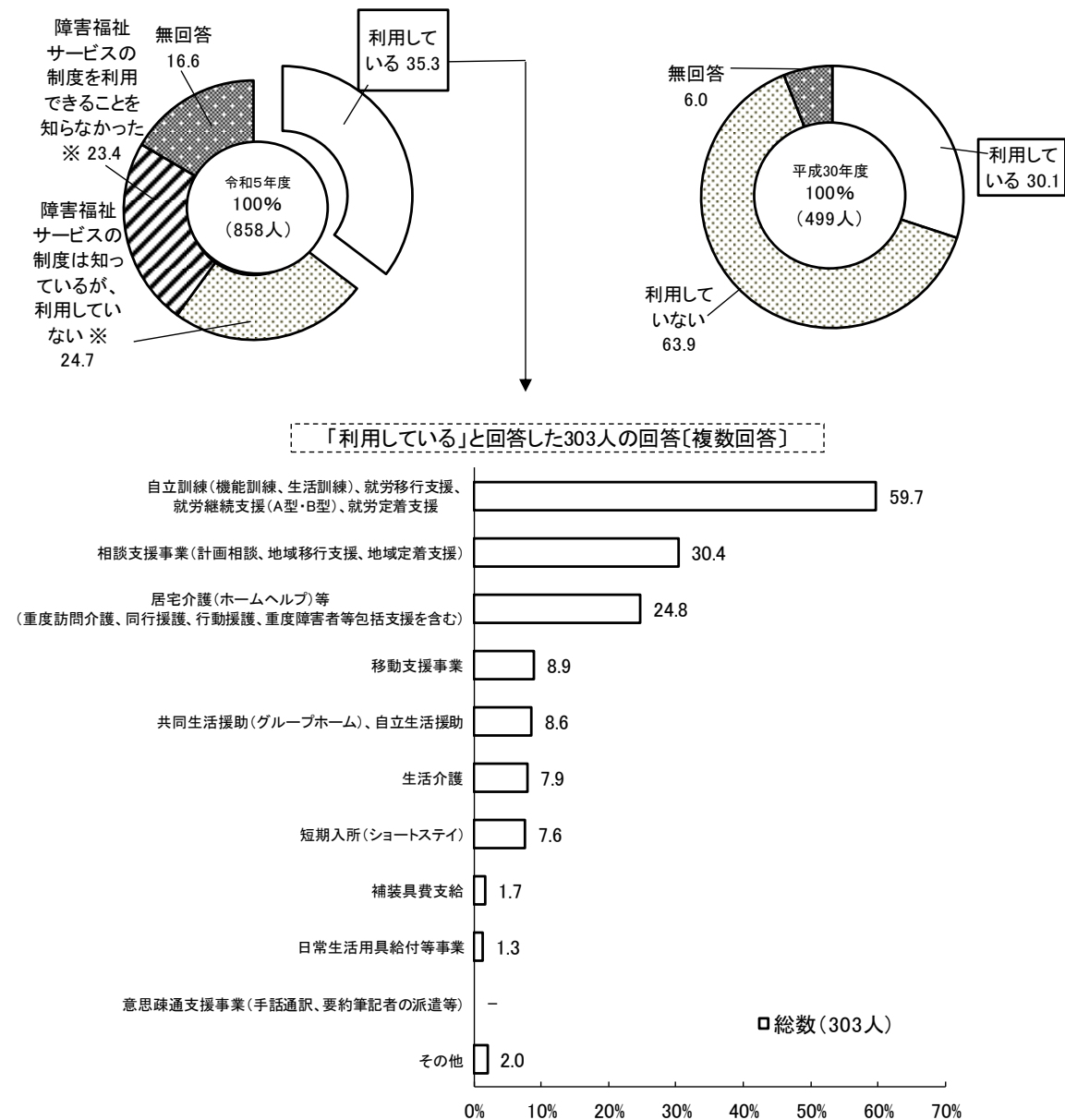
(1) 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

障害者総合支援法による障害福祉サービスを「利用している」は35.3%。「利用している」のうち、割合が最も高いのは「自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援」で、59.7%

自宅で生活している人（858人）に、過去1年間の障害者総合支援法による障害福祉サービス等を利用したか聞いたところ、「利用している」の割合は35.3%となっている。

サービスを利用した303人の利用状況を見ると、サービス別では、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援」の割合が59.7%で最も高くなっている。（図IV-9-1）

図IV-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕



注) ※ 平成30年度調査では「利用していない」としていた。

(2) 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）を年齢階級別にみると、「利用している」割合は、60代以下の各階級では3割を超えている（34.9%～39.8%）。利用したサービスの内容を年齢階級別にみると、50代以下の各階級では「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）就労定着支援」が2割を超えている（22.2%～30.8%）。60代では「居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）」の割合が19.3%となっている。

精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、サービスを「利用している」割合は、1級が56.3%、2級が40.4%となっている。（表IV-9-1）

表IV-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の程度別

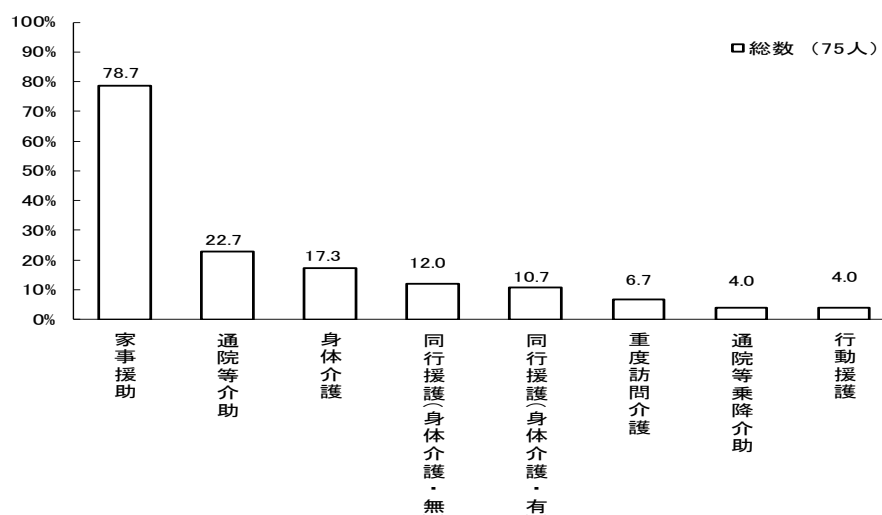
	総数	利用している	居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）	短期入所（ショートステイ）	生活介護	型移行支援、就労定着支援	自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労継続支援（A型・B型）	共同生活援助（グループホーム）、自立生活援助	補装具費支給	移動支援事業	意思疎通支援事業（手話通訳、要約筆記者の派遣等）	日常生活用具給付等事業	相談支援事業（計画相談、地域移行支援、地域定着支援）	その他	障害福祉サービスの利用していない	障害福祉サービスの制度は知っているが、利用していない	障害福祉サービスの制度を利用できることを知らなかった	無回答
総数	100.0 (858)	35.3	8.7	2.7	2.8	21.1	3.0	0.6	3.1	-	0.5	10.7	0.7	24.7	23.4	16.6		
年齢階級別	29歳以下	100.0 (103)	<u>38.5</u>	7.7	7.7	-	<u>30.8</u>	-	-	-	-	-	-	46.2	15.4	-		
	30～39歳	100.0 (143)	<u>39.8</u>	3.9	5.8	1.0	<u>25.2</u>	1.9	2.9	-	-	10.7	1.0	30.1	22.3	7.8		
	40～49歳	100.0 (189)	<u>34.9</u>	6.3	2.6	2.6	<u>22.2</u>	3.2	1.1	2.1	-	-	11.6	0.5	20.6	28.0	16.4	
	50～59歳	100.0 (248)	<u>36.7</u>	11.3	2.8	3.2	<u>25.0</u>	4.0	0.8	3.2	-	0.4	11.7	0.4	22.2	24.2	16.9	
	60～69歳	100.0 (119)	<u>37.0</u>	<u>19.3</u>	0.8	6.7	10.1	1.7	-	3.4	-	-	5.9	1.7	16.0	21.8	25.2	
	70歳以上	100.0 (56)	23.2	8.9	3.6	1.8	3.6	3.6	1.8	10.7	-	5.4	5.4	1.8	30.4	19.6	26.8	
	(再掲) 65歳以上	100.0 (110)	30.9	14.5	2.7	3.6	7.3	2.7	0.9	7.3	-	2.7	4.5	1.8	24.5	19.1	25.5	
手帳の程度別	1級	100.0 (32)	<u>56.3</u>	12.5	6.3	12.5	34.4	3.1	3.1	15.6	-	-	12.5	3.1	12.5	12.5	18.8	
	2級	100.0 (443)	<u>40.4</u>	12.6	3.8	3.4	24.4	5.0	0.5	3.6	-	0.9	11.3	0.7	20.8	20.5	18.3	
	3級	100.0 (377)	27.6	3.7	0.8	1.3	16.4	0.8	0.5	1.3	-	-	10.1	0.5	30.8	27.9	13.8	

(3) 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕

利用した居宅介護等のサービスの種類は「家事援助」が最も高く78.7%

居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等支援を含む）及び短期入所（ショートステイ）を利用していた人（75人）に、利用したサービスの種類を聞いたところ、「家事援助」の割合が78.7%で最も高くなっている。（図IV-9-2）

図IV-9-2 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕



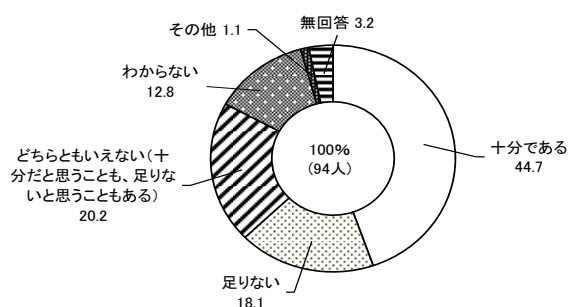
注）総数は、障害総合支援法のサービスのうち、「居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）」を利用していると回答した75人。

(4) サービス支給量は十分か（居宅介護等、短期入所）

サービス支給量が「十分である」と答えた割合は44.7%

居宅介護等のサービスと短期入所を利用した人（94人）に支給量は十分か聞いたところ、「十分である」の割合が44.7%、「どちらともいえない（十分だと思うことも、足りないと思うこともある）」が20.2%、「足りない」が18.1%となっている。（図IV-9-3）

図IV-9-3 サービス支給量は十分か（居宅介護等、短期入所）



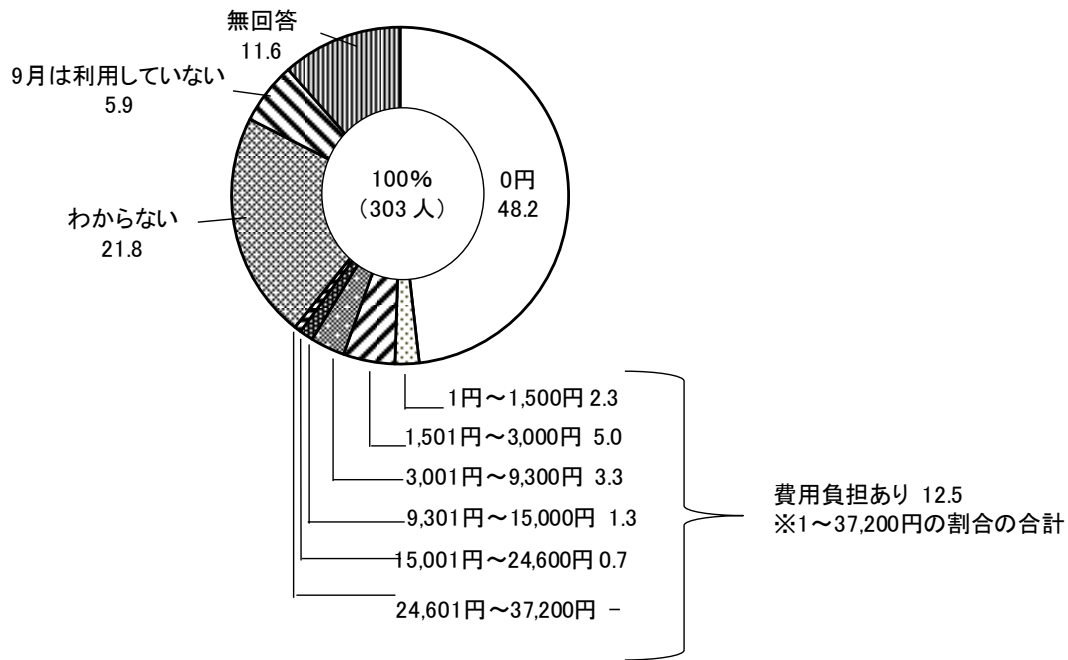
注）総数は、障害総合支援法のサービスのうち、「居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）」又は「短期入所（ショートステイ）」を利用していると回答した94人。

(5) 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担

しょうがいしゃそうごうしえんぽう しょうがいふくし ひょうふたんがく えん
 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担額は「0円」が48.2%

過去1年間に障害者総合支援法のサービスを利用した人(303人)に、令和5年9月の費用負担額(食費等実費負担は除く)を聞いたところ、「0円」が48.2%となっている。一方で、「費用負担がある人(1円~37,200円)」の割合は12.5%となっている。(図IV-9-4)

図IV-9-4 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担

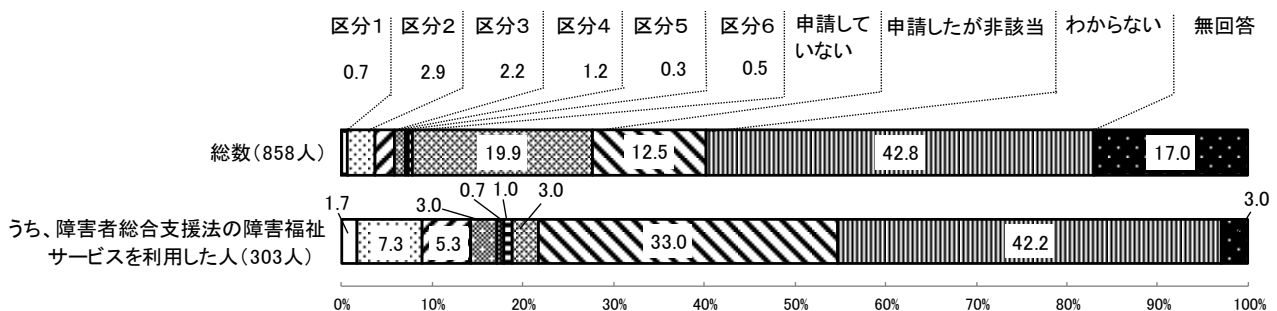


(6) 障害者総合支援法における障害支援区分

しょうがいしえんくぶん くぶん
 障害支援区分は「区分2」が2.9%

自宅で生活している人(858人)に障害支援区分を聞いたところ、「区分2」の割合が2.9%「区分3」が2.2%となっている。一方で、「申請していない」が19.9%、「申請したが非該当」が12.5%、「わからない」が42.8%となっている。(図IV-9-5)

図IV-9-5 障害者総合支援法における障害程度区分



(7) 日常生活自立支援事業の利用意向

－精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別

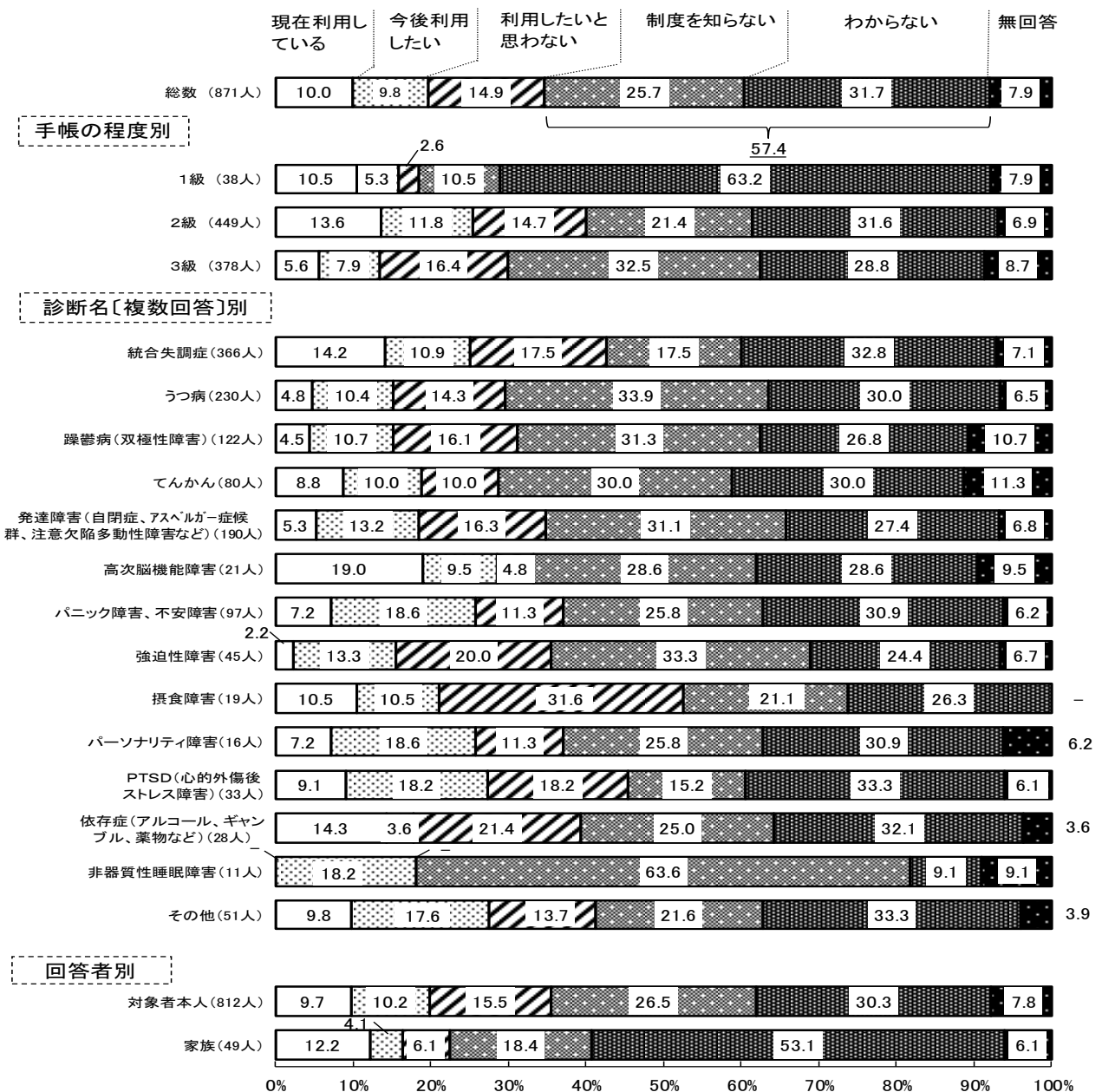
日常生活自立支援事業を「今後利用したい」人の割合は9.8%

日常生活自立支援事業を利用するつもりがあるか聞いたところ、「わからない」の割合が31.7%で、「制度を知らない」(25.7%)と合わせると5割を超えている(57.4%)。一方で、「今後利用したい」の割合は9.8%となっている。

手帳の程度別にみると「現在利用している」の割合は2級では13.6%、1級では10.5%となっている。(図IV-9-6)

図IV-9-6 日常生活自立支援事業の利用意向

－精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別



注1) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

2) 回答者別のうち、「その他(ホームヘルパー等)」は総数が2人のため省略した。

(8) 成年後見制度の利用意向—精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別

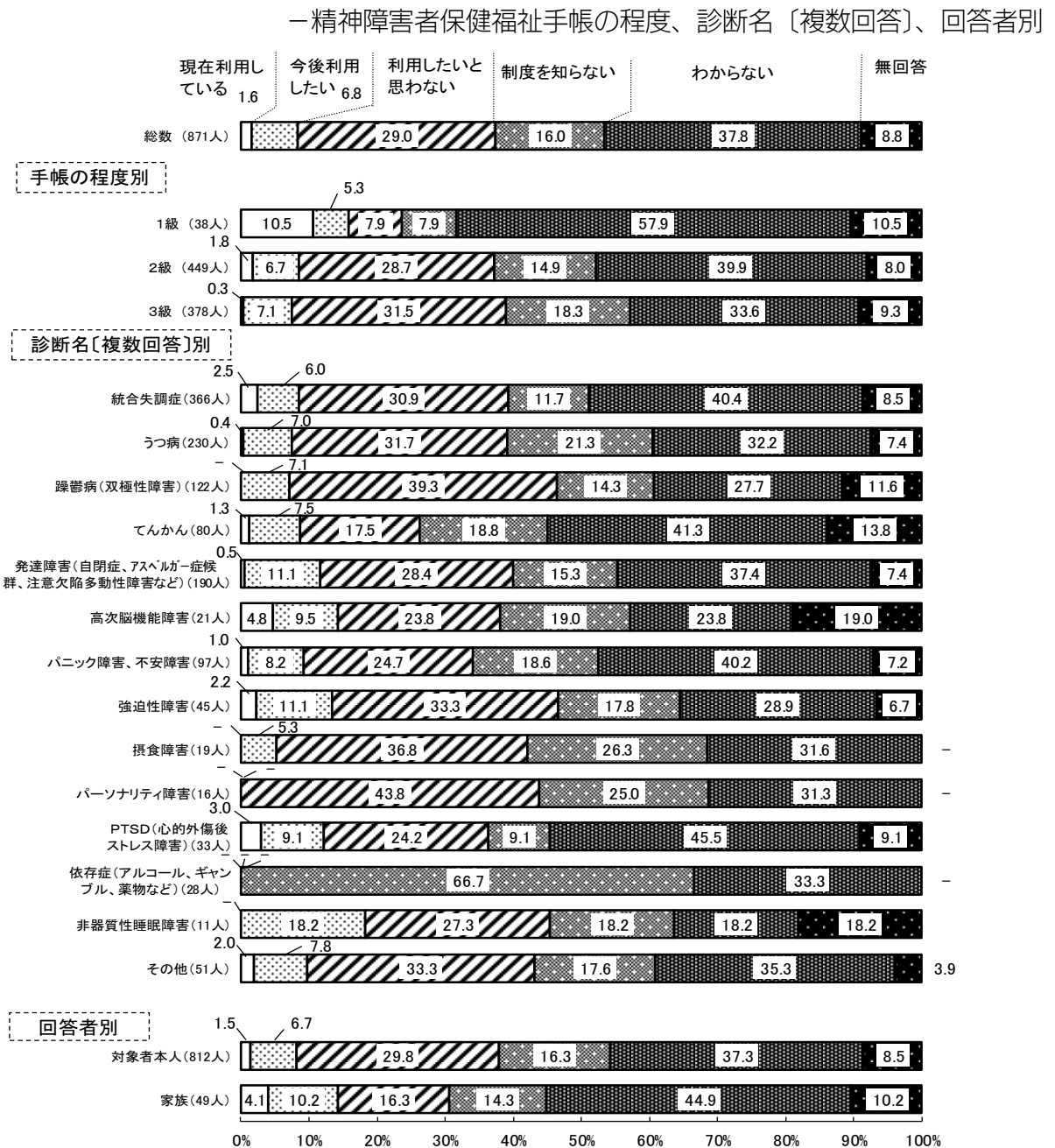
成年後見制度を「今後利用したい」人の割合は6.8%

成年後見制度を利用するつもりがあるが聞いたところ、「利用したいと思わない」の割合が29.0%、「わからない」が37.8%となっている。一方で、「今後利用したい」の割合は6.8%となっている。

手帳の程度別にみると「現在利用している」の割合は、1級では10.5%となっている。

(図IV-9-7)

図IV-9-7 成年後見制度の利用意向



注1) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

2) 回答者別のうち、「その他(ホームヘルパー等)」は総数が2人のため省略した。

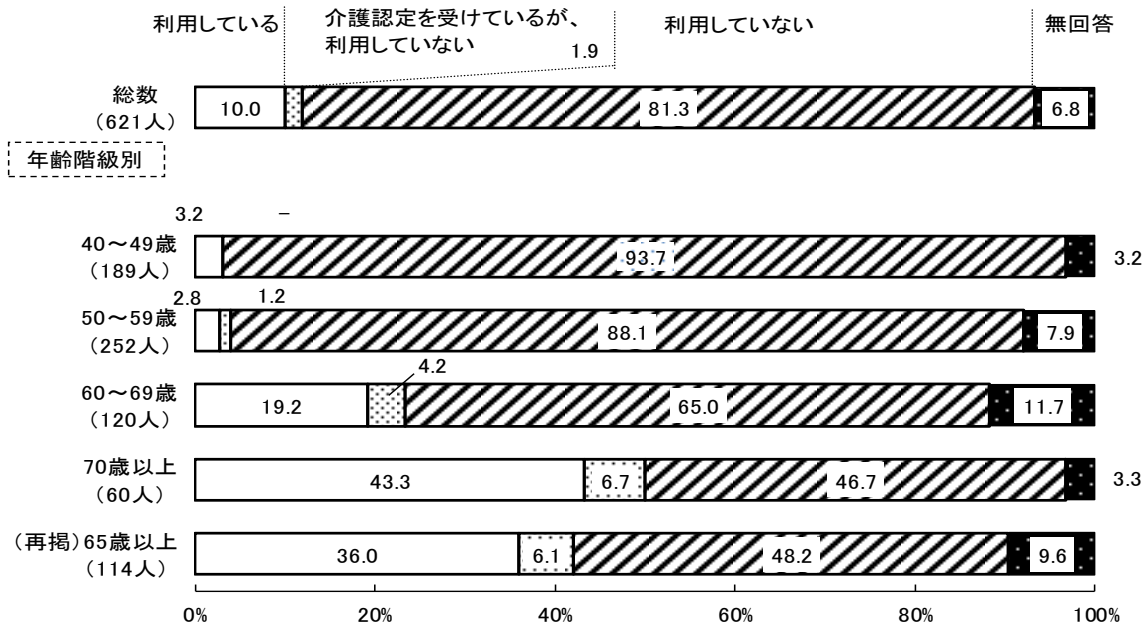
(9) 介護保険制度の利用の有無－年齢階級別

介護保険制度を「利用している」人の割合は10.0%で、「65歳以上」では36.0%

40歳以上の人(621人)に介護保険制度の利用状況を聞いたところ、「利用している」割合が10.0%、「利用していない」が81.3%となっている。

年齢階級別にみると、「利用している」の割合が「65歳以上」では36.0%となっている。(図IV-9-8)

図IV-9-8 介護保険制度の利用の有無－年齢階級別

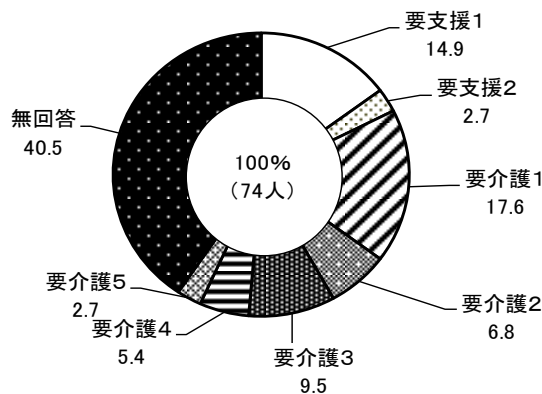


(10) 介護保険制度の要介護度

介護保険制度を利用している人の要介護度は「要介護1」が17.6%

「介護保険制度を利用している」及び「介護認定を受けているが利用していない」と回答した人(74人)に要介護度を聞いたところ、「要介護1」の割合が17.6%、「要支援1」が14.9%となっている。(図IV-9-9)

図IV-9-9 介護保険制度の要介護度



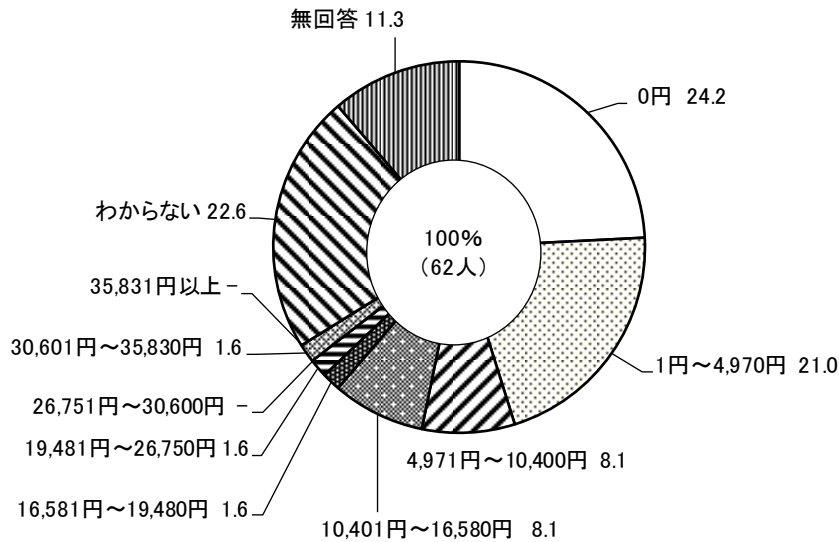
(11) 介護保険法におけるサービスの費用負担

介護保険法におけるサービスの費用負担は「0円」が24.2%

「介護保険制度を利用している」と回答した人（62人）に介護保険法におけるサービスの費用負担額を聞いたところ、「0円」の割合が24.2%、「1円～4,970円」が21.0%となっている。

(図IV-9-10)

図IV-9-10 介護保険法におけるサービスの費用負担

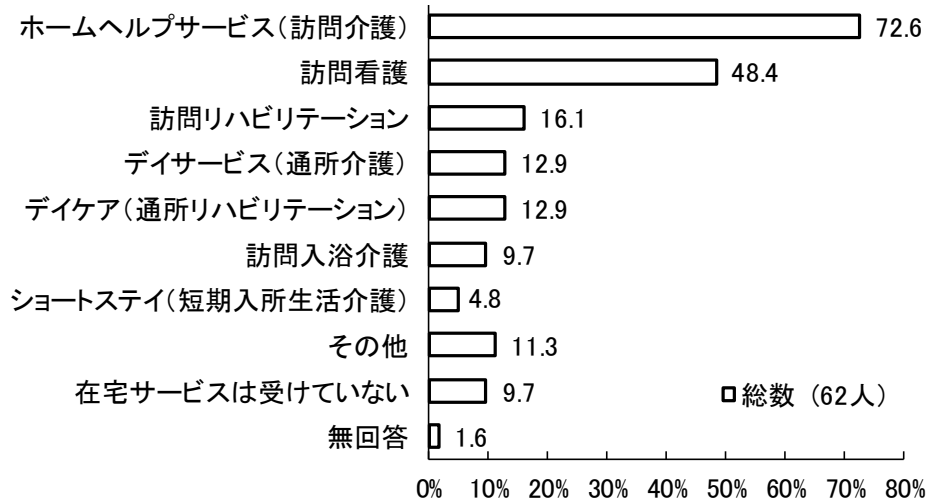


(12) 介護保険で受けている在宅サービス〔複数回答〕

介護保険で受けている在宅サービスは「ホームヘルプサービス」が72.6%

どのような内容の在宅サービスを受けているか聞いたところ、「ホームヘルプサービス（訪問介護）」の割合が72.6%、「訪問看護」が48.4%となっている。（図IV-9-11）

図IV-9-11 介護保険で受けている在宅サービス〔複数回答〕

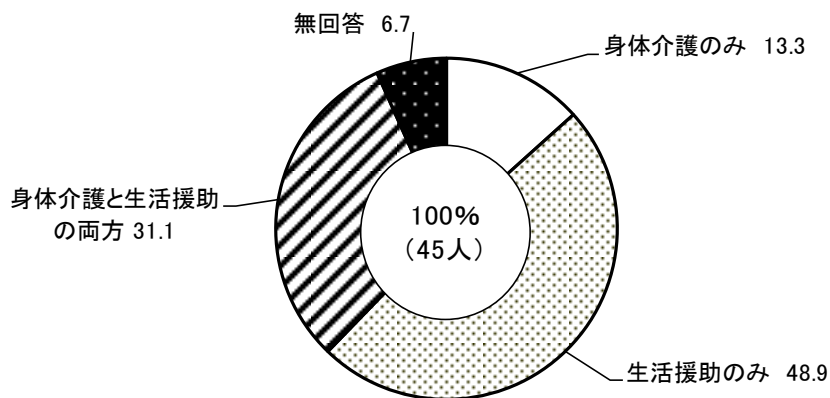


(13) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容は「生活援助のみ」が48.9%

介護保険で「ホームヘルプサービス（訪問介護）」を受けている人（45人）に、受けているサービスの内容を聞いたところ、「生活援助のみ」の割合が48.9%で「身体介護と生活援助の両方」が31.1%となっている。（図IV-9-12）

図IV-9-12 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容

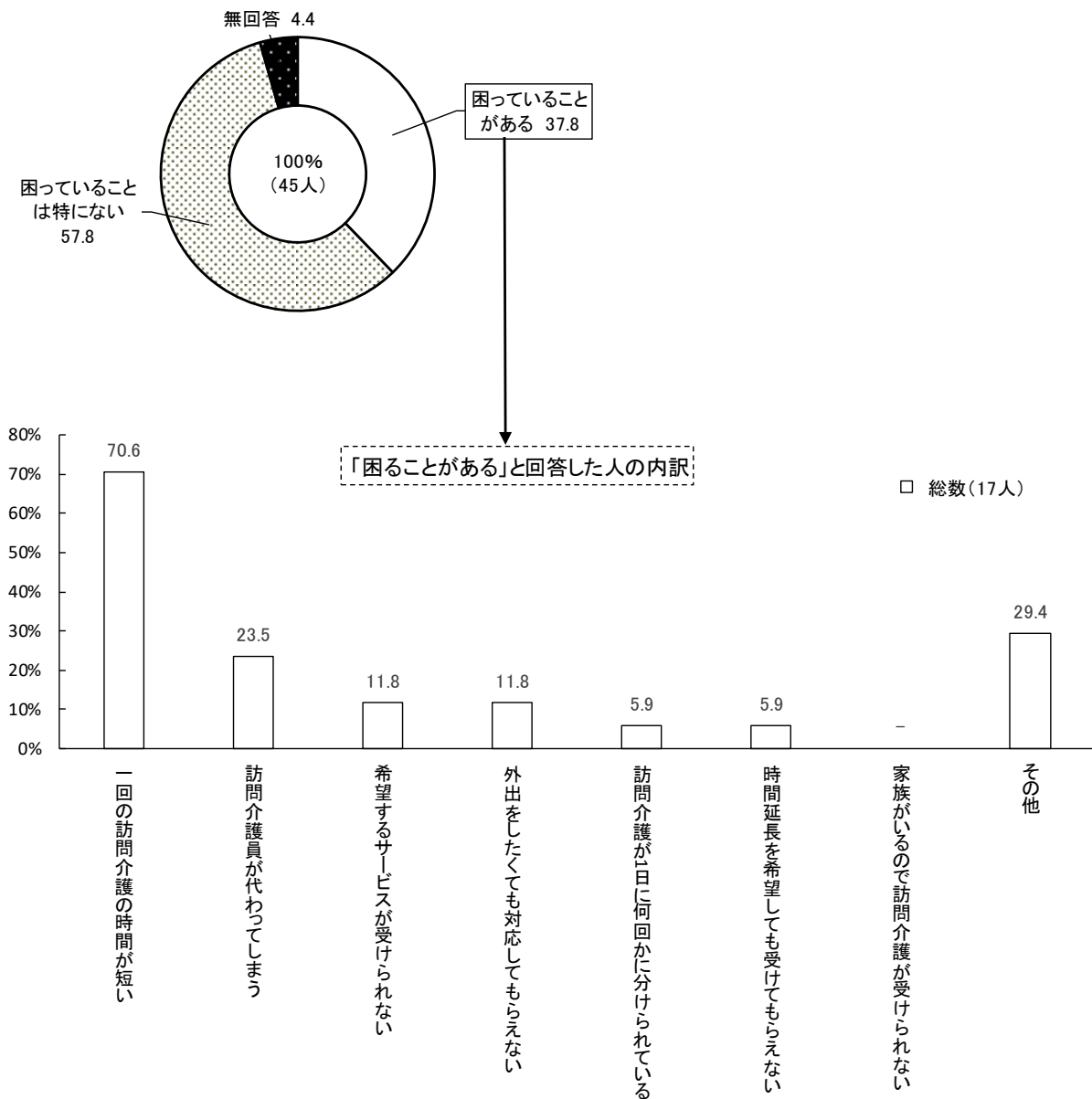


(14) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で「困っていることがある」の割合は37.8%、「困っていることは特にない」は57.8%

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていることがあるか聞いたところ、「困っていることがある」の割合が37.8%、「困っていることは特にない」が57.8%となっている。「困っていることがある」ことの内容をみると、「1回の訪問看護の時間が短い」が70.6%、「訪問看護員が代わってしまう」が23.5%となっている。（図IV-9-13）

図IV-9-13 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること



10 その他の福祉サービス等

(1) 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと

－精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったことは「都営交通乗車証が取得できたこと」が21.8%

精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことがあるか聞いたところ、「都営交通乗車証が取得できたこと」の割合が21.8%で最も高く、次いで「都内路線バスの運賃の割引があること」が16.2%となっている。

診断名別にみると、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）では「就労しやすくなったこと」の割合が23.2%となっている。（表IV-10-1）

表IV-10-1 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと

－精神障害者保健福祉手帳の程度、診断名〔複数回答〕別

	総数	税金が安くなったこと	就労しやすくなったこと	都立公園、都立美術館などの利用料が無料になったこと	休養ホームが利用できるようになったこと	生活保護の加算が増えたこと	都営交通乗車証が取得できたこと	都内路線バスの運賃の割引があること	その他	特にない	無回答
総数	100.0 (871)	6.8	9.1	12.6	0.1	7.1	21.8	16.2	4.7	14.1	7.5
手帳の程度別	1級 (38)	21.1	-	2.6	-	2.6	10.5	13.2	7.9	21.1	21.1
	2級 (449)	4.0	4.2	10.2	0.2	13.4	23.4	17.4	4.2	15.1	7.8
	3級 (378)	8.7	15.9	16.4	-	0.3	21.2	15.3	5.0	11.9	5.3
診断名〔複数回答〕別	統合失調症 (366)	7.4	4.4	12.0	0.3	12.0	20.5	17.8	3.3	15.6	6.8
	うつ病 (230)	10.0	7.0	12.6	-	7.0	24.3	14.8	6.1	13.5	4.8
	躁鬱病(双極性障害) (112)	8.9	14.3	19.6	-	1.8	22.3	10.7	3.6	8.9	9.8
	てんかん (80)	2.5	1.3	10.0	-	7.5	20.0	30.0	6.3	11.3	11.3
	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など) (190)	5.8	23.2	14.7	-	2.1	21.6	10.5	6.3	8.9	6.8
	高次脳機能障害 (21)	9.5	4.8	-	-	4.8	14.3	28.6	-	23.8	14.3
	パニック障害、不安障害 (97)	8.2	11.3	13.4	-	9.3	16.5	11.3	3.1	18.6	8.2
	強迫性障害 (45)	11.1	4.4	15.6	-	11.1	22.2	11.1	8.9	13.3	2.2
	摂食障害 (19)	5.3	5.3	31.6	-	5.3	31.6	15.8	-	5.3	-
	パーソナリティ障害 (16)	18.8	-	12.5	-	18.8	18.8	18.8	6.3	6.3	-
	PTSD(心的外傷後ストレス障害) (33)	9.1	3.0	15.2	-	18.2	18.2	6.1	3.0	24.2	3.0
	依存症(アルコール、ギャンブル、薬物など) (28)	10.7	7.1	10.7	-	10.7	32.1	7.1	7.1	10.7	3.6
	非器質性睡眠障害 (11)	9.1	9.1	9.1	-	36.4	9.1	9.1	-	18.2	-
その他 (51)	11.8	9.8	15.7	-	2.0	21.6	17.6	7.8	13.7	-	
平成30年度 (499)	7.2	7.0	11.6	-	3.4	20.6	15.2	6.6	16.2	12.0	

注) 診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

(2) 将来暮らしたいところ・年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

将来は「一人暮らしをしたい（またはパートナーと暮らしたい）」が40.1%

将来どこで暮らしたいか聞いたところ、「一人暮らしをしたい（またはパートナーと暮らしたい）」の割合が40.1%で最も高く、次いで「家族と一緒に暮らしたい」が33.2%となっている。

年齢階級別にみると、40代では「家族と一緒に暮らしたい」の割合が、60代では「一人暮らしをしたい（またはパートナーと暮らしたい）」の割合がそれぞれ4割を超えている（42.9%、45.0%）。

現在一緒に生活している人別にみると、「子供」と一緒に生活している人は、「家族と一緒に暮らしたい」の割合が82.4%となっている。（表IV-10-2）

表IV-10-2 将来暮らしたいところ

―年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総数	入所設 で暮ら したい	家族と 一緒に 暮らした い	グル ープ ホーム でずっと 暮ら したい	後、一 人暮ら しをした い（また はパート ナーと暮 らした い）	グル ープ ホーム で支 援を受 けた	一 人暮 らしを した い（また は パート ナーと 暮ら した い）	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (871)	3.4	33.2	2.1	1.8	40.1	1.5	16.2	1.7	
年齢 階級 別	29歳以下	100.0 (107)	1.9	27.1	3.7	8.4	43.9	1.9	13.1	-	
	30～39歳	100.0 (143)	1.4	35.7	0.7	2.8	43.4	2.1	13.3	0.7	
	40～49歳	100.0 (189)	3.7	42.9	2.6	0.5	35.4	1.6	12.2	1.1	
	50～59歳	100.0 (252)	3.2	33.3	2.0	0.8	39.7	0.4	18.7	2.0	
	60～69歳	100.0 (120)	3.3	25.0	2.5	-	45.0	1.7	20.8	1.7	
	70歳以上	100.0 (60)	11.7	23.3	-	-	31.7	3.3	21.7	8.3	
	(再掲)65歳以上	100.0 (114)	8.8	22.8	0.9	-	38.6	1.8	21.9	5.3	
住居 の種 類別	持家	100.0 (368)	1.9	44.3	1.4	1.9	31.3	1.9	16.8	0.5	
	借家・賃貸住宅等	100.0 (459)	4.1	25.5	1.3	0.9	49.0	1.1	15.5	2.6	
	福祉ホーム、グループホーム	100.0 (19)	5.3	15.8	36.8	15.8	21.1	-	5.3	-	
総数		100.0 (858)	3.1	33.3	2.1	1.7	40.4	1.5	16.1	1.6	
現在 一緒に 生活し ている 人 〔複数 回答〕 別	親	100.0 (311)	2.3	47.3	2.9	3.9	24.8	1.6	16.4	1.0	
	配偶者	100.0 (153)	2.0	68.0	1.3	-	17.0	-	9.2	2.6	
	子供	100.0 (74)	-	82.4	-	-	4.1	-	12.2	1.4	
	兄弟姉妹	100.0 (112)	1.8	40.2	1.8	3.6	28.6	0.9	22.3	0.9	
	その他の親族	100.0 (16)	-	31.3	12.5	12.5	18.8	6.3	18.8	-	
	その他	100.0 (27)	3.7	14.8	-	14.8	40.7	7.4	18.5	-	
	一人で暮らしている	100.0 (322)	4.3	4.7	2.5	-	68.3	1.6	17.1	1.6	

注1) 「現在一緒に生活している人」の総数は、現在の生活の場が「自宅で生活している(グループホームを含む)」の858人である。

2) 「住居の種類別」のうち、「その他」については、母数が4人のため省略した。

(3) 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

今後利用したい福祉サービス等は、「相談サービス（地域活動支援センターなど）」が18.3%

今後利用したい福祉サービス等は何か聞いたところ、「相談サービス（地域活動支援センターなど）」の割合が18.3%、「就労支援サービス（障害者就業・生活支援センターなど）」が17.8%、「情報提供の充実」が16.5%となっている。一方、「特になし」は35.8%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では「就労支援サービス（障害者就業・生活支援センターなど）」の割合が27.1%となっている。（表IV-10-3）

表IV-10-3 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	ホームヘルプサービス	通所サービス（就労移行支援事業所など）	ショートステイサービス	地域活動支援センターなど	相談サービス（地域活動支援センターなど）	就労支援サービス（障害者就業・生活支援センターなど）	外出にかかわる支援の充実	情報提供の充実	訪問看護	デイケア	苦情処理（オンブズマン）	自助グループ活動	その他	特になし	無回答
総数	100.0 (871)	13.3	8.7	4.1	18.3	17.8	11.3	16.5	11.9	8.8	2.2	4.6	1.8	35.8	4.6	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	5.6	11.2	9.3	19.6	27.1	13.1	15.9	7.5	4.7	1.9	3.7	2.8	32.7	1.9
	30～39歳	100.0 (143)	4.9	9.1	2.1	16.8	24.5	10.5	17.5	2.8	2.8	1.4	7.7	1.4	43.4	3.5
	40～49歳	100.0 (189)	12.2	10.6	4.2	18.5	19.0	12.7	19.6	11.1	11.1	3.7	4.8	3.7	32.3	4.8
	50～59歳	100.0 (252)	15.9	9.1	2.4	22.2	16.7	12.7	15.9	13.9	10.7	1.6	6.0	1.2	34.9	5.2
	60～69歳	100.0 (120)	23.3	5.8	4.2	13.3	10.8	6.7	14.2	20.0	10.8	2.5	0.8	0.8	35.8	5.0
	70歳以上	100.0 (60)	20.0	1.7	6.7	11.7	-	8.3	13.3	20.0	11.7	1.7	-	-	38.3	8.3
	（再掲）65歳以上	100.0 (114)	20.2	2.6	5.3	10.5	3.5	6.1	11.4	19.3	9.6	2.6	0.9	-	42.1	7.0
	診断名〔複数回答〕別	統合失調症	100.0 (366)	16.7	9.3	4.1	14.5	14.2	10.1	13.9	18.6	13.4	1.6	2.7	1.4	36.6
うつ病		100.0 (230)	15.2	7.0	2.6	19.1	19.6	12.6	22.6	9.1	5.2	3.0	4.3	0.9	35.2	2.2
躁鬱病（双極性障害）		100.0 (112)	6.3	5.4	3.6	15.2	16.1	12.5	17.9	8.9	8.0	2.7	8.0	1.8	41.1	5.4
てんかん		100.0 (80)	16.3	7.5	2.5	23.8	13.8	20.0	18.8	11.3	1.3	-	1.3	2.5	31.3	7.5
発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害など）		100.0 (190)	10.0	11.1	4.7	26.8	27.9	14.2	22.6	7.4	3.2	3.2	7.4	2.6	28.4	3.2
高次脳機能障害		100.0 (21)	14.3	4.8	14.3	4.8	14.3	28.6	23.8	19.0	4.8	4.8	4.8	4.8	19.0	14.3
パニック障害、不安障害		100.0 (97)	19.6	4.1	5.2	14.4	21.6	22.7	19.6	8.2	9.3	6.2	4.1	1.0	36.1	3.1
強迫性障害		100.0 (45)	15.6	6.7	2.2	26.7	22.2	15.6	33.3	13.3	17.8	6.7	-	-	31.1	-
摂食障害		100.0 (19)	5.3	5.3	-	10.5	15.8	10.5	15.8	5.3	5.3	-	21.1	-	26.3	10.5
パーソナリティ障害		100.0 (16)	6.3	-	12.5	25.0	6.3	12.5	25.0	12.5	6.3	6.3	12.5	-	37.5	6.3
PTSD（心的外傷後ストレス障害）		100.0 (33)	24.2	12.1	3.0	15.2	24.2	24.2	24.2	18.2	6.1	9.1	9.1	-	18.2	6.1
依存症（アルコール、ギャンブル、薬物など）		100.0 (28)	10.7	7.1	3.6	14.3	10.7	3.6	10.7	7.1	3.6	3.6	25.0	3.6	35.7	3.6
非器質性睡眠障害		100.0 (11)	18.2	-	-	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1	9.1	9.1	-	-	27.3	-
その他		100.0 (51)	21.6	15.7	5.9	21.6	17.6	5.9	9.8	15.7	7.8	-	2.0	7.8	35.3	5.9
主に過ごしたところ別		自分の家	100.0 (490)	16.5	8.0	3.1	14.9	15.7	11.8	15.7	14.5	9.0	2.2	3.7	2.0	37.3
	職場（福祉的就労の施設を除く）	100.0 (188)	8.0	4.8	2.7	23.4	25.5	8.5	23.4	3.7	1.1	2.7	6.4	0.5	38.3	4.3
	職場（福祉的就労の施設）	100.0 (79)	12.7	16.5	6.3	24.1	22.8	15.2	11.4	12.7	10.1	1.3	5.1	1.3	29.1	5.1
	学校	100.0 (12)	-	25.0	16.7	50.0	41.7	16.7	8.3	8.3	-	-	8.3	-	33.3	-
	通所施設（生活介護・自立訓練事業所など）	100.0 (23)	4.3	21.7	21.7	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0	-	4.3	4.3	26.1	13.0
	地域活動支援センター	100.0 (3)	66.7	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	精神科デイケア	100.0 (29)	6.9	13.8	3.4	10.3	3.4	10.3	10.3	27.6	51.7	3.4	-	3.4	20.7	13.8
	入所施設	100.0 (7)	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-	-	42.9	14.3
	その他	100.0 (25)	4.0	4.0	4.0	32.0	4.0	12.0	20.0	12.0	8.0	4.0	8.0	8.0	44.0	4.0
	平成30年度	100.0 (499)	15.6	9.0	4.0	22.2	21.0	9.4	15.2	9.2	7.4	2.8	3.2	3.8	35.7	2.8

注）診断名〔複数回答〕別のうち、「認知症」及び「性同一性障害」は母数が3人のため省略した。

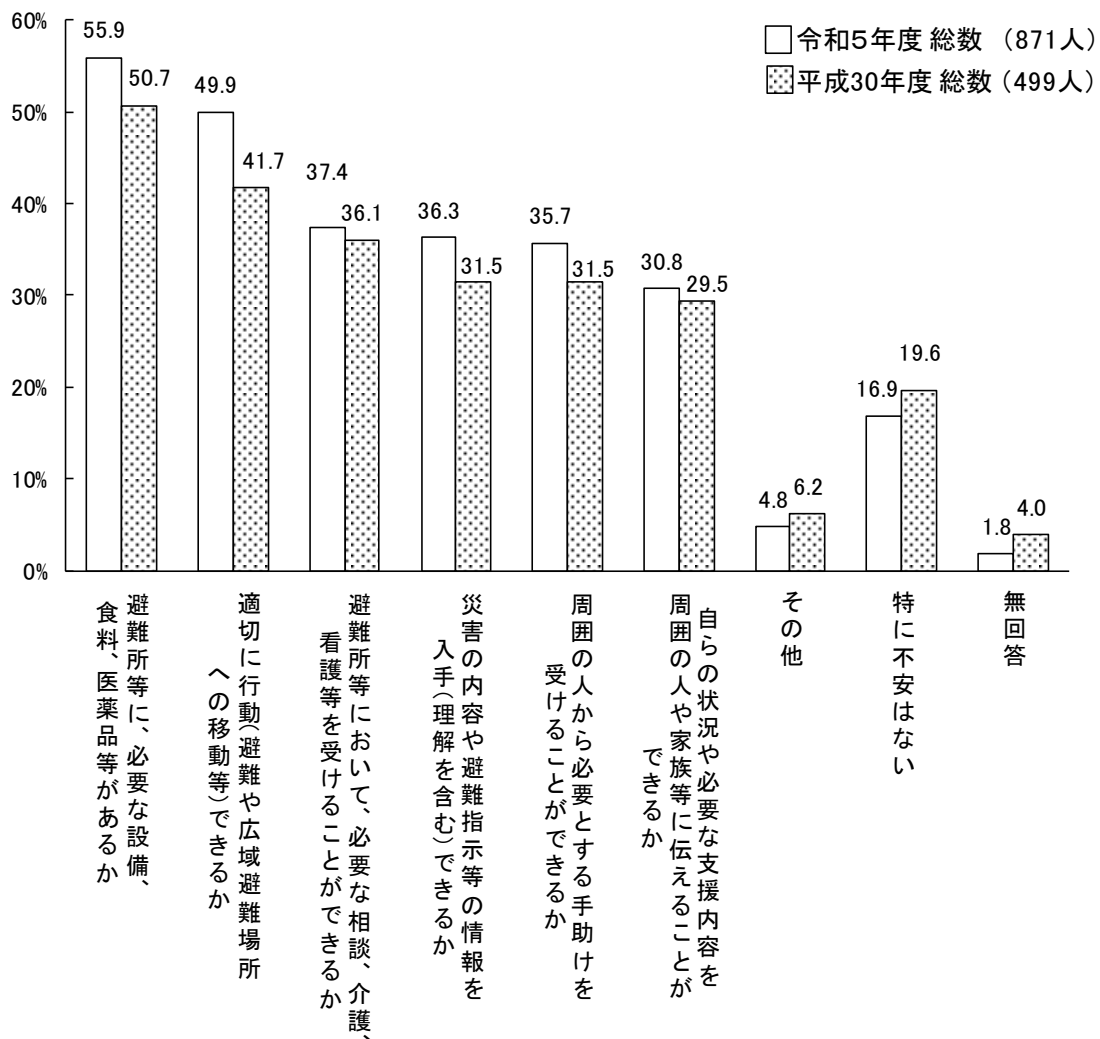
11 災害関係

(1) 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕

災害時に不安を感じることは、「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」が最も高く55.9%

災害時に不安を感じることを聞いたところ、「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」の割合が55.9%で最も高く、次いで「適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）ができるか」が49.9%、「避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか」が37.4%となっている。（図IV-11-1）

図IV-11-1 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕



(2) 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕－精神障害者保健福祉手帳の程度、年齢階級別

災害時に不安を感じることを、精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、全ての程度において「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」の割合は5割を超えている(50.0%～57.9%)。また、2級では「適切に行動(避難や広域避難場所への移動等)できるか」が53.0%となっている。(表IV-11-1)

表IV-11-1 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕－精神障害者保健福祉手帳の程度、年齢階級別

		総数	災害の内容や避難指示等の情報入手(理解を含む)できるか	適切に行動(避難や広域避難場所への移動等)できるか	自らの状況や必要な支援内容を周囲の人や家族等に伝えることができるか	周囲の人から必要とする支援を受けることができるか	避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか	避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか	その他	特に不安はない	無回答
総数		100.0 (871)	36.3	49.9	30.8	35.7	37.4	55.9	4.8	16.9	1.8
手帳の程度別	1級	100.0 (38)	42.1	47.4	28.9	39.5	42.1	<u>50.0</u>	10.5	10.5	13.2
	2級	100.0 (449)	41.9	<u>53.0</u>	34.1	39.0	43.2	<u>57.9</u>	5.3	15.6	1.3
	3級	100.0 (378)	29.4	47.1	27.2	32.0	29.9	<u>54.5</u>	3.7	19.3	0.8
年齢階級別	29歳以下	100.0 (107)	39.3	54.2	34.6	37.4	30.8	47.7	3.7	19.6	-
	30～39歳	100.0 (143)	28.7	49.7	33.6	32.9	33.6	58.0	4.9	12.6	-
	40～49歳	100.0 (189)	33.3	47.6	29.6	37.6	37.0	57.7	7.4	16.4	1.6
	50～59歳	100.0 (252)	42.1	49.2	35.3	38.5	44.8	64.3	4.4	16.3	1.6
	60～69歳	100.0 (120)	37.5	50.8	21.7	30.8	35.0	50.0	3.3	21.7	3.3
	70歳以上	100.0 (60)	31.7	51.7	20.0	31.7	33.3	36.7	3.3	16.7	8.3
	(再掲) 65歳以上	100.0 (114)	31.6	49.1	18.4	27.2	36.8	46.5	2.6	18.4	5.3

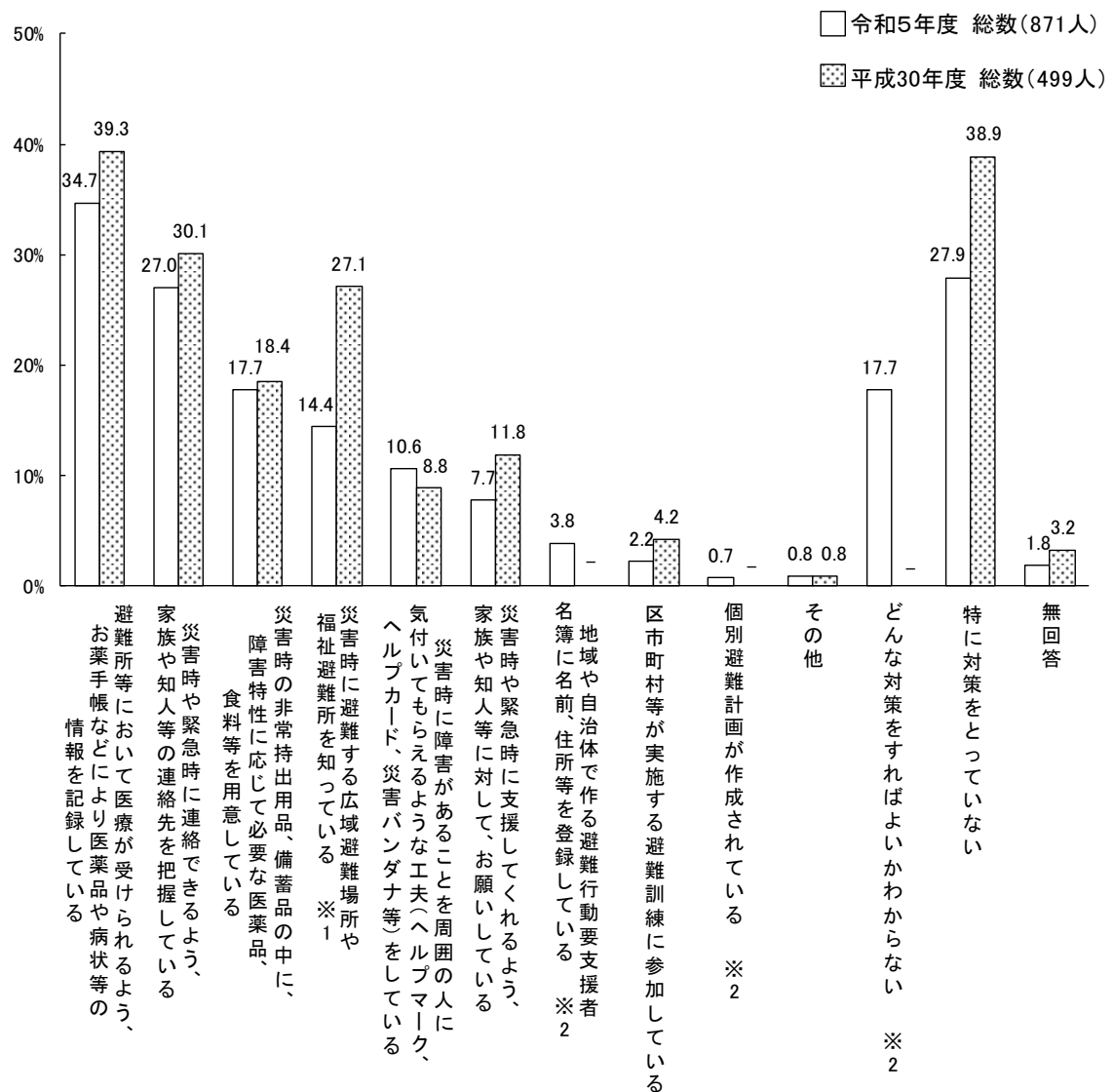
(3) 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

「避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」は34.7%

災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか聞いたところ、対策の内容では「避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」の割合が34.7%で最も高く、次いで、「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」が27.0%となっている。

一方、「特に対策を取っていない」の割合は27.9%、「どんな対策をすればよいかわからない」は17.7%となっている。(図IV-11-2)

図IV-11-2 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕



注1) ※1 平成30年度調査では「災害時に避難する広域避難所を知っている」としていた。

注2) ※2 平成30年度調査では選択肢として設けていなかった。

(4) 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

－精神障害者保健福祉手帳の程度、年齢階級別

災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているかを年齢階級別にみると、30代では「避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が39.9%となっている。(表IV-11-2)

表IV-11-2 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

－精神障害者保健福祉手帳の程度、年齢階級別

		総数	災害時に 特性に 応じて 必要な 医薬品、 食料等 を用意し ている	災害時の 非常持出 用品、備 蓄品の中 に、障害 特性に 応じて 必要な 医薬品、 食料等 を用意し ている	避難所等 において 医療が 受けられ るよう、 お薬手 帳などに より医 薬品や 病状等 の情報 を記録 している	災害時 や緊急 時に連 絡でき るよう 、家族 や知 人等と 連絡先 を把握 してい る	災害時 や緊急 時に支 援して くれる よう、 家族 や知 人等 に対し て、お 願ひし てい る	災害時 に避難 する 広域 避難場 所や 福祉 避難所 を知 ってい る	地域 や自治 体で作 る避難 行動要 支援者 名簿に 名前、 住所等 を登録 してい る	個別 避難計 画が作 成され ている	区市 町村等 が実施 する 避難訓 練に 参加し ている	災害 時に 障害 があ るこ とを 周囲 の人 に気 付い ても らえ るよ うな 工夫 （ヘル プマ ーク 、ヘル プカ ード、 災害 バン ダナ 等） をし てい る	その他	どんな 対策を すれば よいか わから ない	特に 対策を とって いない	無 回答
総数		100.0 (871)	17.7	34.7	27.0	7.7	14.4	3.8	0.7	2.2	10.6	0.8	17.7	27.9	1.8	
手帳 の 程度 別	1級	100.0 (38)	10.5	23.7	15.8	5.3	10.5	5.3	2.6	2.6	10.5	2.6	13.2	28.9	15.8	
	2級	100.0 (449)	16.9	37.9	28.1	9.8	14.9	5.3	0.9	2.7	12.5	0.7	16.9	26.3	0.9	
	3級	100.0 (378)	19.6	32.0	26.7	5.6	14.3	1.9	0.3	1.6	8.5	0.8	19.3	29.9	1.1	
年齢 階級 別	29歳以下	100.0 (107)	21.5	26.2	<u>29.9</u>	11.2	14.0	3.7	2.8	3.7	15.0	-	15.0	31.8	0.9	
	30～39歳	100.0 (143)	23.8	39.9	<u>32.2</u>	7.7	16.8	1.4	-	1.4	9.8	0.7	21.7	22.4	-	
	40～49歳	100.0 (189)	19.0	36.5	<u>25.4</u>	5.3	15.3	2.6	0.5	2.6	8.5	0.5	20.6	25.9	1.6	
	50～59歳	100.0 (252)	15.5	37.7	<u>28.2</u>	10.3	14.3	4.0	-	1.2	11.5	1.6	15.5	27.4	2.4	
	60～69歳	100.0 (120)	12.5	30.0	<u>25.0</u>	5.0	14.2	5.0	0.8	2.5	9.2	-	17.5	30.8	1.7	
	70歳以上	100.0 (60)	11.7	28.3	<u>13.3</u>	3.3	6.7	10.0	1.7	3.3	10.0	1.7	13.3	36.7	6.7	
	(再掲) 65歳以上	100.0 (114)	10.5	29.8	15.8	4.4	7.9	7.0	1.8	3.5	5.3	0.9	17.5	35.1	4.4	

(このページは白紙です)